



令和元年度
公立大学法人 福岡県立大学
アニュアルレポート

令和2年4月
公立大学法人 福岡県立大学

内容

理事長・学長メッセージ	1
I. 大学基本情報	2
1. 大学憲章、教育研究上の目的	2
2. キャンパス所在地	5
3. 組織図	6
4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会）	7
5. 教員役職者の任期一覧	8
6. 学部等紹介	8
II. 教職員	19
1. 教員	19
(1) 教員組織	19
(2) 教員の性別構成	19
(3) 教員の年齢構成	19
(4) 任期付教員数	19
(5) 学部	20
(6) 研究科	20
2. 事務職員	21
(1) 事務職員数（組織、補職）	21
(2) 事務職員の採用区分	21
(3) 事務職員の性別構成	21
(4) 事務職員の年齢構成	21
III. 学生	22
1. 学生数	22
(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比）	22
(2) 学部卒業生数（4年間で卒業した学生）	23
(3) 大学院修了生数（2年間又は3年間（長期履修）で卒業した学生）	23
2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年）	24
(1) 休学・退学・除籍数	24
(2) 留年数	25
IV. 教育	26
1. 学部	26
(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	26
(2) 開設科目及び単位数	33
(3) 卒業必要科目及び単位数	45
(4) 全学横断型科目	45
(5) 講義・演習・実習の開講科目数	46
2. 大学院	46
(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	46
(2) 教育課程及び履修基準	50
(3) 講義・演習・実習の開講科目数	54
3. 学生の単位修得状況	54
(1) 成績評価及び単位認定（学部・研究科）	54
(2) 学部単位修得状況（学科ごとの成績評価とGPA平均値）	55
(3) 大学院単位修得状況（成績評価）	55
4. 教員免許状取得数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）	55
5. 保育士資格取得者数	56
6. スクールソーシャルワーカー教育課程修了者数	56
7. 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数	56
8. 看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数	56
9. 社会調査士資格取得者数	57
10. 上級情報処理士資格取得者	57
11. 認定心理士資格取得者数	57

12. 臨床心理士資格取得者数.....	57
13. がん看護専門看護師資格取得者数.....	57
14. 精神看護専門看護師資格取得者数.....	57
V. 教育の質の向上及び改善の取組	58
1. FD 活動（学部・研究科）.....	58
2. 教員個人業績評価結果.....	58
(1) 趣旨.....	58
(2) 評価の対象分野・ウエイト等.....	58
(3) 教員個人業績評価.....	58
3. 授業評価アンケート.....	59
4. 卒業時学修到達度調査.....	61
VI. 入試	65
1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）.....	65
(1) 学部別入学者受入方針.....	65
(2) 研究科別入学者受入方針.....	68
2. 入学者選抜方法.....	70
(1) 学部別入学試験種別と試験科目.....	70
(2) 研究科別入試選抜試験科目.....	72
3. 入試実績.....	73
(1) 2020（令和2）年度 学部入学試験状況.....	73
(2) 2020（令和2）年度 学部出身地別入学者数.....	74
(3) 2020（令和2）年度 大学院入学試験状況.....	74
4. 入試広報.....	74
VII. 学生支援	75
1. 学生に対する経済面の援助.....	75
(1) 奨学金受給実績.....	75
(2) 授業料減免実績.....	75
(3) 授業料分割納付実績.....	75
(4) 学生寮の整備状況及び利用実績.....	75
2. 学生に対する生活支援（生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等）.....	75
(1) 保健室利用実績.....	75
(2) 学生相談室利用実績.....	75
(3) GPA に基づいた学習支援対象者数.....	76
(4) 課外・サークル活動概要.....	76
(5) キャリアサポートセンター利用人数実績.....	77
(6) 就業力向上支援室活動概要.....	78
(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数.....	78
(8) 支援を必要とする学生数.....	78
(9) 留学生ビジット状況.....	79
(10) 留学生支援事業実施状況.....	79
(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況.....	79
(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況.....	79
(13) 公務員講座実施状況.....	79
(14) 就職対策講座実施状況.....	79
VIII. 施設・設備	80
1. 講義室等の設置状況.....	80
2. 施設・設備のバリアフリー化状況.....	80
3. 自主的な学習活動が可能な施設.....	80
4. 自由閲覧室利用状況（利用者数）.....	80
5. ICT 環境（情報処理センター）.....	81
(1) 情報処理学習施設.....	81
(2) 無線 LAN アクセスポイント.....	81
6. 図書館.....	82
(1) 施設・職員、開館時間.....	82

(2) 貸出条件	82
(3) 蔵書数	82
(4) 入館者状況	83
(5) 貸出状況（学内・学外者）	83
7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況	83
IX. 就職	84
1. 卒業後の状況	84
(1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率	84
(2) 学科別所在地別就職先一覧	84
(3) 学科別産業別就職先一覧	85
(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率	85
(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧	85
X. 研究	86
1. 研究成果の発信	86
(1) 紀要等	86
(2) 附属研究所業務実績報告書等	87
(3) その他	87
2. 研究奨励交付金決定一覧	88
3. 外部資金等の獲得実績（令和元年度受託研究等事業名）一覧	88
4. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部）	89
5. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部）	90
6. 学術賞・論文等の受賞状況	90
7. 国際学会招待研究等一覧	90
8. 特許出願状況	90
XI. 国際交流	91
1. 学部・学年別・国籍別留学生数	91
2. 留学生の受入・派遣	91
(1) 交換留学（受入・派遣）	91
(2) 語学研修実績	91
(3) 短期派遣	91
(4) 留学における単位認定	91
3. 学術交流協定等締結校一覧	91
XII. 社会貢献	92
1. 公開講座等の実施状況	92
(1) 公開講座実施状況	92
(2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況	92
(3) 出前講義の実施状況	92
2. 地域貢献活動	93
(1) 生涯福祉研究センター活動概要	93
(2) ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要	93
(3) 不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要	94
(4) 社会貢献・ボランティア支援センター活動概要	94
(5) 看護実践教育センター活動概要	94
(6) 心理教育相談室実績	94
(7) 教員免許更新事業	95
3. 学外講義・講演	95
4. 審議会・委員会等への参画状況	95
XIII. 財務	96
1. 資産と負債の状況	96
2. 土地と建物の状況	96
3. 自己収入の状況	96
4. 外部研究資金の獲得状況	97
5. 収支状況	97
6. 教育研究経費の状況	97

<付録>	98
1. 令和元年度における主な取組	98
2. 沿革	99
3. 歴代学長及び名誉教授一覧	102
4. 学年暦	104
5. 授業時間割（学部）	106

理事長・学長メッセージ



公立大学法人 福岡県立大学
理事長・学長 柴田 洋三郎

本学では平成 18 年の公立大学法人化以降、年度ごとに業務実績報告書を作成し、県評価委員会の法人評価を受け、教育研究業務運営の改善、改革を進めてきました。また、平成 28 年度には、大学改革支援・学位授与機構による機関別認証評価を受審し、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。

これら各種の大学評価の基礎資料となるのが平成 25 年度から毎年刊行しているこの「アニュアルレポート」です。このアニュアルレポートのデータ等を用い、本学の自己点検評価はおこなわれてきました。

平成 30 年度から始まりました第 3 期中期計画では、福祉社会の充実に貢献できる専門的支援力を養成し、将来の多様なニーズに包括的に対応できる人材の育成に向けた取組を推進しています。これからは、従来自己点検評価の仕組みに留まらず、PDCA サイクルを適切に、かつ常に機能させた「内部質保証システム」を構築・運用することにより、「教学マネジメント」のもとに本学のミッションを果たしていくことが重要になってきています。

今後、本レポートが「内部質保証システム」の運用に利活用され、本学の教育・研究・社会貢献活動の更なる質向上に資するとともに、社会にとって「なくてはならない」大学として外部から評価されていくことを願っています。

最後に、本アニュアルレポートの作成にご尽力いただいた関係教職員各位に、心より感謝申し上げます。

I. 大学基本情報

1. 大学憲章、教育研究上の目的

福岡県立大学憲章

福岡県立大学は、地域に根ざし、地域とともに発展する公立大学です。福岡県立大学は、文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与する、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材の育成にかかる高等教育を推進するため、その構成員である学生、教員、職員が一体となって目指す行動の指針をここに定めます。

(人間性の原則)

福岡県立大学は、人間性に対する深い理解とたゆまぬ向上を志向する人材を育成するため、個人の尊重を中核とした基本的人権の確保、個人の人格および能力の全人的な発達の促進、社会を構築する市民として必要な教養及び倫理の涵養に努めます。また福岡県立大学は、主体的な学びを促進するとともに、そのために必要な環境を提供します。

(地域性の原則)

福岡県立大学は、地域性に対する深い理解を有する人材を育成するため、地域の方々との連携、地域社会における問題の解決及び地域の発展を図る活動に取り組みます。このような活動を行うことで、地域の方々との連携によりその成果を地域に還元する「知の拠点」としての機能を果たします。また福岡県立大学は、構成員の地域活動に対する自発的な参加を促進します。

(専門性の原則)

福岡県立大学は、専門性に対する深い理解を有する人材を育成するため、専門教育の基盤となる研究活動を積極的に行います。教育及び研究においては、学問の自由および自律性を尊重するとともに、新たな知の発展に向けられた自由な創造性・独創性への挑戦を支援します。また福岡県立大学は、専門的職業人として必要な知識、技能及び職業倫理の涵養に努めます。

(多様性の原則)

福岡県立大学は、多様性に対する深い理解を有する人材を育成するため、思想・信条・人種・性別・国籍・民族を含むあらゆる個人および集団の多様性を尊重します。また福岡県立大学は、国際社会における個人及び集団間の理解及び寛容の精神を促進し、持続可能な社会の実現に寄与します。

(一体性の原則)

福岡県立大学は、構成員が一体となって、人間性の原則、地域性の原則、専門性の原則、多様性の原則の実現を図ります。この実現を図るため、福岡県立大学は、構成員の地位及び教育研究組織の自律性を尊重するとともに、教育研究環境の整備に努めます。

教育研究上の目的

【学部】

福岡県立大学は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づき、広く知識を授け、実践を重視した専門の学芸を教育研究して、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材を育成し、もって文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与することを目的とする。

学 部	目 的	
人間社会学部	人間と社会に関する諸科学を学ぶことによって、人間と社会とを総合的に理解し、他の専門職と協働して問題解決に取り組むことのできる心豊かな人材を養成することを目的とする。	
	学 科	目 的
	公共社会学科	現代社会の多様な課題に対応するため、地域社会と国際共生に焦点をあて、公共性に根ざした社会問題解決能力に秀でた人材育成を図ることを目的とする。
	社会福祉学科	複雑・多様化している生活問題（福祉問題）を解決するための科学的知識及び実践力を有する社会福祉の人材を養成することを目的とする。
	人間形成学科	人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成することを目的とする。
看護学部	看護学科	幅広い教養と豊かな人間性を備え、看護の専門職としての確かな判断力と実践能力を身につけ、他の専門職と協働し、健康上の課題に主体的・創造的に対応できる人材を育成することを目的とする。

【大学院】

福岡県立大学大学院（以下「本学大学院」という。）は、広い視野に立って専攻分野に関する専門的学術を教育研究し、学術文化の進展に寄与するとともに、社会的な場でその高度な専門的知識を活用し得る指導的人材を養成することを目的とする。

研究科名	目 的	
人間社会学研究科	21 世紀における少子・高齢化、地方分権及び自己実現要求の高まりを踏まえ、高度福祉社会の実現に貢献できる人材の養成を行うとともに、職業人のリカレント教育（学習）の要求に応えることを目的とする。	
	専攻名	目 的
	社会福祉専攻	児童と家族、障がい者及び高齢者等の援助を必要とする人びとの生活課題について、個人や家族、集団、地域等における人間関係やサービス利用状況等を含めて全体的に把握することで当事者の育成や保護、介護、社会参加及び自立支援等の在り方を研究することを目的とする。
	心理臨床専攻	心理学全般の領域を関連づけながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに、他職種とも協働する能力をもつ高度な専門職業人を養成すること、並びに心理分野について主体的に研究する能力を育成することを目的とする。
子ども教育専攻	子ども教育分野における人間形成の営みとその諸問題を、保育学・教育学・児童福祉学及び関係諸科学から研究し、子ども教育分野の高度な専門職業人及び研究者を育成することを目的とする。	
看護学研究科	看護学専攻	地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や、看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成することを目的とする。

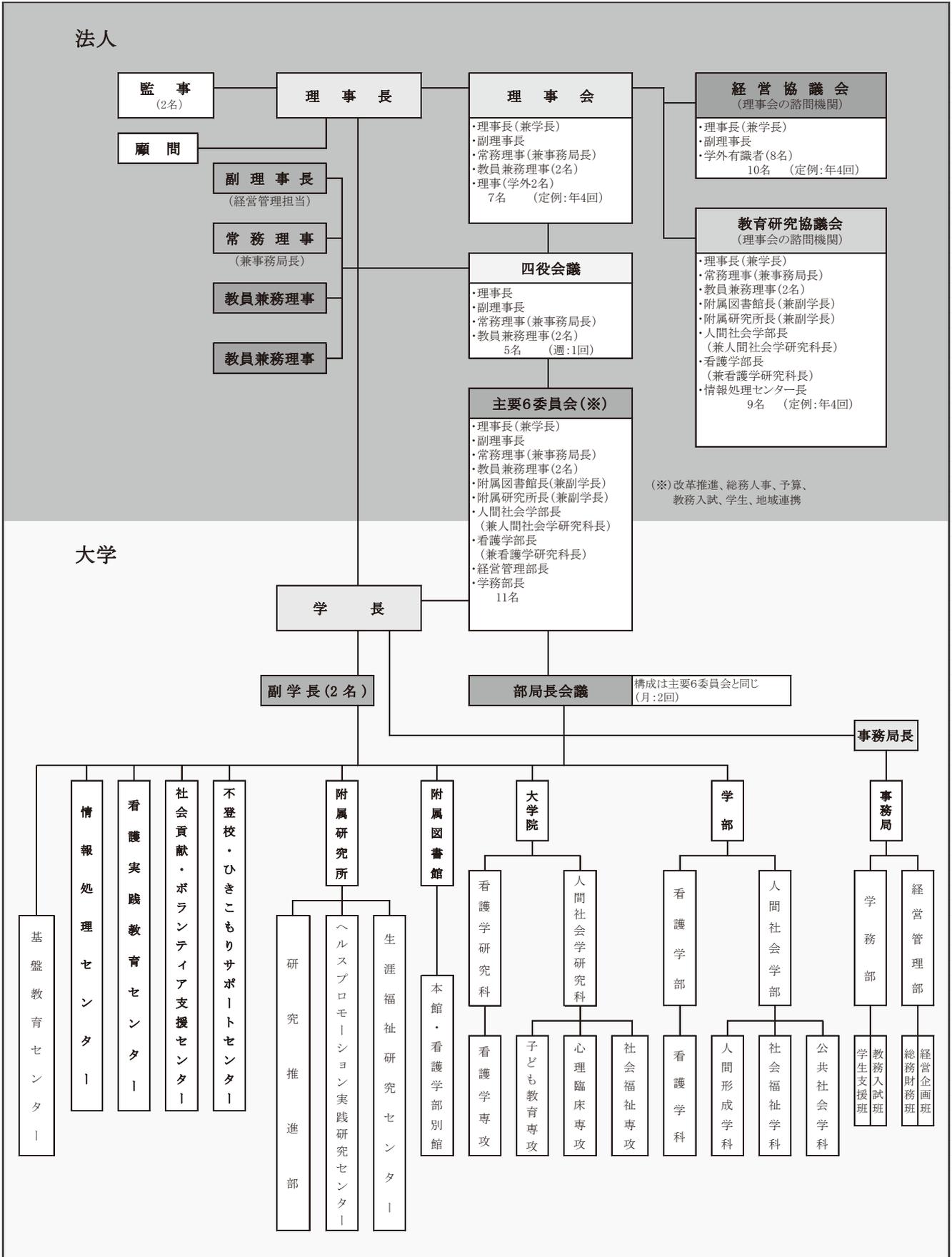
2. キャンパス所在地



〒825-8585 福岡県田川市大字伊田 4395 番地

3. 組織図

(平成31年4月1日現在)



4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会）

○理事会

理事：任期 平成30年4月1日～令和2年3月31日

監事：任期 平成30年4月1日～令和3年度の財務諸表承認日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	松本 次好	福岡県立大学
常務理事	吉村 静男	福岡県立大学 事務局長兼務
理事（教員兼務理事）	石崎 龍二	福岡県立大学人間社会学部 教授
理事（教員兼務理事）	松浦 賢長	福岡県立大学看護学部 教授
理事	芳賀 晟壽	特定社会福祉法人年長者の里 理事長
理事	古野 金廣	(株)麻生 代表取締役専務
監事	梅田 久和	梅田公認会計士事務所
監事	井上 道夫	井上法律事務所

○経営協議会

任期 平成30年4月1日～令和2年3月31日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	松本 次好	福岡県立大学
委員	秋吉 一明	福岡県立大学と共に歩む会 会長
委員	野口 久美子	福岡県立大学同窓会 会長
委員	北原 守	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会(親の会)顧問
委員	山本 博康	福岡県立田川高等学校 校長
委員	齋藤 明	前 独立行政法人大学入試センター 監事
委員	谷口 金蔵	田川商工会議所 会頭（～令和2年1月27日）
委員	亀川 寿	田川商工会議所 会頭（令和2年1月28日～）
委員	二場 公人	田川市長
委員	吉村 恭幸	(一財)福岡県社会保険医療協会 会長

○教育研究協議会

任期 平成30年4月1日～令和2年3月31日

役職名	氏名	役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
委員	吉村 静男	事務局長
委員	石崎 龍二	教員兼務理事
委員	松浦 賢長	教員兼務理事
委員	永嶋 由理子	副学長兼附属図書館長
委員	小嶋 秀幹	副学長兼附属研究所長
委員	上野 行良	人間社会学部長兼人間社会学研究科長
委員	尾形 由紀子	看護学部長兼看護学研究科長
委員	江上 千代美	情報処理センター長

5. 教員役職者の任期一覧

(平成31年4月1日現在)

役職名	氏名	任期	任期の期間
学長	柴田 洋三郎	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
副学長 兼附属図書館長	永嶋 由理子	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
副学長 兼附属研究所長	小嶋 秀幹	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
人間社会学部長 兼人間社会学研究科長	上野 行良	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
看護学部長 兼看護学研究科長	尾形 由紀子	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
看護実践教育センター長	尾形 由紀子	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
生涯福祉研究センター長	住友 雄資	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
ヘルスプロモーション実践研究センター長	石田 智恵美	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
不登校・ひきこもりサポートセンター長	本郷 秀和	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
社会貢献・ボランティア支援センター長	原田 直樹	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日
情報処理センター長	江上 千代美	2年	平成30年4月1日～令和2年3月31日

6. 学部等紹介

【人間社会学部】

<公共社会学科>

多様性を持った人々が、その多様性を保ちつつ、ともに安心して生活できる社会が高度福祉社会です。ゆたかな高度福祉社会の形成は、日本の各地域においても国際社会においても、重要な課題となっています。公共社会学科は、公共社会学の考え方を地域社会と国際共生の現場にできる限り近づけ、より現実に密着して具体的な課題解決力を高めることを目標としています。

公共社会学科で重視しているのは以下の4点です。

- ①公共性、地域社会、国際共生の視点を備える。
- ②コミュニケーション能力、リサーチ能力、ITスキルを習得する。
- ③社会のニーズを的確に把握する分析力をつける。
- ④問題解決への企画・提案力や調整力の基礎を培う。

これらの能力を基礎に、高度福祉社会を構築する実践的なプランナーとしてリーダーシップをとれる人材の育成を目指します。卒業後は次のような分野などで活躍が期待されます。

- ・地域資源（人、モノ、文化、自然）をコーディネートし、地域づくりや地域活性化にかかわる。
- ・国際関係を踏まえた共生のあり方を学び、国際協力を積極的に貢献する。
- ・社会的企業（ビジネスモデルを活用した社会事業団体）で活躍する。
- ・国内外に展開している民間企業で活躍する。

<社会福祉学科>

社会福祉学とは、さまざまな生活上の困難をかかえる人々を支援し、その問題解決のために必要な制度・政策、そして具体的援助方法を学ぶ学問です。

今日の急激な社会変化のなかで人々が直面する生活問題は複雑多様化しています。こうした状況に対応するため社会福祉が対象とする領域はますます幅広くなると同時に社会福祉学への社会的な期待も一層高まっているのが現状です。従って社会福祉を学ぶためには、

- (1) 人間と社会への深い関心と理解を持つ。
- (2) 人びとの生活の実態に触れ、その生活上のニーズを正確に把握する。
- (3) 社会福祉の制度・政策やその仕組みについて理解する。
- (4) 社会福祉施設・機関の援助活動や個別の問題解決を目指す社会福祉実践の内容や方法を具体的に理解する。

などが必要です。

さらに、社会福祉の援助サービスは人と人との関係を通して展開されるため、援助者には何よりも豊かな人間的資質と生活問題に対する客観的・科学的理解が求められます。

<人間形成学科>

人間形成学科は、人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行う学科です。本学科は、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成することを目的としています。本学科を卒業した学生には、学士（教育学）の学位が与えられます。

そのため、人間形成学科では、すべての学生が教育学に関する基本的な知識を修めます。その上で、自分の学びたい内容、専門性を深めていけるように、学科独自のコースを設定し、コースごとに教育カリキュラムを編成しています。また、両コースの学生が自分の興味に応じて、社会教育学に関する授業科目を自由に選択することも可能です。なお、平成28年度以降に入学した学生は、3年次から「総合人間社会コース」を選択することができます。

[心理コース]

心理コースでは、生涯にわたるこころのあり方とその援助について理解し、こころとその援助に関する現代的課題について考察していきます。そのために、心理学の基礎や心理学研究に必要な方法論についていろいろな側面から学んでいきます。その側面とは、①心のしくみ、②心を支える、③人と関わる、④心理学の基礎、といったことです。このコースは、卒業後に公務員・企業・病院などで相談業務に就くことを目指したり、大学院に進んで心理臨床活動や心理学研究することを目指す人のコースです。また、公認心理師となるために必要な科目を配置しています。

[こどもコース]

こどもコースは、保育士および幼稚園教諭を養成することを主たる目的としています。このコースでは、人間形成学科のコース共通カリキュラムである基幹科目を学んだうえで、保育士資格や幼稚園教諭免許の取得に必要なコース展開科目を履修していきます。また、学修者の目的や興味に応じて、社会教育に関わる関連科目を自由に選択することで、教育学に関する幅広い知識を身につけることができます。

<総合人間社会コース>

総合人間社会コースとは、福祉社会において幅広く役に立つ知識やスキルを身につけることにフォーカスした授業で構成される「プログラム」に沿って教育を行うコースです。総合人間社会コースを選択した学生の学科所属や、卒業に必要な単位数等は変わりません。人間社会学部で卒業論文まで執筆することができるよう編

成されたプログラムとして、「保健福祉情報教育プログラム」と「キャリア形成支援プログラム」が開設されています。

総合人間社会コースは、3年次から選択することができるコースで、平成28年度以降の入学生が対象となります。コースの選択は3年次からですが、1・2年次にもコースの専門教育科目や関連する全学共通科目があります。3年次のゼミは各プログラムに沿った内容になりますので、できるだけ事前に履修することを推奨しています。

総合人間社会コースでは、全学横断型教育プログラムに沿った履修モデルにより、マネジメント能力のある専門的職業人の養成を目指しています。

「保健福祉情報教育プログラム」では、保健福祉(保健、医療、福祉、教育、心理、社会、経済等)分野の専門家として、調査・研究を行う際に、必要不可欠となる統計的手法や高度な情報技術を修得するために、統計学、情報学を系統的に学ぶことができます。

「キャリア形成支援プログラム」では、キャリア形成に関する科目を段階的に履修することで、保健福祉等に関する学科専門領域ごとの科目修得と併せて体系的な知識と実践的スキルの修得をはかります。

【看護学部】

<看護学科>

人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる看護職者を育てます。

5つの教育方針のもと、教育を行っています。①生命・人の尊厳を理解し、人の存在を尊重できる人材を育成する。②地域社会に生活する人として、包括的な視点で人を理解できる人材を育成する。③専門職者としての自律性を備え、他職種と協働できる人材を育成する。④健康現象の多様性を理解し、看護実践への活用と発展に寄与できる人材を育成する。⑤自己研鑽する姿勢を持ち、専門的な知識・技術を基に課題解決できる人材を育成する。本学部のカリキュラムの特徴として、将来にわたって人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する指名を果たすためのプロフェッショナリズムの視点をもてるようにしています。

その役割を果たすため、さらに次の科目「看護倫理」、「医療安全」、「チーム医療論」、「災害看護学」を新設して取り組んでいます。これらの科目を通して、倫理観を兼ね備え、医療機関や施設における看護場面だけでなく、災害においても力を発揮できるようメンバーシップやリーダーシップがとれるよう育成いたします。さまざま場面で、看護を実践するために、対象となる人々の理解と解決のための思考や看護技術を段階的に演習科目と実習科目を修得させます。さらに、超高齢対社会及び少子化における課題を解決する多面、保健・医療・福祉や生活にかかわるすべての人々と協働し、幅広く社会的な要請に応じて看護を展開するための学びの場も設けていきます。取得できる資格と免許は、4年間で、1) 看護師国家試験の受験資格、2) 保健師国家試験の受験資格が得られます。また、3) 養護教諭一種免許を取得する教育科目もあります。看護師は全学生が対象ですが、養護教諭を2年生前期に10名、保健師を2年生後期に15名として選抜されます。令和元年度の看護師・保健師国家試験の合格率は100%であり、今後も卒業生が胸を張って社会にでていける教育を目指しています。

また、人間社会学部との「全学横断型教育プログラム」があり、これらも含めて看護の対象の人間を理解するための学術的な幅広い知識を学ぶことができます。

【基盤教育センター】

基盤教育センターは、人間社会学部と看護学部の両学部の専任教員がセンター員として任命され、全学共通科目（基礎科目、教養科目）の充実と改善に力を入れています。

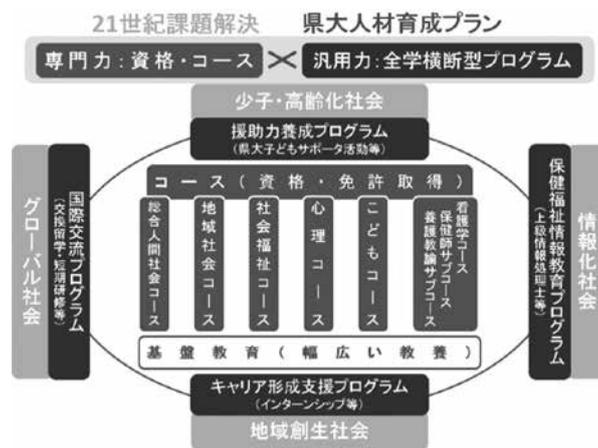
教養科目を各学部・学科における専門教育の基礎となる科目と、専門的職業人・社会人として求められている教養を身につけることを主たる目的とした科目とに分け、その充実と改善を図っています。生命科学や心理学など福祉・看護領域の専門教育に不可欠な教育を充実させるとともに、経済や社会、人権や環境問題、人間関係から性や性差の問題など、地域における福祉社会の担い手となる、福祉・看護領域における専門的職業人に求められる深い教養や豊かな人間性を養うための幅広い教養科目を用意しています。

基礎科目では新入学生が大学での教育に速やかに移行できるための導入教育、大学での学習や社会人・職業人としての生活に欠かせない情報処理教育、国際化時代に対応するための英語やアジアを中心とした語学教育、学習や実社会において欠かせない体力維持・健康増進を目指した健康科学など、生涯学習の基盤を提供しています。

これらの目的を達成するために、特に入口としての導入教育には力を入れており、新入学生が速やかに大学での学習に入ることができるように、小規模大学の利点を生かした少人数のゼミナール形式でレポート作成法の指導や添削等を行う「教養演習」を行っており、本学の学生ニーズに対応した独自のテキストを出版して指導に役立てるなど、きめ細やかな教育に努めています。

全学横断型教育プログラム

本学は学生の教育を第一におき、21世紀の未来社会に活躍するリーダーとなる人材の育成を目指して、平成27年度の新入生から、教育の中核となる国家資格の取得を目指す、「コース」履修を縦糸に、卒業後には、将来のいかなる社会の変動に対しても適切に対応できる、潜在的能力、いわゆる社会人基礎力を身につけるための「プログラム」教育を横串に通して、4年間で「コース・プログラム」の縦糸と横糸で織り成す多元的修学体制を構築する教育改革を進めています。



現在、以下の4つのプログラムを各学習段階に応じて選択履修できます。

〈保健福祉情報教育プログラム〉

保健福祉分野での課題解決に、統計学、情報学の知識やスキルを応用できる力を養成

〈援助力養成プログラム〉

子どもへの支援活動を通じて、「対人援助力」を養成

〈国際交流プログラム〉

異文化との交流体験を通して、「コミュニケーション力・理解力」を養成

〈キャリア形成支援プログラム〉

1年次から4年次まで系統的キャリア支援を行い、「就業力」を養成

【人間社会学研究科】

(1) 設置の趣旨

21世紀に入り、少子・高齢化、地方分権化、自己実現要求の高まりに伴ない、福祉政策、教育、対人援助に関わる高度な専門的知識・技術を持ち、地域において高度福祉社会の実現に貢献できる職業人の養成を行うことが求められています。そこで、人間社会学部を基礎とし、より一層の専門性を持った人材の養成と、職業人のリカレント教育の要求に応えることを目指し、平成9年に大学院修士課程人間社会学研究科を設置しました。

(2) 各専攻の構成と特色

〈社会福祉専攻〉

(1) 構成

社会福祉専攻は、①コア科目群と②専門科目群の2つの科目群でカリキュラムを構成し、社会福祉に関する問題を客観的に把握し、様々な生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できる人材の養成を目指します。

(2) 特色

1. 社会福祉の実践や研究の基盤となる価値、知識、技術を身につけるため、「社会福祉研究」と「ソーシャルワーク研究」を必修科目としています。
2. 「特別研究」で修士論文の作成支援を行うほか、「社会福祉研究法」、「量的研究法」、「質的研究法」など、学術的な研究方法を習得するための科目を設置しています。
3. 社会福祉専門職としての実践性を高め、福祉活動の発展に寄与できるようになるため、実習科目として「フィールドワーク」を設置しています。
4. 児童、障がい者、高齢者を中心として、地域における様々な生活課題を抱える人たちの支援に必要な知識を幅広く理解するため、多様な「専門科目」を設置しています。

〈心理臨床専攻〉

(1) 構成

心理臨床専攻は、生涯発達に対する要求を持った人々の心理的側面を支える人材の養成を目指します。心理学の基礎的側面の学習とともに、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を育成します。本専攻は、平成22年度より日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院です。また、公認心理師となるために必要な科目を配置しています。

(2) 特色

1. 教育、医療、福祉領域で十分に活躍できる心理学分野の高度な専門職業人を養成することを目指しています。本専攻では、心理臨床の専門性を高めながら、教育や福祉、医療の分野で他の専門的職業人と

協働していける高度な職業人の養成を目指します。そのために、教育、福祉、医療分野に関する科目を履修できるようにしています。

2. 実践的な技能のみならず研究についての能力も育成します。1年次より特別研究を課し、心理臨床について主体的に研究する能力を育成します。
3. 実習は、学内の心理教育相談室や医療、福祉、教育分野の実習機関で2年間にわたって行います。心理療法や心理査定についての基本的な技能を実践的かつ体系的に身につけられるように配慮します。

〈子ども教育専攻〉

(1) 構成

子ども教育専攻では、保育・幼児教育及び小学校段階を中心とする子ども教育分野における人間形成の営みとその諸問題を、保育学・教育学、児童福祉学及び関係諸科学から研究し、理論と実践の往還と融合から、高度な専門的知識だけでなく、様々な教育課題の解決に資する優れた課題解決能力や、教育現場で中核的な役割を担える質の高い実践的指導力を身に付けます。

(2) 特色

1. 本専攻では、子ども教育分野の高度な専門職業人及び研究者を育成とすることを目的としています。
2. 子ども教育に関わる先進的な取り組みの事例の研究などを通じて、保幼小連携の強化への取り組みに対応できるような幅広い専門的知識を修得します。
3. 子どもに関わる今日的な教育課題や地域における教育課題を自ら見出し、保育者・教員などの高度専門職業人として必要な、優れた問題解決能力を修得します。
4. 子ども教育の現場での実践実習は大学院における理論学習の往還を重ねて、必要とされる質の高い実践的指導力を修得します。

【看護学研究科】

(1) 設置の趣旨

少子高齢社会を背景にし、看護の活動領域と内容においてますます広がりを見せ、多種多様化してきています。これからの看護職(保健師、助産師、看護師)は、それぞれの専門性を生かし、地域内外、施設内外において他の職種と連携をとりつつ、地域住民の健康課題を解決する必要はあります。看護職に求められている的確な状況判断と効果的なケアの実施のために、エビデンスのある適切なケアを即座に検討できる力を備えることが重要です。従来以上に主体性や創造力を発揮し、高い倫理観をもった専門職となり、対象とする人々に対する深い理解に裏打ちされた質の高い看護実践能力とあわせてマネジメント能力も必要とされるようになってきています。

本学では看護学部と人間社会学部が併設されている点を最大限活かし、地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的な担い手である高度職業人としての看護職や、研究者・教育者を養成することを目指し、大学院修士課程看護学研究科を設置しました。

(2) 看護学専攻の構成と特色

看護学専攻は、研究コース、専門看護師コース、助産実践形成コースの3つのコースから成り立っています。研究コースは、基盤看護学、ヘルスプロモーション看護学、臨床看護学、助産学の4つの領域、専門看護師コースには臨床看護学領域、助産実践形成コースは助産学領域で教育を行っています。

研究コースの基盤看護学領域は、看護教育学、基礎看護学、看護心理学、実験看護学、ヘルスプロモーション看護学領域は、思春期ヘルスプロモーション、地域看護学、在宅看護学、臨床看護学領域は、成人看護学、老年看護学、精神看護学、小児看護学、助産学領域は、助産学で構成されています。また、専門看護師コースの臨床看護学領域は、老年看護学、精神看護学で構成されています。

〈研究コース〉

研究コースでは臨床看護や看護教育を、根拠をもって行うことにつながる基礎的な研究や、看護学や看護教育学の発展につながる研究を行う能力を培い、医療機関等や教育機関あるいは行政機関で、組織の管理者や教育者として看護の質の向上や看護教育の質の向上に寄与しうる人材の育成を目指しています。

〈専門看護師コース〉

専門看護師コースは、精神看護と老年看護で構成されています。老年看護では、認知症看護と終末期看護の2つのサブスペシャリティを、精神看護では、地域精神看護（精神障害者の地域移行・地域定着看護）とリエゾン精神看護（一般身体疾患を持つ人の精神的な問題に対する看護）のいずれかを修得できます。学生の皆さんが自己の専門看護師としての将来像を描きやすいように、在学中・修了後を通して多くのエキスパートの専門看護師と出会う機会を提供していることも当コースの大きな魅力の一つです。

〈助産実践形成コース〉

助産実践形成コースは、周産期の様々な課題に対応するため高度で自律した助産実践能力を身につけた助産師の育成を目指すコースであり、助産師国家試験受験資格を取得することができます。また規定の科目を習得することで、受胎調節実地指導員申請資格・新生児蘇生法「専門」コース認定申請資格も取得することができます。

【附属研究所】



研究推進部

附属研究所は、研究機能の強化を図ることを目的として、平成28年度より新たに「研究推進部」を設置しました。研究推進部は、主として統合的な研究・調査の企画を担当する「総合企画室」及び専ら統合的な研究・調査を実施する「重点領域研究部門」から構成されています。本学の保健・医療・福祉分野における強みを活かし、研究推進部が企画、実施する統合的な研究・調査を充実させ、十分な成果を挙げていくことができるよう取り組んでいます。

生涯福祉研究センター

福岡県立大学の開学理念には、「地域に開放され、具体的な課題に関する研究を充実し、地域に貢献できる研究がなされること」が謳われています。

生涯福祉研究センターは、この理念を実現するための学内組織機関として1998(平成10)年4月1日に設立されました。福岡県立大学の独立行政法人化後は附属研究所内に位置づけられて今日に至ります。

生涯福祉研究センターの具体的な目標としてあげられているもののうち、主なものは、

- (1) 生涯発達、地域福祉、地域政策に関する県民の意識と関心を高めること、
- (2) 特に筑豊地区を中心とした地域社会の成熟と発展に向けた研究・地域支援サービス、情報発信活動をおこなうこと、です。

これらの目標を実現するために、生涯福祉研究センターは学際的研究という方針で進みます。他大学に所属する研究者、さらには自治体の職員、福祉の現場に出ている方々、在野の有識者などとも手を取り合って、ひろく多面的な立場から共同研究を展開しています。それと同時に、公開講座やリカレント講座などの教育研修事業、おもちゃとしょかんや子ども食堂などの地域支援活動、産学官連携の取り組みなども展開しています。

<主な地域支援活動>

○おもちゃとしょかん・たがわ

乳幼児や発達が気になるお子さんにおもちゃの貸し出しおよび遊び場の提供をおこなっています。

○お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）

発達に遅れのあるお子さんをお持ちの親御さんのための学習室です。

○足と靴の相談室

自分にあった靴を探している方、足に痛みを感じ足の調子がスッキリしない方、タコ、魚の目がいつもできて困っている方への相談対応をしまいりました。当相談室は2019（平成31）年3月末をもって閉室いたしました。

○福岡県立大学福祉用具研究会

福祉用具や介護方法に関する自主研究会をNPO福祉用具ネットと開催しています。

○地域に住む外国人のための「日本語教室」

地域に住む外国国籍の方達を対象とした日本語教室です。この教室はボランティアの皆さんによって運営されています。

○「アドボチャイルド」——子どもアドボカシーの養成と組織化のための理論及び実践モデルの研究——

子どもの権利条約12条「意見表明権」「聞かれる権利」及び、障害者の権利条約5条「意見表明のための年齢に適した支援を受ける権利」の保障が推進される地域づくりが進むことをめざして、実践理論両面からの研究を行っています。

ヘルスプロモーション実践研究センター

福岡県立大学ヘルスプロモーション実践研究センターは、人々の健康を増進することを目的として、地域住民の方々の生涯学習を推進し、健康に関する包括的な支援を行います。また、そのための人材育成と、多職種連携を中心とした実践的研究を行います。

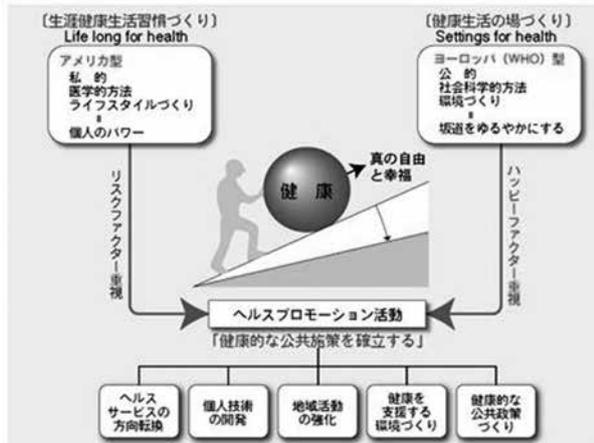
具体的には以下の取組みを実施しています。

<活動内容>

1. 地域住民の方々が健康の重要性を認識し、積極的に健康対策に取り組めるようなテーマのセミナーやフォーラムの開催
2. 地域住民の方々や健康に関与する他職種が連携する研修会の実施

3. こども達、妊婦さんや子育て中のお母様方、お年寄りの方々などのライフステージに応じた支援・教育の実施

例えば、こども達の健康に対する支援、こどもを産み育てるための家族への支援、高齢者への支援、在宅療養生活を支えるための支援を実践することで、人々の健康を守り、豊かな生活を支えるために貢献したいと考えています。



(島内憲夫 1987/島内憲夫・高村美奈子 2004 改編)

不登校・ひきこもりサポートセンター

福岡県立大学「不登校・ひきこもりサポートセンター」は、不登校やひきこもりに悩む子どもたちの将来の社会的自立を目標にした、専門的な支援をおこなう機関です。

子どもの状態に応じた個別や集団による直接的な支援とともに、保護者や家庭への支援、学校や適応指導教室への支援、他の専門支援機関との地域連携ネットワークの強化など、子どもと子どもを取り巻く環境の双方に必要な支援をします。

福岡県立大学には、福祉・保健・心理・教育などの分野から、不登校・ひきこもりの支援を研究する専門的教員が多くいます。これら専門教員と県立大で学ぶ大学生、大学院生、そしてサポートセンターの専門職員が一体となり、「相談部門」「連携サポート部門」「情報発信・研修部門」「教育・社会支援部門」の各部門を連動させ、総合的な支援をおこないます。

また、新たな教育研究拠点として発展させるため、平成 31 年度より附属研究所から独立しました。

〈事業内容〉

サポートセンターの事業のご紹介

相談部門

面接相談事業
電話で相談できず、直接に訪ねる場合はお問い合わせください。
また、お気軽にメールでもお問い合わせください。

電話相談事業
電話の申し込み、博士や専攻の専門スタッフが、お気軽に電話で相談をおこないます。

連携機関紹介事業
福岡県内各機関と連携し、適切な支援体制を整えています。

連携サポート部門

県大こどもサポーター派遣事業
県立大で学ぶ学生が、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者、家族をサポートします。

キャンパスキッズ
不登校の子も大活躍の場として、子どもサポーターと一緒に活動の場を提供しています。

個別サポートチーム構築事業
不登校の子もサポートする個別支援チームを構築します。

適応指導教室等支援事業
県立大で専門に学ぶ学生や専門スタッフが、適応指導教室の運営支援を行います。

実践研究支援事業
不登校に関する実践研究を支援し、県立大で専門に学ぶ学生が活躍の場を提供します。

教師の居場所づくり事業
不登校の子も支援する教師の居場所づくりや、サポートチームの強化を支援します。

情報発信・研修部門

ホームページ発信事業
不登校に関する様々な情報を発信し、ホームページで発信します。

対応マニュアル作成事業
不登校に関する実践的ノウハウのためのマニュアルを作成します。

調査研究事業
不登校に関する実践的調査や実践的調査を支援し、不登校に関する実践的調査を支援します。

公開講座・ワークショップ
不登校に関する実践的ワークショップを開催します。

研修受け入れ事業
教育機関等の関係機関からの研修員を受け入れます。

Center for School and Child Support Network

【附属施設】

附属図書館

本学の図書館は、学生の学習支援・教員の教育及び研究支援・地域の図書利用者に対する支援などを主な目的として本館と分館が設置されています。

本学の図書館では、本館・看護学部分館あわせて約 28 万冊の蔵書および 49 台のノートパソコンがあり、学生のアクティブ・ラーニングをサポートしています。

分館には学生の多様な学習スタイルに対応するため、新しい学びの広場としてラーニング・コモンズが設置され、学生の「学び」の創造が促進されるよう取り組んでいます。

また、本学では学生が自らの目線で図書館の本を直接書店で選ぶ等により、学生たちの図書館の利用促進へと繋げることを目的とする「選書ツアー」を毎年企画し、学生の図書館への関心が高まるよう努めています。

このように、図書館を多様な学習の場として認識し、身近な存在としてより多くの学生が利用できるような図書館づくりを行っています。

情報処理センター

情報処理センターは、下の 3 つの役割に寄与することを目的として設置されています。

- * 学内情報ネットワークシステム（学内 LAN : Local Area Network）の管理
- * 情報処理および統計処理スキル向上の支援
- * 学生の情報処理教育の向上

情報処理センターでは、インターネットを通じて学内外の情報を収集したり発信したりするために、学内 LAN を構築し、その管理運営を行っています。また、学内の全学生、教職員のメールアドレスを管理し、大学のホームページの管理を行っています。学内 LAN には、図書館を含む学内のほぼ全てのコンピュータが接続されていて、その役割は年々重要なものになってきています。その意味で学内 LAN の利便性とともな安全性の向上は重要な課題です。そのために定期的なネットワークの再構築は欠かせません。また、学生への情報処理教育や学生が自由に活用できる施設の充実を図るため、定期的に機器更新を行っています。

また、学生の自習環境を整備するため、平成 22 年度から e ラーニングシステムの全学的導入を行っています。

社会貢献・ボランティア支援センター

社会貢献・ボランティア支援センターは、ボランティア活動を中心とした本学の学生の様々な社会貢献・ボランティア活動を支援する取り組みを進めています。

具体的には、ボランティア活動を希望する学生に様々な情報を提供し、ボランティア活動を募集・依頼したい地域の団体・機関と学生をつなぐ役割を果たします。また、活動を行う学生の様々な相談に応じながら、活動が学生にとっての貴重な「学びの場」となるよう支援していきます。さらに、社会貢献・ボランティア活動に関する研修会や報告会等の企画・実施などにも取り組んでいます。

<主な事業内容>

1. 学生の活動の場となる外部団体と学生とのコーディネートの実施
 - ・学生の社会貢献・ボランティア活動を求める外部団体の情報を学生に提供

- ・社会貢献・ボランティア活動を希望する学生の相談に応じ、学生の活動の場となる外部団体と学生とのコーディネートの実施
2. 社会貢献・ボランティア活動を行う学生グループへの支援
 - ・学生グループの活動の場の提供
 - ・学内の学生ボランティアサークルの課題を把握、支援
 - ・外部団体等の社会貢献活動に参加・協力する学生グループに対し、地域の関係団体との連絡調整、相談対応、アドバイス等の支援
 3. 学生の社会貢献・ボランティア活動の普及と質の向上
 - ・社会貢献・ボランティア活動に関する研修会や報告会等を企画・実施

看護実践教育センター

福岡県立看護実践教育センターは、人が「生活者」として生きていくその生き方を支える看護のあり方を追求し、地域社会との連携のもとに、多面的な視野に立って人間と健康に関わる問題を解決できる、看護実践の中核的な役割を果たす看護職が育つ教育を目指しています。平成20年11月に糖尿病看護認定看護師の養成を中心とした看護実践教育を行い11年になります。この卒後教育を実施することにより、より高度な看護実践が臨地にて展開されることを目的としています。

本センターでは、平成31年度まで糖尿病看護認定看護師を育成しておりましたが、令和元年2月28日に修了式を終えて、現在は休校しております。令和2年度は、更なる在宅医療等の推進のために国において改正された保健師助産師看護師法に則り、令和3年4月から看護師特定行為研修開講に向けた準備を行っております。本センターでは、これまでの認定看護師育成で培ったノウハウを活かしたきめ細かなリカレント教育をモットーにし、近隣施設の医師や多職種の協力を得て、優秀な学内講師及び学外講師陣により学べる体制をとっています。

II. 教職員

1. 教員

(1) 教員組織

(令和元年5月1日現在)

組織		人数	
		うち大学院と兼務	
大学	人間社会学部	50	26
	看護学部	59	33
大学院	人間社会学研究科	26	
	看護学研究科	33	
附属研究所			
看護実践教育センター		2	
合計		111	

(2) 教員の性別構成

(令和元年5月1日現在)

職位	男		女		合計
	人数	合計に占める割合	人数	合計に占める割合	
教授	16	64.0%	9	36.0%	25
准教授	15	46.9%	17	53.1%	32
講師	9	40.9%	13	59.1%	22
助教	2	8.7%	21	91.3%	23
助手	0	0.0%	9	100.0%	9
合計	42	37.8%	69	62.2%	111

(3) 教員の年齢構成

(令和元年5月1日現在)

年齢 \ 職位	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	全体に占める割合 (%)
25～29						0	0.0%
30～34			1	3	2	6	5.4%
35～39		1	5	3	2	11	9.9%
40～44	2	8	8	6	3	27	24.3%
45～49	2	9	6	7		24	21.6%
50～59	18	11	2	4	2	37	33.3%
60～64	1	3				4	3.6%
65～	2					2	1.8%
合計	25	32	22	23	9	111	
平均年齢	54.2	49.5	43	44	42.3		

(4) 任期付教員数

(令和元年5月1日現在)

組織 \ 職位	教授		准教授		講師		助教		助手		合計	
	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)
人間社会学部	11	(17)	14	(19)	9	(10)	2	(3)	0	(1)	36	(50)
看護学部	4	(8)	7	(13)	7	(12)	18	(18)	8	(8)	44	(59)
人間社会学研究科	9	(12)	8	(10)	3	(3)	1	(1)				
看護学研究科	6	(10)	7	(12)	6	(11)						
附属研究所											0	(0)
看護実践教育センター							2	(2)			2	(2)
合計	15	(25)	21	(32)	16	(22)	22	(23)	8	(9)	82	(111)

※研究科の教員は学部との兼任。合計は、学部、附属研究所及び看護実践教育センターの人数。

(5) 学部

① 学部別専任教員（助教以上）の現員

(令和元年5月1日現在)

学部	学科	現 員				計
		教授	准教授	講師	助教	
人間社会学部	公共社会学科	5	7	5		17
	社会福祉学科	6	5	2	1	13
	人間形成学科	7	7	3	2	19
看護学部	看護学科	8	13	12	20	53
合計		25	32	22	23	102

※社会福祉学科の教授1名が人間形成学科と兼任。

② 採用実績

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
H26年度	1	1	3	1	1	7
H27年度	0	1	5	2	3	11
H28年度	2	3	1	1	3	10
H29年度	0	2	4	2	5	13
H30年度	1	1	1	1	1	5
R1年度	2	1	2	1	1	7
合計	6	9	16	8	14	53

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

学部	学科	主要科目数	主要科目の専任教員担当の科目数	主要科目で非常勤対応の科目数
人間社会学部	公共社会学科	9	9	0
	社会福祉学科	6	6	0
	人間形成学科	5	4	1
看護学部	看護学科	63	61	2

④ 学部別教育補助者（助手・TA）配置数

(令和元年5月1日現在)

学部	現員
人間社会学部	2
看護学部	8

⑤ 非常勤講師の人数と時間数

学部	人数	時間
人間社会学部	46	2,580
看護学部	5	330
両学部共通	17	960
合計	68	3,870

(6) 研究科

① 専攻別指導教員数

(令和元年5月1日現在)

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	4
	心理臨床専攻	5
	子ども教育専攻	3
看護学研究科	看護学専攻	15

※現員：特別研究（修士論文）を持っている人を挙げる。

② 研究指導補助教員数

(令和元年5月1日現在)

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	3
	心理臨床専攻	2
	子ども教育専攻	7
看護学研究科	看護学専攻	20

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

研究科	主要科目数	主要科目の専任教員担当の科目数	主要科目で非常勤対応の科目数
人間社会学研究科	16	16	0
看護学研究科	8	8	0

④ 非常勤講師の人数と時間数

研究科	人数	時間
人間社会学研究科	8	300
看護学研究科	0	0
合計	8	300

2. 事務職員

(1) 事務職員数（組織、補職）

(令和元年5月1日現在)

本務職員			非常勤職員	人材派遣会社からの派遣職員	業務委託による従事者
設置団体の職員	法人採用の職員	定員			
13	8	21	45	0	14

(2) 事務職員の採用区分

採用年度	プロパー職員
H26年度	2名
H27年度	1名
H28年度	0名
H29年度	0名
H30年度	2名
R1年度	0名

(3) 事務職員の性別構成

(令和元年5月1日現在)

性別	男	女
人数	16名	5名

※本統計は事務局本務職員のみ統計。

(4) 事務職員の年齢構成

(令和元年5月1日現在)

年齢	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	合計	平均
人数	0	7	2	1	4	2	1	4	21	41

※本統計は事務局本務職員のみ統計。

Ⅲ. 学生

1. 学生数

(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比）

(学部)

(令和元年5月1日現在)

学部	定数	在籍者数							
		男					女		
		県内	県外	県内	県外	県内	県外		
H28年度以前入学者 4年生	公共社会学科	50	54	19	9	10	35	10	25
	社会福祉学科	50	65	12	6	6	53	20	33
	人間形成学科	50	60	7	3	4	53	18	35
	看護学科	90	106	9	5	4	97	61	36
	小計	240	285	47	23	24	238	109	129
H29年度入学者 3年生	公共社会学科	50	56	14	6	8	42	21	21
	社会福祉学科	50	55	5	0	5	50	24	26
	人間形成学科	50	55	4	2	2	51	21	30
	看護学科	90	92	6	4	2	86	50	36
	小計	240	258	29	12	17	229	116	113
H30年度入学者 2年生	公共社会学科	50	53	20	5	15	33	16	17
	社会福祉学科	50	53	10	8	2	43	24	19
	人間形成学科	50	58	9	4	5	49	22	27
	看護学科	90	101	8	2	6	93	50	43
	小計	240	265	47	19	28	218	112	106
H31年度入学者 1年生	公共社会学科	50	55	25	7	18	30	10	20
	社会福祉学科	50	54	10	4	6	44	20	24
	人間形成学科	50	57	7	1	6	50	18	32
	看護学科	90	96	5	4	1	91	55	36
	小計	240	262	47	16	31	215	103	112
公共社会学科	200	218	78	27	51	140	57	83	
社会福祉学科	200	227	37	18	19	190	88	102	
人間形成学科	200	230	27	10	17	203	79	124	
看護学科	360	395	28	15	13	367	216	151	
合計	960	1,070	170	70	100	900	440	460	

(研究科)

(令和元年5月1日現在)

研究科	定数	在籍者数							
		男	男		女	女			
			県内	県外		県内	県外		
H30年度以前入学者 2年生	社会福祉専攻	6	2	1	1	0	1	1	0
	心理臨床専攻	6	8	0	0	0	8	8	0
	子ども教育専攻	3	2	0	0	0	2	2	0
	看護学専攻	12	11	1	1	0	10	9	1
	小計	27	23	2	2	0	21	20	1
H31年度入学者 1年生	社会福祉専攻	6	3	2	1	1	1	0	1
	心理臨床専攻	6	6	5	1	4	1	1	0
	子ども教育専攻	3	2	2	0	2	0	0	0
	看護学専攻	12	13	11	1	10	2	0	2
	小計	27	24	20	3	17	4	1	3
社会福祉専攻	12	5	3	2	1	2	1	1	
心理臨床専攻	12	14	5	1	4	9	9	0	
子ども教育専攻	6	4	2	0	2	2	2	0	
看護学専攻	24	24	12	2	10	12	9	3	
合計	54	47	22	5	17	25	21	4	

(2) 学部卒業生数 (4年間で卒業した学生)

入学年度 (学部)	公共社会学科		社会福祉学科		人間形成学科		看護学科		合計		4年間で卒業した 学生の割合 (%)
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	
H23年度	61	50	59	56	60	53	81	77	261	236	90.4%
H24年度	49	44	57	51	53	52	80	71	239	218	91.2%
H25年度	55	46	55	52	55	52	90	80	255	230	90.2%
H26年度	55	50	63	57	53	53	90	83	261	243	93.1%
H27年度	55	54	52	49	58	55	95	85	260	243	93.5%
H28年度	53	51	59	56	57	55	98	89	267	251	94.0%

※編入学生を除く

(3) 大学院修了生数 (2年間又は3年間 (長期履修) で卒業した学生)

入学年度 (研究科)	人間社会学研究科				看護学研究科				合計				2年間で卒業した 学生の割合 (%)	3年間で卒業した 学生の割合 (%)
	2年間		長期履修		2年間		長期履修		2年間		長期履修			
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業		
H25年度	12	10	2	2	2	2	2	1	14	12	4	3	85.7%	75.0%
H26年度	12	12	0	0	4	4	2	1	16	16	2	1	100.0%	50.0%
H27年度	10	10	2	1	8	6	2	2	18	16	4	3	88.9%	75.0%
H28年度	8	8	4	3	9	9	0	0	17	17	4	3	100.0%	75.0%
H29年度	11	11	3	0	6	4	3	0	17	15	6	0	88.2%	0.0%
H30年度	15	13	4	2	12	9	4	1	27	22	8	3	81.5%	37.5%

2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年）

(1) 休学・退学・除籍数

(学部)

学部		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)
H28年度入学者 4年生	公共社会学科	53	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	社会福祉学科	59	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	人間形成学科	57	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	98	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	267	4	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
H29年度入学者 3年生	公共社会学科	57	3	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
	社会福祉学科	56	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
	人間形成学科	54	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	93	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	260	6	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
H30年度入学者 2年生	公共社会学科	54	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	社会福祉学科	53	2	3.8%	1	1.9%	0	0.0%
	人間形成学科	58	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	101	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	266	3	1.1%	1	0.4%	0	0.0%
H31年度入学者 1年生	公共社会学科	55	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%
	社会福祉学科	54	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
	人間形成学科	57	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学科	96	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%
	小計	262	3	1.1%	2	0.8%	0	0.0%
公共社会学科	219	4	1.8%	1	0.5%	0	0.0%	
社会福祉学科	222	4	1.8%	1	0.5%	0	0.0%	
人間形成学科	226	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	
看護学科	388	6	1.5%	1	0.3%	0	0.0%	
合計	1,055	16	1.5%	3	0.3%	0	0.0%	

※編入学生を除く

(研究科)

研究科		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)
H29年度入学者 3年生	社会福祉専攻	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心理臨床専攻	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	子ども教育専攻	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学専攻	9	2	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	23	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%
H30年度入学者 2年生	社会福祉専攻	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心理臨床専攻	8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	子ども教育専攻	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学専攻	12	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	27	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
H31年度入学者 1年生	社会福祉専攻	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	心理臨床専攻	6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	子ども教育専攻	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	看護学専攻	13	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	小計	24	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社会福祉専攻	11	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
心理臨床専攻	24	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
子ども教育専攻	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
看護学専攻	34	3	8.8%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	74	3	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	

(2) 留年数

(学部)

学部		在籍者数	留年者数
H 26 年 度	公共社会学科	232	11
	社会福祉学科	235	7
	人間形成学科	220	0
	看護学科	343	5
	小計	1,030	23
H 27 年 度	公共社会学科	225	11
	社会福祉学科	225	3
	人間形成学科	224	5
	看護学科	354	3
	小計	1,028	22
H 28 年 度	公共社会学科	222	7
	社会福祉学科	232	2
	人間形成学科	227	1
	看護学科	376	6
	小計	1,057	16
H 29 年 度	公共社会学科	226	10
	社会福祉学科	234	2
	人間形成学科	228	3
	看護学科	380	8
	小計	1,068	23
H 30 年 度	公共社会学科	223	6
	社会福祉学科	228	5
	人間形成学科	231	0
	看護学科	390	4
	小計	1,072	15
H 31 年 度	公共社会学科	218	2
	社会福祉学科	227	4
	人間形成学科	230	2
	看護学科	395	9
	小計	1,070	17

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

※留年者数：その年度の4年を超えて在籍している者

(研究科)

研究科		在籍者数	留年者数
H 26 年 度	人間社会学研究科	27	1
	看護学研究科	22	2
	小計	49	3
H 27 年 度	人間社会学研究科	29	3
	看護学研究科	24	3
	小計	53	6
H 28 年 度	人間社会学研究科	25	1
	看護学研究科	25	4
	小計	50	5
H 29 年 度	人間社会学研究科	28	0
	看護学研究科	23	4
	小計	51	4
H 30 年 度	人間社会学研究科	34	1
	看護学研究科	20	0
	小計	54	1
H 31 年 度	人間社会学研究科	30	0
	看護学研究科	29	1
	小計	59	1

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

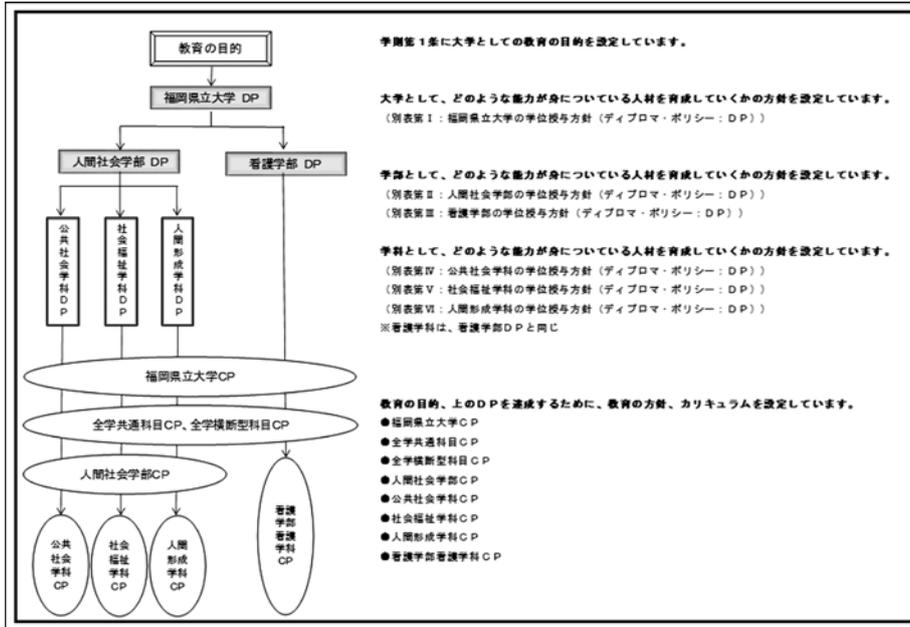
※留年者数：その年度の2年を超えて在籍している者（長期履修者を除く）

IV. 教育

1. 学部

(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、卒業認定・学位授与に関する基本的な方針のことを言い、本学を卒業することでどのような能力が身についているかを保証するものです。教育の目的を前提に、全学、各学部、各学科のDPを別表第Iから別表第VIのとおり定めています。また、カリキュラム・ポリシー（CP）とは教育課程編成・実施方針のことを言い、教育の目的、上のDPを達成するために全学、各学科がそれぞれ教育課程の方針、カリキュラムを設定しています。



本学のDPは以下のように4つの領域、さらに10項目のポリシーに分かれており、これら10項目のポリシーのすべてが、4年間で履修する科目のいずれかに位置付けられています。

領域	ポリシー
知識・理解	DP1 教養・健康に関する知識
	DP2 専門・隣接領域の知識
思考・判断・表現	DP3 論理的思考・判断力
	DP4 表現力
関心・意欲・態度	DP5 挑戦力
	DP6 社会貢献力
技能	DP7 コミュニケーション力
	DP8 情報リテラシー
	DP9 健康スキル
	DP10 専門分野のスキル

別表第I. 福岡県立大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー
知識・理解	DP1 <input type="checkbox"/> 文化の向上に貢献するための教養・健康に関する知識を有している。
	DP2 <input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に関する知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP3 <input type="checkbox"/> 保健・福祉に関する諸問題を専門的知識に基づいて論理的に思考することができる。 <input type="checkbox"/> 社会の諸問題に対し、資料を収集・考察し、結論を見出すことができる。
	DP4 <input type="checkbox"/> 専門的知識に基づいて自らの考えを適切に他者に説明することができる。
関心・意欲・態度	DP5 <input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に寄与するために主体的・意欲的に活動することができる。
	DP6 <input type="checkbox"/> 問題解決に関わる専門分野のスキルを地域社会の発展に活かすことができる。
技能	DP7 <input type="checkbox"/> 異文化の人々と基本的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP8 <input type="checkbox"/> 基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP9 <input type="checkbox"/> 自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP10 <input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に寄与するための専門分野のスキルを身につけている。

別表第Ⅱ．人間社会学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養・健康に関する知識を幅広く有している。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 人間・社会に関する専門的知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題を専門的知識に基づいて論理的に思考することができる。 <input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料を収集・考察し、結論を見いだすことができる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 専門的知識に基づいて、自らの考えを適切に他者に説明することができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 人間・社会に関する諸問題を主体的かつ意欲的に探求することができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 問題解決に関わる専門分野のスキルを社会に活かすことができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように外国語を用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に対する検討手法を身につけている。 <input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に対応するための専門的スキルを身につけている。

別表第Ⅲ．看護学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 人間を理解するための学術的な幅広い知識を有している。 <input type="checkbox"/> 倫理観をもって人間の尊厳を理解している。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 人々の暮らしや生活者としての人間を理解している。 <input type="checkbox"/> 人々の健康を支援するために必要な看護の専門知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 対象が抱えている健康問題や課題の本質を多角的視点から思考・判断できる。 <input type="checkbox"/> 社会の諸問題に対し、資料を収集・考察し、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 人間が本来持っている潜在的な力を引き出すための基礎的看護ケアを選択できる。 <input type="checkbox"/> 看護の専門的視点で関連する諸問題を統合し、適切な看護を選択できる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 他者の意見を受け入れる柔軟な思考をもち、自己と他者の相違点を把握した上で、論点となる考えについて自己の意見を述べるることができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 学びの過程で生じる疑問に対し、解決のための主体的な行動が取れる。 <input type="checkbox"/> 他者に対する深い思いと関心をもち、よりよい人間関係を構築するための態度を示すことができる。 <input type="checkbox"/> 対象の健康問題や課題選択のために、多職種と協働・連携する意欲と態度を示すことができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 看護の役割を自覚し、人々の健康に関する諸課題を探求することができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 異文化の人々と基礎的なコミュニケーションができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 時代の変化にあわせた情報リテラシーを活用できる。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 自らの健康を維持するための基礎的スキルを身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> あらゆる健康レベルにある対象に対し、看護の専門技術を用いて、安全で適切な看護が提供できる。

別表第Ⅳ．人間社会学部公共社会学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 社会学を中心とする社会科学の専門知識を身につけている。 <input type="checkbox"/> 異なる文化や価値観に対して、客観的に理解できる。 <input type="checkbox"/> 社会的事象の歴史的背景や現状の多様性を理解できる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉学、心理学、教育学等、人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識を身につけている。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 社会的事象に関する問題を、公共性の観点から整理できる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 社会的課題の背景を論理的に説明し、それへの対応を提示できる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 様々な社会問題や異なる文化・価値観に深い関心をもち、主体的に学習できる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 公共性に根差した問題解決能力を高め、社会に働きかけることができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、コリア語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 社会的課題を取り扱う際に、先行研究や各種の資料を適切に収集できる。 <input type="checkbox"/> 社会的課題を取り扱う際に、社会科学的に的確に観察、調査、分析できる。

別表Ⅴ. 人間社会学部社会福祉学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP2	<input type="checkbox"/> 人間の自由と尊厳、および人権と社会正義に関する知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 社会保障・社会福祉の制度・政策およびソーシャルワークに関する専門知識を体系的に理解している。 <input type="checkbox"/> 社会学や心理学等、人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識を理解している。
思考・判断・表現	DP3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉およびそれに関連する問題について根拠に基づいて考察することができる。
	DP4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 自らが主体的に設定した社会福祉に関わる課題について探究し、その成果を論理的に表現できる。
関心・意欲・態度	DP5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉およびそれに関連する問題に関心をもち、それに取り組む意欲を示すことができる。
	DP6	<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカーとしての倫理に従って行動する意欲と態度を示すことができる。 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカーとしての専門性を継続的に高めていく意欲と態度を示すことができる。
技能	DP7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、ロシア語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP10	<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの価値と専門知識を基にして、人間の福祉(ウェルビーイング)を高めるためのソーシャルワーク・スキルを習得している。 <input type="checkbox"/> 社会福祉に関する問題について、先行研究や各種の資料を適切に収集し、分析できる。

別表Ⅵ. 人間社会学部人間形成学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP2	<input type="checkbox"/> 乳幼児期における教育または生涯にわたる人間の心理的発達に関わる専門的知識を体系的に身につけている。 <input type="checkbox"/> 乳幼児期における教育または生涯にわたる人間の心理的援助のあり方を理解している。
思考・判断・表現	DP3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 保育・幼児教育または人間のこころに関する現代的課題について考察することができる。 <input type="checkbox"/> 関連する諸問題に対して教育または心理的援助の適切な対応を検討できる。
	DP4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 科学的手法を用いて導かれた自分の考えを適切に表現することができる。
関心・意欲・態度	DP5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 保育・幼児教育または人間のこころに関する課題を抽出し、探究することができる。
	DP6	<input type="checkbox"/> 教育または心理的援助のスキルを用いて社会に活かすことができる。 <input type="checkbox"/> 教育または心理的援助に従事する立場の倫理・道徳に従って行動できる。
技能	DP7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、ロシア語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP10	<input type="checkbox"/> 教育および心身に関する諸問題を検討するための科学的手法を身につけている。 <input type="checkbox"/> 様々な立場にある人々に対する心理的援助または保育・幼児教育のスキルを修得している。

● 福岡県立大学 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

福岡県立大学は、教育の目的及び学位授与方針を達成し、学生に必要な学力の3要素及び学士力を身に付けさせるために、全学共通科目、全学横断型科目、専門教育科目（看護学部にあつては専門基礎科目及び専門科目）、その他必要とする科目を体系的に編成する。

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、並びに専門的職業人及び社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」及び「基礎科目」を配置する。全学横断型科目は、地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両

学部で学べる科目を配置する。専門教育科目（看護学部にあつては専門基礎科目及び専門科目）は、各学部・学科で求められる専門性を体系的に修得できるように科目を配置する。

● 全学共通科目 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・「教養科目」は、①学部における専門教育の基礎となる科目および②福祉社会の担い手となる専門的職業人として、また現代を生きる社会人として求められる教養を身につけることを目的とした科目群であり、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」および「総合科目」に関する科目を開設する。

○基礎科目・・・「基礎科目」は、①新入学生が大学での学習に速やかに移行するための導入教育、②現代の情報社会に対応するための情報リテラシー教育、③国際化社会に対応するための語学教育および④生涯を通じた健康の維持・増進のための知識と技術を身につける健康教育に関する科目群で構成され、「必須外国語」、「選択外国語」、「情報処理」、「健康科学」、「基礎ゼミ」および「発展ゼミ」を開設する。

● 全学横断型科目 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

● 人間社会学部 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部は、学部の教育の目的及び学位授与の方針を達成し、学生に必要な学力の3要素及び学士力を身に付けさせるために、全学共通科目、全学横断型科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成する。

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、並びに専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」及び「基礎科目」を配置する。全学横断型科目は、地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、他学部とともに学べる科目を配置する。専門教育科目は、学部・学科で求められる専門性を体系的に修得できるように科目を配置する。

● 公共社会学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部公共社会学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施する。

全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・ } 全学共通科目 CP と同じ
○基礎科目・・・ }

全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

専門教育科目

専門教育科目は、公共性の視点に立ち、時代が要請し期待する様々な課題解決に役立てていくことのできる人材の養成を目的として、「公共社会学基礎論」「社会調査・情報処理」「地域社会ネットワーク」「アジア国際

共生」「関連科目」の5つの科目群で構成する。

- 公共社会学基礎論・・・公共性の基礎論となる科目を配置する。
 - 社会調査・情報処理・・・時代が要請し期待する様々な課題解決に対応する能力を証明する社会調査士、上級情報処理士の資格取得に関連する科目を配置する。
 - 地域社会ネットワーク・・・地域社会の現状分析と自立・協働・持続可能な地域社会運営のあり方を学ぶための科目を配置する。
 - アジア国際共生・・・グローバル化する国際関係をふまえた共生のあり方を学ぶための科目を配置する。
 - 関連科目・・・公共性の視点に関連する哲学、歴史、法律、教育に関連する科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。
 - 教職に関する専門教育科目・・・高等学校教諭一種免許状（公民）・中学校教諭一種免許状（社会）の取得に関連する科目を配置する。
 - 公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ、卒業論文・・・公共社会学科における学びの集大成として、専門知識（DP2）、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、挑戦力（DP5）、社会貢献力（DP6）、専門分野のスキル（DP10）を身につけるための「公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ」と「卒業論文」を3、4年次に配置する。
- ※「全学共通科目」「専門教育科目」には、高等学校教諭一種免許状「公民」、中学校教諭一種免許状「社会」の取得に必要な科目を配置する。

● 社会福祉学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部社会福祉学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとられない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
 - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

専門教育科目

社会福祉学科の専門教育科目は、さまざまな生活上の困難をかかえる人々を支援し、その問題解決のために必要な制度・政策、そして具体的援助方法を学ぶことを目的として、「基幹科目」、「社会福祉専門科目」、「精神保健福祉専門科目」、「学校ソーシャルワーク専門科目」、「関連科目」の5つの科目群で構成する。

- 基幹科目・・・社会福祉学の基盤となる概念、歴史、法制度や相談援助の理論と方法など、4年間の学びの基幹となる科目で構成する。また、社会福祉学科における学びの集大成として、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、能動的学修力（DP5）、専門的技能・分析力（DP10）を身につけるため、「社会福祉学演習」および「卒業論文」を3、4年次に配置する。
- 社会福祉専門科目・・・児童福祉、老人福祉、障害者福祉などの分野別の講義科目等と、相談援助の技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。
- 精神保健福祉専門科目・・・精神保健福祉分野の講義科目と、精神保健福祉援助の技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。
- 学校ソーシャルワーク専門科目・・・学校ソーシャルワークに関連する講義科目と、学校ソーシャルワークの技術を実践的に学ぶ演習および実習関連の科目で構成する。
- 関連科目・・・社会学や心理学等、社会福祉学を学ぶ上で重要となる関連科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。

※社会福祉士および精神保健福祉士国家試験受験資格ならびにスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了資格の取得に関連する指定科目を配置する。

● 人間形成学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部人間形成学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

全学共通科目から 47 単位以上、専門教育科目から 69 単位以上およびこれら 2 つの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目として 12 単位以上、合計 128 単位以上を修得する。

全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
 - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

専門教育科目

専門教育科目は、人間の心身の形成過程と教育およびその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、保育・幼児教育または生涯にわたる心理臨床などに携わる専門的な人材を育成することを目的として、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の 3 つの科目群で構成する。

- 基幹科目・・・人間形成学科の各コースに共通する教育学、心理学および保健学に関わる基礎的・基本的な科目群で構成する。
- 展開科目・・・こどもコースにおいては、保育・幼児教育に関する専門的な科目、心理コースにおいては人間のこころの理解および心理的援助に関わる専門的な科目を配置する。
- 関連科目・・・人間形成学科のいずれのコースにおいても共通して学ぶことが望ましいと思われる、社会教育に関する科目を配置する。総合人間社会コースの科目は、福祉社会において様々な現場で役に立つ専門的な知識やスキルを身につけることを目的として配置する。
- 演習、卒業論文・・・人間形成学科における学びの集大成として、専門知識（DP2）、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、挑戦力（DP5）、専門スキル（DP10）を身につけるための「演習」と「卒業論文」を 3、4 年次に配置する。

※「全学共通科目」および「専門教育科目」には、幼稚園教諭 1 種免許状、保育士資格、認定心理士資格の取得及び公認心理師国家試験受験資格の取得に必要な科目を配置する。

● 看護学部看護学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

看護学部看護学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

看護師国家試験受験資格に関する指定規則に基づき、全学共通科目から 18 単位以上、専門基礎科目から 8 単位以上、専門科目から 94 単位以上及びこれらの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目 8 単位以上、合計 128 単位以上を修得する。

全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
 - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

全学横断型科目

地域における保健・医療・福祉の諸課題に、主体性をもって他者と協働して課題を解決できる実践的能力の向上を目的として、両学部で学べる全学横断型科目を配置する。

専門基礎科目

専門基礎科目は、幅広い視点から人間を理解することのできる看護職者を育成する科目として、「人間の見方と健康」と「人間と保健・医療」の2つの区分を設定する

専門科目

専門科目は、人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる看護職者の育成を目的として、「実験看護学」、「基礎看護学」、「精神看護学」、「成人看護学」、「老年看護学」、「小児看護学」、「女性看護学」、「在宅看護学」、「看護の統合と実践」、「公衆衛生看護学」の区分を設定し、学習の効果が最大限に上がるように講義終了後に、演習や臨地実習を積み重ね方式で配置している。

※「専門基礎科目」および「専門科目」において保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許取得するための必要な科目を配置する。

(2) 開設科目及び単位数

授業科目「全学共通科目（教養科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
教養科目	人文科学	哲学		2	講義	2				人間社会学部 看護学部
		論理学		2	講義		2			
		宗教学		2	講義		2			
		心理学概論		2	講義	2				
		日本近現代史		2	講義	2				
		アート論		2	講義	2				
		文学		2	講義	2				
		哲学的人間学		2	講義	2				
	社会科学	社会学A		2	講義	2				
		社会学B		2	講義	2				
		法学		2	講義	2				
		* 憲法		2	講義	2				
		政治学		2	講義	2				
		経済学		2	講義	2				
		国際関係論		2	講義		2			
		社会思想史		2	講義		2			
	自然科学	科学史		2	講義		2			
		生物学		2	講義	2				
		化学		2	講義	2				
		物理学		2	講義	2				
		統計学		2	講義	2				
		情報科学		2	講義	2				
		環境科学		2	講義	2				
		数学概論		2	講義	2				
	総合科目	* 人権論		2	講義	2				
		* ジェンダー論		2	講義			2		
		現代社会と嗜癖		2	講義	2				
		性教育学		2	講義			2		
グローバル社会論			2	講義		2				
入門・数字で見る日本社会			2	講義	2					
ライフキャリア論		2	講義	2						

注1：全学科の学生は、「全学共通科目」の「教養科目」の中で、人権教育に関する科目として「憲法」「人権論」「ジェンダー論」の3科目のうちから必ず1科目2単位以上を修得しなければならない。

2：「社会学A」「社会学B」は、公共社会学科の必修指定科目である。

3：教員免許状（高校教諭一種（公民）、中学校教諭一種（社会）、養護教諭一種、養護教諭二種、幼稚園教諭一種）取得希望者は、「憲法」を必ず履修しなければならない。

授業科目「全学共通科目（基礎科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
必須外国語	英語Ⅰ-(1)	1		演習	1				必修 6単位	
	英語Ⅰ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(1)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅲ-(1)	1		演習		1				
	英語Ⅲ-(2)	1		演習		1				
	リーディングⅠ	1		演習	1				必修 6単位	
	リーディングⅡ	1		演習		1				
	ライティング	1		演習	1					
	オーラルコミュニケーションⅠ	1		演習	1					
オーラルコミュニケーションⅡ	1		演習	1						
オーラルコミュニケーションⅢ	1		演習		1					
基礎科目 選択外国語	英語Ⅳ-(1)		1	演習			1		海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して6単位以上 ※入学後2年間は選択外国語を変更することはできない。なお履修パターンは別途指示する。	英語Ⅳ-(1)、英語Ⅳ-(2)、コリア語Ⅲ-(1)、コリア語Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、中国語Ⅲ-(2)、海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して2単位以上
	英語Ⅳ-(2)		1	演習			1			
	リーディングⅢ		1	演習				1		
	コリア語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	コリア語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	コリア語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	コリア語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	コリア語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	コリア語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	中国語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	中国語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	中国語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	中国語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	中国語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	中国語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	仏語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	仏語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	仏語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	仏語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	独語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	独語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	独語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	独語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
海外語学実習事前指導		1	演習			1				
海外語学実習		1	演習			1				
Introduction to studying in English		1	演習	1						
情報処理	情報処理の基礎と演習	2		演習	2				必修2単位	
	情報処理応用演習		1	演習	1				自由選択単位	
	情報処理演習Ⅰ	1		演習	1					必修1単位
	情報処理演習Ⅱ		1	演習	1					
健康科学	保健理論		2	講義	2				選択必修2単位	
	健康スポーツ論		2	講義	2					
	健康科学実習Ⅰ	1		☆実習	1				必修2単位	
	健康科学実習Ⅱ	1		☆実習	1					
基礎ゼミ	教養演習	1		演習	1				必修1単位	必修1単位
発展ゼミ	社会人基礎力演習		1	演習		1			各学科とも自由選択の12単位に含めることができる	自由選択の8単位に含めることができる
	Advanced English Achievement		1	演習			1			

注1：必修外国語のうち、リーディングⅠ・Ⅱ・Ⅲ、ライティング、オーラルコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲは、看護学部学生が履修し、その他は人間社会学部学生が履修する授業である。

2：英語を除く外国語のうち、コリア語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)は、人間社会学部学生が履修する授業である。

3：海外語学実習、海外語学実習指導、Introduction to studying in English は選択外国語の単位数には含まれないが、自由選択の単位となる。

4：Introduction to studying in English、情報処理の基礎と演習、情報処理応用演習、保健理論、健康スポーツ論、健康科学実習Ⅰ、健康科学実習Ⅱは人間社会学部学生が履修し、情報処理演習Ⅰ、情報処理演習Ⅱは看護学部学生が履修する授業である。

5：授業方法欄の「☆実習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

公共社会学科「専門教育科目」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
公共社会学基礎論	社会学概論	2		講義	2				
	社会学史Ⅰ	2		講義		2			
	社会学史Ⅱ	2		講義		2			
	公共性の社会学	2		講義	2				
	社会政策論		2	講義	2				
	公共経済学		2	講義			2		
	社会学の分析法A		2	講義		2			
	社会学の分析法B		2	講義			2		
	現代社会論A（ジェンダー・世代）		2	講義		2			
	現代社会論B（情報社会論）		2	講義		2			
	現代社会論C（情報社会と法）		2	講義		2			
	家族社会学A		2	講義		2			*1
	家族社会学B		2	講義		2			
	福祉社会学		2	講義			2		*2
	社会病理学		2	講義		2			*1
	社会変動と社会問題		2	講義			2		*2
	集合行動論		2	講義			2		
	仕事の経済学		2	講義		2			
	暮らしの経済学		2	講義		2			*1
	CSR（企業の社会的責任）論		2	講義			2		
社会心理学		2	講義	2					
人格心理学		2	講義	2					
社会調査・情報処理	社会調査法	2		講義	2				
	社会調査の設計		2	講義		2			*1
	データ分析の基礎		2	講義	2				
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			*1
	社会統計学Ⅱ		2	講義		2			
	質的調査法		2	講義		2			
	データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		*2 *3
	データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		*2 *3
	社会調査実習Ⅰ		2	実習		2			半期2時限連続開講
	社会調査実習Ⅱ		2	実習		2			半期2時限連続開講
情報数学		2	講義		2			*3	
プログラミング概論		2	講義		2			*1 *3	
地域社会ネットワーク	地域社会学A		2	講義	2				*1
	地域社会学B		2	講義			2		
	コミュニティ論		2	講義		2			
	都市社会学		2	講義		2			
	地域社会分析法A		2	講義			2		*2
	地域社会分析法B		2	講義			2		
	地域社会分析法C		2	講義			2		*2
	公共社会学特講A		2	講義			2		
	公共社会学特講B		2	講義			2		
	地理学		2	講義	2				
	地理学概論		2	講義		2			*1
	地方自治論		2	講義		2			*1
	地域計画論		2	講義			2		

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
アジア 国際 共生	国際社会学A		2	講義		2			*1
	国際社会学B		2	講義		2			
	国際政治学		2	講義	2				*1
	多文化社会論		2	講義		2			*1
	世界地理		2	講義	2				
	東アジア関係史		2	講義		2			
	韓国の社会と文化		2	講義	2				
	中国の社会と文化		2	講義	2				
	イスラム社会論		2	講義		2			
	文化人類学A		2	講義			2		
	文化人類学B		2	講義			2		
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	NPO論		2	講義			2		*2
	国際協力論		2	講義	2				
	アジア経済論		2	講義			2		*2
関連 科目	哲学要論		2	講義			2		
	倫理学		2	講義			2		
	日本史概論		2	講義		2			
	西洋史概論		2	講義		2			
	法学概論Ⅰ		2	講義			2		
	法学概論Ⅱ		2	講義			2		
	教育社会学		2	講義			2		
	社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	地域福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	教育学概論B		2	講義	2				
	生涯教育論		2	講義		2			
	社会教育論		2	講義		2			
	対人心理学		2	講義	2				
	Webデザイン演習		1	演習		1			*4
	情報ネットワーク論		2	講義		2			*4
	データベース論		2	講義		2			*4
	プログラミング演習		1	演習			1		*4
	情報検索システム論		2	講義			2		*4
	問題解決演習		1	演習		1			*4
	人的資源管理論		2	講義		2			*4
	キャリア論		2	講義			2		*4
	組織マネジメント		2	講義			2		*4
ビジネス倫理		2	講義			2		*4	
個人情報法制		2	講義			2		*4	
公共社会学研究Ⅰ	1		演習			1			
公共社会学研究Ⅱ	1		演習			1			
卒業論文	6		演習				6		

注1：「*1」の選択必修科目の内、「公共社会学基礎論」「社会調査・情報処理」「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」の全ての領域の科目を選択した上で、10単位以上を履修すること。

2：「*2」の選択必修科目の内、4単位以上を履修すること。

3：「*3」は地域社会コース・総合人間社会コースの専門教育科目。

4：「*4」は総合人間社会コースの専門教育科目。

社会福祉学科「専門教育科目」

	授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基幹科目	社会福祉学概論Ⅰ	2		講義	2				
	社会福祉学概論Ⅱ	2		講義	2				
	社会保障論Ⅰ		2	講義	2				
	社会保障論Ⅱ		2	講義	2				
	社会福祉の歴史と思想		2	講義				2	
	福祉行財政と福祉計画		2	講義			2		
	地域福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2		講義	2				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2		講義	2				
	相談援助の理論と方法A		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法B		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法C		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法D		2	講義			2		
	社会福祉学演習	2		演習			2		
	卒業論文	6		演習				6	
社会福祉専門科目	老人福祉論		2	講義		2			
	介護福祉論		2	講義		2			
	障害者福祉論		2	講義		2			
	児童福祉論		2	講義		2			
	家族福祉論		2	講義			2		
	公的扶助論		2	講義		2			
	社会福祉調査法		2	講義		2			
	相談援助演習A		2	演習		2			
	相談援助演習B		2	演習			2		
	相談援助演習C		1	演習			1		
	相談援助実習指導Ⅰ		2	演習		2			
	相談援助実習指導Ⅱ		1	演習			1		
	相談援助実習		4	実習			4		
	福祉経営論		2	講義			2		
	保健医療論		2	講義		2			
	就労支援		1	講義			1		
	権利擁護と成年後見制度		2	講義			2		
	更生保護		2	講義			2		
	医療ソーシャルワーク論		2	講義			2		
	福祉住環境論		2	講義			2		
	介護技術演習		1	演習			1		
	医学概論		2	講義	2				
	福祉専門職特講A		2	講義			2		
福祉専門職特講B		2	講義				2		
精神保健福祉専門科目	精神保健福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉論Ⅲ		2	講義			2		
	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）		2	講義		2			
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		2	講義			2		
	精神科リハビリテーション学Ⅰ		2	講義			2		
	精神科リハビリテーション学Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉演習		1	演習			1		
	精神保健福祉援助演習		2	演習				2	3年後期～4年後期
	精神保健福祉援助実習指導		3	演習				3	3年前期～4年後期
	精神保健福祉援助実習		5	実習				5	

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次		
社 専 門 科 目 （ 精 神 保 健 福 ）	精神保健学Ⅰ		2	講義		2			人間形成学科の精神保健学と共通	
	精神保健学Ⅱ		2	講義		2				
	精神医学Ⅰ		2	講義			2			
	精神医学Ⅱ		2	講義			2			
学 校 ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 専 門 科 目	学校ソーシャルワーク論		2	講義			2			
	学校ソーシャルワーク演習		2	演習			2		3年後期～4年前期	
	学校ソーシャルワーク実習指導		2	演習			2		3年後期～4年前期	
	学校ソーシャルワーク実習		2	実習				2		
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2					
	教育学概論B		2	講義	2					
	教育社会学		2	講義			2			
	教育制度論		2	講義			2			
	教育相談		2	講義				2		
	生徒指導論B		2	講義				2		
	関 連 科 目	倫理学		2	講義		2			
		地方自治論		2	講義			2		
仕事の経済学			2	講義		2				
暮らしの経済学			2	講義		2				
現代社会論A（ジェンダー・世代）			2	講義		2				
現代社会論B（情報社会論）			2	講義		2				
福祉社会学			2	講義			2			
地域社会学A			2	講義	2					
地域社会学B			2	講義			2			
コミュニティ論			2	講義		2				
NPO論			2	講義			2			
発達心理学Ⅱ			2	講義	2					
老年心理学			2	講義			2			
老年期医学			2	講義			2			
社会病理学			2	講義		2				
社会心理学			2	講義	2					
データ処理とデータ解析Ⅰ			1	演習			1		*	
データ処理とデータ解析Ⅱ			1	演習			1		*	
家族社会学A			2	講義		2				
家族社会学B			2	講義		2				
生涯教育論			2	講義		2				
社会教育論			2	講義		2				
人格心理学			2	講義	2					
対人心理学			2	講義	2					
情報数学			2	講義		2			*	
Webデザイン演習			1	演習		1			*	
プログラミング概論			2	講義		2			*	
データベース論			2	講義		2			*	
情報ネットワーク論			2	講義		2			*	
プログラミング演習			1	演習			1		*	
情報検索システム論			2	講義			2		*	
問題解決演習			1	演習		1			*	
人的資源管理論		2	講義		2			*		
キャリア論		2	講義			2		*		
組織マネジメント		2	講義			2		*		
ビジネス倫理		2	講義			2		*		
個人情報法制		2	講義			2		*		

注：*は総合人間社会コースの科目。

人間形成学科「専門教育科目」

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開 講 時 期 (標 準 履 修 年 次)				備 考
		必 修	選 択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基幹科目 *1	教育学概論A		2	講義	2				2科目いずれか選択必修 Aは保育士・幼免必修
	教育学概論B		2	講義	2				
	教育史	2		講義		2			
	生涯教育論	2		講義		2			
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				保育士必修
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				保育士・幼免必修
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				保育士・公認心理師必修
	教育心理学概論(教育・学校心理学)		2	講義		2			公認心理師必修
	子どもの保健		2	講義	2				保育士必修
	臨床心理学概論		2	講義			2		公認心理師必修
	教育相談(教育・学校心理学)		2	講義				2	公認心理師必修
	教育相談(幼児教育)		2	講義				2	幼免必修
	教育制度論(関係行政論)		2	講義			2		幼免・公認心理師必修
展開科目 (子どもコース)	保育者論		2	講義	2				
	保育学		2	講義		2			
	社会福祉Ⅰ		2	講義	2				
	社会福祉Ⅱ		2	講義				2	
	子ども家庭福祉		2	講義		2			
	子ども家庭支援論		2	講義		2			
	社会的養護Ⅰ		2	講義		2			
	幼児理解の理論と方法		2	☆演習			2		*2
	子どもの食と栄養		2	演習			2		*2
	造形Ⅰ		1	演習	1				*2
	造形Ⅱ		1	演習	1				*2
	音楽Ⅰ		2	演習	2				*2
	音楽Ⅱ		1	演習		1			*2
	音楽Ⅲ		1	演習		1			*2
	体育Ⅰ		1	演習		1			
	体育Ⅱ		1	演習			1		
	子どもと遊び		2	講義			2		*2
	教育課程論(幼児教育)		2	講義		2			
	保育の計画と評価		2	講義		2			
	子どもの健康と安全		1	演習		1			*2
	特別支援教育		1	演習		1			
	障害児保育		2	☆演習		2			
	乳児保育Ⅰ		2	講義		2			
	乳児保育Ⅱ		1	演習			1		*2
	保育方法論		2	講義			2		
	社会的養護Ⅱ		1	演習			1		*2
	子育て支援		1	演習				1	*2
	保育内容総論		2	☆演習		2			*2
	幼児と健康		1	演習			1		*2
	幼児と人間関係		1	演習			1		*2
	幼児と環境		1	演習		1			*2
	幼児と言葉		1	演習		1			*2
	幼児と表現A		1	演習		1			*2
幼児と表現B		1	演習			1		*2	
保育内容の指導法・健康		1	演習			1		*2	
保育内容の指導法・人間関係		1	演習			1		*2	
保育内容の指導法・環境		1	演習		1			*2	
保育内容の指導法・言葉		1	演習		1			*2	

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開 講 時 期 (標 準 履 修 年 次)				備 考
		必 修	選 択		1年次	2年次	3年次	4年次	
(こどもコース)	保育内容の指導法・表現A		1	演習		1			* 2
	保育内容の指導法・表現B		1	演習			1		* 2
	保育内容演習		2	☆演習				2	* 2
	保育・教職実践演習(幼稚園)		2	☆演習				2	* 2
	幼稚園教育実習事前事後指導		1	実習			1		* 2
	幼稚園教育実習Ⅰ		2	実習		2			* 2
	幼稚園教育実習Ⅱ		2	実習		2			* 2
	保育実習指導Ⅰ		2	演習		2			* 2
	保育実習Ⅰ		4	実習			4		* 2
	保育実習指導Ⅱ-A		1	演習			1		* 2
	保育実習Ⅱ-A		2	実習			2		* 2
	保育実習指導Ⅱ-B		1	演習			1		* 2
	保育実習Ⅱ-B		2	実習			2		* 2
心理コース	学習心理学及び言語の習得(学習・言語心理学)		2	講義		2			
	心身科学		2	講義		2			
	比較心理学		2	講義		2			
	生理心理学及び神経心理学(神経・生理心理学)		2	講義		2			
	加齢基礎論		2	講義		2			
	知覚心理学(知覚・認知心理学)		2	講義			2		
	認知心理学(知覚・認知心理学)		2	講義			2		
	対人心理学		2	講義	2				
	社会心理学(社会・集団・家族心理学)		2	講義	2				公共社会学科・社会福祉学科の「社会心理学」と共通
	産業・組織心理学		2	講義			2		
	司法・犯罪心理学		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	家族心理学(社会・集団・家族心理学)		2	講義				2	
	感情・人格心理学		2	講義	2				公共社会学科・社会福祉学科の「人格心理学」と共通
	障害者・障害児心理学		2	講義		2			
	健康・医療心理学		2	講義		2			
	心理学的支援法		2	講義		2			* 3
	心理演習		2	☆演習			2		* 3 演習時間：22.5時間
	心理的アセスメント		2	☆演習			2		* 3
	精神保健学		2	講義	2				社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通
	福祉心理学		2	講義	2				
	医学概論(人体の構造と機能及び疾病)		2	講義	2				社会福祉学科の「医学概論」と共通
	老年期医学		2	講義			2		
	精神医学Ⅰ(精神疾患とその治療Ⅰ)		2	講義			2		社会福祉学科の「精神医学Ⅰ」と共通
	精神医学Ⅱ(精神疾患とその治療Ⅱ)		2	講義			2		社会福祉学科の「精神医学Ⅱ」と共通
	心理学実験Ⅰ		2	☆演習		2			* 3
	心理学実験Ⅱ		2	☆演習		2			* 3
	心理学研究法		2	講義		2			
	心理学統計法		2	講義		2			
	心理実習Ⅰ		1	実習		1			* 3 実習時間：30時間
	心理実習Ⅱ		1	実習			1		* 3 実習時間：30時間
	心理実習Ⅲ		1	実習			1		* 3 実習時間：30時間
公認心理師の職責		2	講義		2			* 3	
保健医療福祉行政論Ⅰ(関係行政論)		1	講義		1			看護学科の「保健医療福祉行政論Ⅰ」と共通	
更生保護(関係行政論)		2	講義			2		社会福祉学科の「更生保護」と共通	
人的資源管理論(関係行政論)		2	講義		2			* 4 総合人間社会コースの「人的資源管理論」と共通	
社会統計学Ⅰ		2	講義		2				
データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		* 4	
データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		* 4	

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方 法	開講時期（標準履修年次）				備 考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
関 連 科 目	社会教育論		2	講義		2			
	図書館情報学		2	講義			(2)	2	隔年開講
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	社会教育特講A		2	講義		2			
	社会教育特講B		2	講義			2		
	社会教育特講C		2	講義			2		
	社会教育特講D		2	講義	2				
	社会教育特講E		2	講義		2			
	キャリア論		2	講義			2		* 4
	情報数学		2	講義		2			* 4
	Webデザイン演習		1	演習		1			* 4
	プログラミング概論		2	講義		2			* 4
	情報ネットワーク論		2	講義		2			* 4
	データベース論		2	講義		2			* 4
	プログラミング演習		1	演習			1		* 4
	情報検索システム論		2	講義			2		* 4
	問題解決演習		1	演習		1			* 4
	組織マネジメント		2	講義			2		* 4
	ビジネス倫理		2	講義			2		* 4
	個人情報法制		2	講義			2		* 4
演習		2		演習			2		
卒業論文		6		演習				6	

- 注1：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。
- 2：「*1」の基幹科目は必修科目6単位および選択必修科目2単位を含み、合計18単位の修得を卒業要件とする。
- 3：「*2」はこどもコース、「*3」は心理コースの学生のみ履修できる科目。
- 4：「*4」は総合人間社会コースの科目。

看護学部「専門基礎科目」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
人間の 見方と 健康	遺伝学		2	講義	2				
	栄養学	2		講義	2				
	疫学		2	講義		2			
	保健統計学	2		講義		2			
	保健社会調査論		2	演習			2		
	健康科学		2	講義		2			
	臨床心理学		2	講義			2		
	精神保健学		2	講義		2			
医療・ 人間と 保健・	東洋医学概論		1	講義		1			
	保健社会学	1		講義	1				
	保健医療福祉行政論Ⅰ	1		講義		1			
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2	講義				2	
	公衆衛生学	2		講義	2				

看護学部「専門科目」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
実験 看護学	生態機能看護学Ⅰ	2		講義	2				
	生態機能看護学Ⅱ	2		講義	2				
	生態機能看護学Ⅲ		1	演習				1	
	看護生化学	2		講義	2				
	病態看護学Ⅰ	2		講義		2			
	病態看護学Ⅱ	2		講義		2			
	看護薬理学	2		講義		2			
	感染・免疫看護学演習	1		演習	1				
	生態・病態看護学実験	1		実験		1			
基礎 看護学	基礎看護学概論	2		講義	2				
	基礎看護技術論	2		演習	2				
	ケアリング論	2		講義			2		
	シンプトンマネジメント論	1		演習		1			
	フィジカルアセスメント論	2		演習		2			
	看護過程	1		演習		1			
	看護研究	2		講義			2		
	看護倫理学	1		演習		1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1		実習	1				
	基礎看護学実習Ⅱ	2		実習		2			基礎看護技術論、看護過程を履修している。
精神 看護学	精神看護学概論	1		講義		1			
	精神看護学	2		講義		2			
	精神看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	精神看護学演習Ⅱ	1		演習				1	
	精神看護学実習	2		実習				2	精神看護学演習Ⅰ、精神看護学演習Ⅱを履修している。

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
成人看護学	成人看護学概論	1		講義		1			
	成人急性看護学	2		講義		2			
	成人慢性看護学	2		講義		2			
	成人看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	成人看護学演習Ⅱ	1		演習			1		
	成人急性看護学実習	3		実習				3	成人看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅱを履修している。
	成人慢性看護学実習	3		実習				3	成人看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅱを履修している。
老年看護学	老年看護学概論	1		講義		1			
	老年看護学	2		講義		2			
	老年看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	老年看護学演習Ⅱ	1		演習				1	
	老年看護学実習Ⅰ	1		実習		1			
	老年看護学実習Ⅱ	3		実習				3	老年看護学演習Ⅰ、老年看護学演習Ⅱを履修している。
小児看護学	小児看護学概論	1		講義		1			
	小児看護学	2		講義		2			
	小児看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	小児看護学演習Ⅱ	1		演習				1	
	小児看護学実習	2		実習				2	小児看護学演習Ⅰ、小児看護学演習Ⅱを履修している。
女性看護学	女性看護学概論	1		講義		1			
	女性看護学	2		講義		2			
	女性看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	女性看護学演習Ⅱ	1		演習				1	
	女性看護学実習	2		実習				2	女性看護学演習Ⅰ、女性看護学演習Ⅱを履修している。
在宅看護学	在宅看護学概論	1		講義		1			
	在宅看護学	2		講義		2			
	在宅看護学演習Ⅰ	1		演習			1		
	在宅看護学演習Ⅱ	1		演習				1	
	在宅看護学実習	2		実習				2	在宅看護学演習Ⅰ、在宅看護学演習Ⅱを履修している。
看護の統合と実践	チーム医療論	1		講義		1			
	災害看護学	1		講義		1			
	国際看護学		1	講義		1			
	医療安全	1		講義		1			
	看護管理論	1		講義				1	
	看護教育学		1	講義			1		
	看護実践論	1		演習			1		
	看護情報学		1	演習		1			
	キャリア像確立講義Ⅰ		1	講義	1				
	キャリア像確立講義Ⅱ		1	講義			1		
	統合実習	2		実習				2	
	専門看護学ゼミ	2		演習			2		
	卒業研究	2		演習				2	

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学Ⅰ	2		講義		2			
	公衆衛生看護学Ⅱ		2	講義				2	
	公衆衛生看護学Ⅲ		1	講義				1	
	公衆衛生看護技術論Ⅰ		2	演習				2	
	公衆衛生看護技術論Ⅱ		2	演習				2	
	組織協働活動論		2	講義				2	
	公衆衛生看護アセスメント論Ⅰ		1	演習			1		
	公衆衛生看護アセスメント論Ⅱ		2	演習				2	
	公衆衛生看護管理論		2	講義				2	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ		1	実習				1	公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護アセスメント論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護技術論Ⅰ・Ⅱを履修している。
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		4	実習				4	
家族看護学	1		講義			1			
学校保健	養護概説		2	講義		2			
	学校保健学		1	講義			1		
	教職実践演習（養護教諭）		2	演習				2	養護実習を履修している。
	養護実習事前事後指導		1	実習				1	
	健康教育論		2	講義			2		
	養護実習		4	実習				4	養護実習事前事後指導を履修している。

注1：履修とは、単位を修得するために履修登録をし、第28条第1項に定める出席をしたことを指す。

(3) 卒業必要科目及び単位数

区 分		人 間 社 会 学 部									看護学部		
		公共社会学科			社会福祉学科			人間形成学科			看護学科		
		必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択
全 学 共 通 科 目	教 養 科 目	人文科学	4	12	12	4	12	4	12	12	6	2	8
		社会科学	4			4		4					
		自然科学	4			4		4					
		総合科目	4			4		4					
	基 礎 科 目	必須外国語 英語他	6	12	12	6	12	6	12	6	2	1	8
		選択外国語 リーディング、コ リア語、中 国語、仏語、 独語他	6			6		6					
		情報処理	2			2		2					
		健康科学	講義			2		2		2			
			実習			2		2		2			
		基礎ゼミ	1			1		1					
		発展ゼミ											
	全学横断型科目												
	専門基礎科目(看護学部)										8		
専門科目(看護学部)										94			
専門教育科目(人間社会学部)		18	51		16	53		14	55				
教科及び教職に関する科目													
養護及び教職に関する科目													
合計(卒業必要最低単位数)		128			128			128			128		

注1：上表の「選択」には「選択必修」も含まれる。

2：人間社会学部における「専門教育科目」、看護学部における「専門科目」には、卒業論文又は卒業研究が含まれる。

3：「自由選択」の履修方法

他学部・他学科の開設科目を含み、「全学共通科目」「全学横断型科目」「専門基礎科目」「専門科目」「専門教育科目」及び「教科及び教職に関する科目」から自由に選択履修することができる。ただし、自分の所属する学部・学科の開設科目は自由に選択できるが、他学部・他学科の開設科目の場合は、当該学部・学科が指定した科目の中から選択し、あらかじめその履修を届け出なければならない。

なお、看護学部においては、他学部が開設する科目並びに「養護及び教職に関する科目」（看護学部の「専門基礎科目」及び「専門科目」を除く）は、自由選択の修得単位としない。

(4) 全学横断型科目

授業科目の区分と科目名	単 位		授業 方法	開設時期(標準履修年次)				卒業要件	
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
不登校・ひきこもり援助論		2	講義	2				各学科とも自由 選択の12単位に 含めることが できる	自由選択の8単 位に含めること ができる
子供学習支援論		1	講義	1					
ブレ・インターンシップ		1	実習	1					
専門職連携入門		1	講義	1					
※データベース論		2	講義		2				
※情報ネットワーク論		2	講義		2				
※問題解決演習		1	演習		1				
日本語ライティング		1	演習		1				

※人間社会学部においては各学科の定めるところにより、専門教育科目の単位に含めることができる。

(5) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

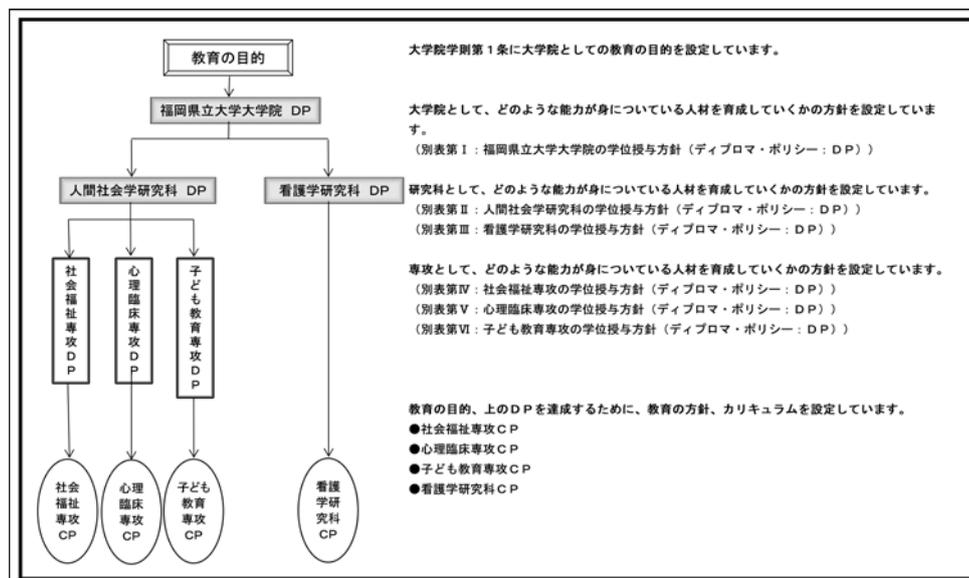
学 部	講義科目	演習科目	実習科目	合計
全学共通科目（教養）	32	0	0	32
全学共通科目（基礎）	2	47	2	51
全学横断型科目	5	2	1	8
公共社会学科専門科目	71	8	2	81
福祉社会学科専門科目	76	24	3	103
人間形成学科専門科目	67	45	7	119
看護学科専門科目	48	30	16	94

2. 大学院

(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、修了認定・学位授与に関する基本的な方針のことを言い、本学を卒業することでどのような能力が身についているかを保証するものです。教育の目的を前提に、大学院、各研究科、各専攻のDPを別表第Iから別表第VIのとおり定めています。

また、カリキュラム・ポリシー（CP）とは教育課程編成・実施方針のことを言い、教育の目的、上のDPを達成するために各専攻がそれぞれ教育課程の方針、カリキュラムを設定しています。



大学院のDPは以下のように4つの領域、さらに6項目のポリシーに分かれており、これら6項目のポリシーのすべてが、2年間で履修する科目のいずれかに位置付けられています。

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	専門的知識
思考・判断・表現	DP 2	論理的思考力
	DP 3	表現力
関心・意欲・態度	DP 4	探究力
	DP 5	社会貢献力
技能	DP 6	実践力

別表第Ⅰ．福岡県立大学大学院の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	保健・医療・福祉分野の増進および地域の発展に寄与できる指導的人材として必要な専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP2	保健・医療・福祉分野の課題を専門的立場から検討し、解決するための方法を見いだすことができる。
	DP3	専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP4	専門とする課題について主体的に探究することができる。
	DP5	保健・医療・福祉の将来を見据え、自らの専門性に基づいて社会に貢献できる。
技能	DP6	専門分野に即した問題解決技法を身につけている。

別表第Ⅱ．人間社会学研究科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現に関わる専門的知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門分野と連携可能な領域と接点となる知識を有している。
思考・判断・表現	DP2	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のための課題を専門的立場から検討できる。
	DP3	<input type="checkbox"/> 専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP4	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のための現代的課題について主体的に探究することができる。
	DP5	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のために専門性を活かして貢献できる。
技能	DP6	<input type="checkbox"/> 専門性に即して高度福祉社会における問題解決技法を身につけている。

別表第Ⅲ．看護学研究科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 専門職業人として倫理に関わる知識を有している。 <input type="checkbox"/> 看護学に関わる専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP2	<input type="checkbox"/> 看護現象を科学的及び学際的視点から捉え、看護実践の場に還元できる解決方法を見出すことができる。
	DP3	<input type="checkbox"/> 専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP4	<input type="checkbox"/> 看護学に関する課題について主体的に探究することができる。
	DP5	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の将来を見据え、看護学に関する専門的知識に基づいて、さまざまな看護活動に貢献できる。
技能	DP6	<input type="checkbox"/> 看護に関する課題に取り組むための問題解決技法を身につけている。

別表第Ⅳ．人間社会学研究科社会福祉専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 児童、障害者、高齢者を中心として、地域において様々な生活問題を抱える人々の支援に必要な知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 生活問題を抱える人々を支援するために有用な隣接学問に関する知識を理解している。
思考・判断・表現	DP2	<input type="checkbox"/> 社会福祉の価値をベースとし、生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できる。
	DP3	<input type="checkbox"/> 社会福祉の学術的手法を用いて、抽出された諸問題について自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP4	<input type="checkbox"/> 文献や調査等から、社会福祉に関する課題を設定できる。
	DP5	<input type="checkbox"/> フィールドワークなどを通して、福祉活動の発展に寄与できる。
技能	DP6	<input type="checkbox"/> 社会福祉に関する問題を客観化させるための手法を身につけている。

別表第Ⅴ．人間社会学研究科心理臨床専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP1	<input type="checkbox"/> 心理学及び心理臨床に関わる専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP2	<input type="checkbox"/> 心理学に関する専門的知識をもとに心理的課題を検討できる。
	DP3	<input type="checkbox"/> 心理学的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP4	<input type="checkbox"/> 心理的諸問題に関わる現代的課題について主体的に探究することができる。
	DP5	<input type="checkbox"/> 心理学に関する専門的知識に基づいて、積極的に参加できる。
技能	DP6	<input type="checkbox"/> 心理的諸問題に関する課題に取り組むための問題解決技法を身につけている。

別表第VI. 人間社会学研究科子ども教育専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 子ども教育(保育・幼児教育及び小学校段階を中心とする学校教育)に関わる専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 子ども教育に関する専門的知識をもとに、今日的・地域的教育課題を検討できる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 教育学の学術的手法を用いて導き出された自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 子ども教育の現場における今日的・地域的教育課題を抽出し、主体的に探究することができる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> 今日的・地域的教育課題の解決のために、子ども教育の現場で活躍できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 子ども教育に関する今日的・地域的課題に取り組むための実践能力および学術的手法を身につけている。

●人間社会学研究科 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー：CP)

人間社会学研究科における2つの専攻では、それぞれの学位授与方針DPに基づいて、教育課程編成・実施方針(CP: Curriculum Policy)を定めています。

【社会福祉専攻】

社会福祉専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。

必修科目10単位を含めて、合計30単位以上を修得する必要があります。ただし、他専攻科目から4単位まで、修了要件として単位認定できます。

社会福祉専攻は、高度で実践的な社会福祉専門職を養成するために、「社会福祉分野」「地域社会分野」の2分野から構成されています。社会福祉専攻の教育課程は「コア科目」のほか、「社会福祉分野」および「地域社会分野」の科目群から構成されています。「コア科目」は、フィールドワークおよび特別研究から編成され、フィールドワーク(実習)を通じて、社会福祉専門職としての実践性を高め、福祉活動の発展に寄与できるようになること、また、特別研究を通じて、文献や調査等から、社会福祉に関する課題を設定し、社会福祉に関する問題を客観化させるための手法を身につけることを目的に配置する科目群です。「社会福祉分野」は児童、障がい者、高齢者を中心として、地域における種々の生活問題を抱える人々の支援に必要な知識を理解し、社会福祉の価値をベースとして、生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できること、さらに社会福祉の学術的手法を用いて抽出された諸問題について、自分の考えを適切に表現できることを目的に配置する科目群です。「地域社会分野」は地域社会分野の授業科目や他専攻科目の授業を通じて、生活問題を抱える人々を支援するために有用な隣接学問に関する知識を理解することを目的に配置する科目群です。

【心理臨床専攻】

心理臨床専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。

必修科目14単位を含む合計30単位以上を修得する必要があります。ただし、他専攻科目から4単位まで、修了要件として単位認定できます。

心理臨床専攻は、心理学全般の領域を関連付けながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに他職種とも連携する能力をもつ高度な専門職業人を養成することを目的としています。本専攻の教育課程は、「心理臨床基礎科目」「心理学専門科目」「実践展開科目」で構成されています。「心理臨床基礎科目」は、心理臨床に関わる専門的知識を身につけるために、臨床心理学に関わる基礎的・基本的な科目群、ならびに学内実習施設と学外実習機関で行う実習科目群で構成されています。心理学専門科目は、A群は心理学の研究法に関する科目群、B群は発達や認知などの基礎的な心理学に関する科目群、C群は社会関係に関する科目群、D群は医療や障がいに関する科目群、E群はより応用的な臨床心理学に関する科目群から構成されています。実践展開科目は、以上に含まれていない公認心理士になるために必要な科目から構成されています。さらに修士論文の作成を総合的に支援する特別研究(1・2年次)があります。

臨床心理士受験資格の取得には、「臨床心理基礎科目」のすべての科目を A～E 群からそれぞれ 1 科目以上修得することが必要です。

【子ども教育専攻】

人間社会学研究科子ども教育専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。

必修科目 12 単位を含めて 30 単位以上を修得する必要があります。

子ども教育専攻は、保育・幼児教育分野および小学校段階を中心とする学校教育分野における専門的職業人の養成を目指しており、保育学・教育学・児童福祉学および関係諸科学に関わる科目で構成される。本専攻の教育課程は、「子ども教育コア科目」(必修科目)と「子ども教育専門科目」(選択科目)で編成されています。子ども教育コア科目(必修科目)は、子ども教育全体を俯瞰するための基礎的・基本的な科目である「教育課題研究」「教育課題演習」(いずれも 1 年次)、ならびに実践的課題の研究を行う「地域教育課題演習」(2 年次)「子ども教育実践実習 I・II」(1～2 年次)、さらに修士論文の作成を総合的に支援する特別研究(1・2 年次)から編成されています。また、子ども教育専門科目(選択科目)は、子ども教育に関して主に専門的知識を身につけるための「研究」科目群と、論理的思考力・探究力を身につける「演習」科目で構成されています。

子ども教育に関わる研究科目は、保育所・幼稚園および小学校の保育・教育課程、乳・幼児及び児童の心理、保育内容・教科(造形表現・音楽表現・身体発育発達)、学校教育、児童福祉および社会学に関する専門的知識について学習する科目群です。また、演習科目は、保育所・幼稚園および小学校の保育・教育課程、乳・幼児及び児童の心理、保育内容・教科(造形表現・音楽表現・身体発育発達)、学校教育、児童福祉に加え、特別支援教育および子ども自立支援に関する内容についての論理的思考力・探究力を身につけるための科目群です。

●看護学研究科 教育課程編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー : CP)

本研究科修士課程は、基盤看護学領域、ヘルスプロモーション看護学領域、臨床看護学領域、助産学領域の 4 領域で構成し、学位授与の方針 (DP) に基づいた教育課程編成及び実施方針 (CP) を定めています。また、本研究科修士課程における教育・研究の目的に従い、研究コース、専門看護師コース、助産実践形成コース、助産実践アドバンスコースの 4 コースを設定しています。

教育課程は「専門必修科目」、「共通選択科目」、「看護学分野専門科目」から編成されています。「専門必修科目」は、看護学の基盤について学習する科目群です。「共通選択科目」は、学際的な知識を俯瞰するために学修する科目群です。「看護学分野専門科目」は、看護学に関して専門的に学習し、看護現象を科学的及び専門的な視点から捉え、看護学に関する専門知識に基づく看護活動やその支援の在り方について学修する科目群です。

授業科目単位の修了要件は各領域に設定されている研究コースの場合、専門必修科目から 6 単位、共通選択科目から 8 単位以上、看護学分野専門科目から 16 単位以上 (特別研究 8 単位を含む) の計 30 単位以上の単位を修得する必要があります。また、専門看護師コース臨床看護学領域に設定されている精神看護専門看護師コースの場合は計 42 単位以上 (課題研究 4 単位を含む)、老年看護専門看護師コースは計 43 単位以上 (課題研究を含む) を修得する必要があります。助産学領域に設定されている助産実践形成コースは 58 単位以上 (課題研究を含む)、助産実践アドバンスコースは 30 単位以上 (課題研究 4 単位を含む) を修得する必要があります。

(2) 教育課程及び履修基準

人間社会学研究科

専攻	科目区分	授業科目	標準開講年次と単位数				備考
			年次	必修	選択	自由	
社会福祉専攻	コア科目	特別研究	1～2	4			履修方法及び修了要件 1. 修士課程の修了には、各自の研究分野に従い、指導教員の下に、所定の30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査と最終試験に合格しなければならない。 2. 社会福祉専攻は、専攻から必修科目10単位を含めて、合計30単位以上を修得すること。ただし、他専攻科目から4単位まで、修了要件として単位認定できる。 3. 心理臨床専攻は、専攻から必修科目14単位を含めて、合計30単位以上を修得すること。ただし、他専攻から4単位まで、修了要件として単位認定できる。 4. 心理臨床専攻の心理臨床基礎科目及び選択科目E群については、他専攻の学生は受講できない。
		社会福祉研究法	1	2			
		フィールドワーク	1		2		
		量的研究法	1・2		1		
		質的研究法	1・2		1		
	専門科目	社会福祉研究	1・2	2			
		社会福祉演習	1・2		2		
		ソーシャルワーク研究	1・2	2			
		ソーシャルワーク演習	1・2		2		
		高齢者福祉研究	1・2		2		
		高齢者福祉演習	1・2		2		
		障害者福祉研究	1・2		2		
		障害者福祉演習	1・2		2		
		地域福祉研究	1・2		2		
		地域福祉演習	1・2		2		
子ども家庭福祉研究	1・2		2				
子ども家庭福祉演習	1・2		2				
精神保健福祉研究	1・2		2				
精神保健福祉演習	1・2		2				
福祉制度比較研究	1・2		2				
社会保障制度研究	1・2		2				
社会政策研究	1・2		2				
社会政策演習	1・2		2				
		計		10	40		
心理臨床専攻	心理臨床基礎科目	臨床心理学特論	1・2	4			
		臨床心理面接特論	1・2	2			
		心理支援に関する理論と実践	1・2	2			
		臨床心理査定演習	1・2		2		
		心理的ケアに関する理論と実践	1・2		2		
		臨床心理基礎実習A	1	1			
		臨床心理基礎実習B	1	1			
		臨床心理実習	2		1		
		心理実践実習A	1～2		10		
		心理実践実習B	1～2		2		
	心理学専門科目	A群	心理統計法特論	1・2		2	
			心理学研究法特論	1・2		2	
		B群	発達心理学特論	1・2		2	
			認知心理学特論	1・2		2	
		C群	社会心理学特論	1・2		2	
		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2		2		
		家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	1・2		2		
D群	神経生理学特論	1・2		2			
	老年心理学特論	1・2		2			
	保健医療分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
E群	投影法特論	1・2		2			
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
実践科目	福祉分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
	教育分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2		2			
	特別研究	1～2	4				
	計		14	47			

専攻	科目区分	授業科目	標準開講年次と単位数				備考
			年次	必修	選択	自由	
子ども教育専攻	コア科目	教育課題研究	1	2			5. 子ども教育専攻は、所属する専攻から必修科目 12 単位を含めて、合計 30 単位以上を修得すること。 ただし、他専攻科目から 4 単位まで修了要件として単位認定できる。
		教育課題演習	1	2			
		地域教育課題演習	2	2			
		子ども教育実践実習Ⅰ	1	1			
		子ども教育実践実習Ⅱ	2	1			
		特別研究	1～2	4			
	専門科目	子ども教育課程研究	1・2		2		
		子どもの心理研究	1・2		2		
		子ども教育研究A	1・2		2		
		子ども教育研究B	1・2		2		
		子ども教育研究C	1・2		2		
		子どもの福祉研究	1・2		2		
		学校教育研究	1・2		2		
		子育ての社会学	2		2		
		子ども教育課程演習	1		2		
		子どもの心理演習	1		2		
		子ども教育演習A	1		2		
子ども教育演習B	1		2				
子ども教育演習C	1		2				
子どもの福祉演習	1		2				
学校教育演習	1		2				
特別支援教育演習	1・2		2				
子ども自立支援特別演習	1・2		2				
計				12	34		

看護学研究科

コース	領域	専門	科目区分	授業科目	標準開講年次・時期・単位数						
					年次	開講時期	必修	選択	自由		
全コース	全領域	全学	専門必修	看護理論	1	前期	2				
				看護倫理	1	前期	2				
				看護研究法	1	前期	2				
			小計							6	
			共通選択	コンサルテーション論	1	前期		2			
				看護教育学	1	後期		2			
				英語文献講読特論	1	前期		2			
				看護政策論	1	通年		2			
				Advanced生理学・病態生理学	1	前期		2			
				Advancedフィジカルアセスメント	1	後期		2			
				Advanced臨床薬理学	1	通年		2			
			看護管理学	1	後期		2				
			家族社会学特論	1	後期		2				
		ヘルスプロモーション科学	1	後期		2					
		哲学の人間学	1	後期		2					
		データ解析特論	1	前期		2					
		データ解析演習	1	後期		2					
		ウイメンズヘルス特論	1	前期		1					
		ウイメンズヘルス演習	1	後期		1					
		小計							28		

コース	領域	専門	科目区分	授業科目	標準開講年次・時期・単位数					
					年次	開講時期	必修	選択	自由	
研究コース	基盤看護学	基礎	専門科目	基礎看護学特論	1	前期		2		
				基礎看護学演習	1	後期		2		
		看護心理		看護心理学特論	1	前期		2		
				看護心理学演習	1	後期		2		
		教育		看護教育学特論	1	前期		2		
				看護教育学演習	1	後期		2		
	実験	実験看護学特論	1	前期		2				
		実験看護学演習	1	後期		2				
	共通	基盤看護学特別研究	1~2	通年		8				
	小計								24	
	ヘルスプロモーション看護学	地域	専門科目	地域看護学特論	1	前期		2		
				地域看護学演習	1	後期		2		
		ヘルプロ		思春期ヘルスプロモーション特論	1	前期		2		
				思春期ヘルスプロモーション演習	1	後期		2		
		在宅		在宅看護学特論	1	前期		2		
				在宅看護学演習	1	後期		2		
	共通	ヘルスプロモーション看護学特別研究	1~2	通年		8				
	小計								20	
	臨床看護学	小児	専門科目	小児看護学特論	1	前期		2		
				小児看護学演習	1	後期		2		
		成人		成人看護学特論	1	前期		2		
				成人看護学演習	1	後期		2		
		老年		老年看護学特論	1	前期		2		
				老年看護学演習	1	後期		2		
精神	精神看護学特論	1	前期		2					
	精神看護学演習	1	後期		2					
共通	臨床看護学特別研究	1~2	通年		8					
小計								24		
専門看護師コース	臨床看護学	老年看護	専門科目	老年看護学特論	1	前期		2		
				高齢者健康生活アセスメント論	1	前期		2		
				老年病診断治療学	1	前期		1		
				老年病診断治療学演習	1	前期		1		
				高齢者看護方法論	1	前期		2		
				高齢者地域・家族看護方法論	1	後期		1		
				高齢者保健医療福祉政策・ケアシステム論	1	後期		2		
				終末期高齢者看護論	1	後期		2		
				認知症高齢者看護論	1~2	前期		2		
				終末期老年看護実習Ⅰ	1	後期		2		
				終末期老年看護実習Ⅱ	1	後期		3		
				認知症老年看護実習Ⅰ	1~2	前期		2		
				認知症老年看護実習Ⅱ	1~2	前期		3		

コース	領域	専門	科目区分	授業科目	標準開講年次・時期・単位数				
					年次	開講時期	必修	選択	自由
専門看護師コース	臨床看護学	精神看護	専門科目	精神看護学特論	1	前期		2	
				精神看護関連法規・制度・政策論	1	通年		2	
				精神看護論	1	通年		2	
				精神看護アセスメント論	1	通年		2	
				精神看護セラピーⅠ	1	通年		2	
				精神看護セラピーⅡ	1	通年		2	
				リエゾン精神看護論	1	通年		2	
				精神障がい者地域移行・地域定着看護論	1	通年		2	
				精神看護専門看護師直接ケア実習	1	通年		2	
				精神看護専門看護師役割実習	1	通年		2	
				精神科診断治療実習	2	通年		2	
				Advanced精神看護専門看護師直接ケア実習	2	通年		2	
				Advanced精神看護専門看護師役割実習	2	通年		2	
				共通	課題研究	1～2	通年		4
		小計							
研究・助産実践形成・助産実践アドバンスコース	助産学	助産	専門科目	基礎助産学特論	1	前期		2	
				基礎助産学演習	1	通年		2	
				助産学特論	1	前期		2	
				助産学演習	1	後期		2	
				ホリスティック助産学特論	1	前期		1	
				ホリスティック助産学演習	1	後期		2	
				助産実践学Ⅰ（妊娠期）	1	前期		2	
				助産実践学Ⅱ（分娩期）	1	通年		4	
				助産実践学Ⅲ（産褥・新生児期）	1	後期		2	
				助産実践学Ⅳ（ハイリスクケア）	1	後期		2	
				マネジメント助産学特論	2	前期		2	
				コミュニティ助産学特論	1	後期		1	
				コミュニティ助産学演習	1	後期		2	
				助産学実習Ⅰ（外来ケア実習）	1	前期		1	
				助産学実習Ⅱ（周産期ケア実習）	1	後期		8	
				助産学実習Ⅲ（助産所実習・継続ケア実習）	2	前期		2	
				助産学実習Ⅳ（ハイリスクケア実習）	2	前期		1	
				助産学実習Ⅴ（マザークラス実習）	2	後期		2	
		助産実践アドバンス特論	1	後期		1			
助産実践アドバンス実習	2	前期		4					
研究	助産学特別研究	1～2	通年		8				
実践共通	助産学課題研究	1～2	通年		4				
小計								57	
合計							6	208	
								214	

注1. 専門必修科目6単位、共通選択科目8単位、看護学分野の専門科目16単位以上を修得することが必要です。

注2. 「特別研究」と「課題研究」は、修士論文作成指導であり、通常1年次前期から履修しますが、長期履修の場合は2年次前期からの履修もあり得ます。

(3) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

研究科	講義科目	演習科目	実習科目	合計
社会福祉専攻科目	13	1	9	23
心理臨床専攻科目	19	5	2	26
子ども教育専攻	9	2	12	23
看護学専攻科目	49	15	24	88

3. 学生の単位修得状況

(1) 成績評価及び単位認定 (学部・研究科)

単位の修得の認定は、試験の成績および平素の学習状況・出席状況等の総合的な評価によって行われるものであり、単位の修得はこれによって決定される。単位修得の認定を受けるためには、試験の有無にかかわらず、原則として授業実施回数(補講も含む)の3分の2以上の出席が必要となる。本学の試験の成績評価は、100点を満点とする次の5段階の評価点で行い、各段階に以下の成績評語及びGP(グレード・ポイント)を当て、60点以上を合格として単位を修得したものと認定する。ただし、大学院はGPを導入していない。

2018年度までの入学者

評価点	成績評価	GP	単位の認定
90~100	A	4.0	認定する (合格)
80~89	B	3.0	
70~79	C	2.0	
60~69	D	1.0	
0~59	不可	0.0	認定しない (不合格)
—	未受験	0.0	
—	無資格	0.0	

2019年度以降入学者

評価点	成績評価	GP	単位の認定
90~100	S	4.0	認定する (合格)
80~89	A	3.0	
70~79	B	2.0	
60~69	C	1.0	
0~59	不可	0.0	認定しない (不合格)
—	未受験	0.0	
—	無資格	0.0	

※未受験：出席は満たしているが、試験を受けなかったこと。
 ※無資格：出席を満たしていないこと。

学期ごとに、成績評語及び以下の計算式によって獲得GP、GPA及び累積GPAを算出。

$$\text{獲得GP} = (\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{成績評語に対応するGP})$$

当該学期の履修登録科目の獲得GPの総和

$$\text{GPA} = \frac{\text{当該学期の履修登録科目の獲得GPの総和}}{\text{当該学期の履修登録科目の総単位数}}$$

前学期までの獲得GPの総和 + 当該学期の獲得GPの総和

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{前学期までの獲得GPの総和} + \text{当該学期の獲得GPの総和}}{\text{当該学期までの履修登録科目の総単位数}}$$

(GPA、累積GPA：小数点第3位以下切り捨て)

(2) 学部単位修得状況（学科ごとの成績評価とGPA平均値）

（単位：件数）

H28年度以前入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,465	4,625	4,463	4,006
B	2,260	2,603	2,556	5,116
C	1,503	1,345	1,278	3,012
D	867	563	538	1,853
不可	106	49	62	126
未受験	58	33	17	13
無資格	112	68	138	57
GPA平均値	2.80	3.18	3.15	2.75

H30年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,238	1,833	2,599	2,330
B	1,623	1,649	2,042	3,374
C	798	973	854	2,201
D	459	564	396	1,141
不可	41	63	17	40
未受験	26	19	7	21
無資格	65	82	37	52
GPA平均値	3.03	2.84	3.12	2.71

H29年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,675	3,257	3,515	2,507
B	2,236	2,315	2,160	3,890
C	1,211	1,164	1,013	2,080
D	683	513	440	1,179
不可	66	34	79	53
未受験	16	16	13	0
無資格	127	59	124	14
GPA平均値	2.92	3.09	3.12	2.77

R1年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	672	1,010	1,227	858
B	1,199	1,298	1,305	1,668
C	744	402	406	1,008
D	286	148	109	448
不可	37	15	17	36
未受験	10	6	10	12
無資格	45	39	42	21
GPA平均値	2.64	3.01	3.12	2.68

(3) 大学院単位修得状況（成績評価）

（単位：件数）

H30年度以前入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	232	64
B	72	38
C	8	4
D	0	0
不可	0	0
未受験	4	0
無資格	11	0

R1年度入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	205	147
B	190	292
C	29	108
D	9	23
不可	2	0
未受験	0	0
無資格	6	0

4. 教員免許状取得数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
高校公民	9	7	6	6	13	4
中学社会	6	7	7	6	9	4
幼稚園教諭	27	31	26	33	32	33
養護教諭	10	8	8	9	8	8

5. 保育士資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
保育士	27	31	26	34	33	34

6. スクールソーシャルワーカー教育課程修了者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
修了者数	6 (6)	3 (3)	6 (4)	4 (2)	9 (2)	5 (3)

()内は、社会福祉国家試験合格の後、課程修了証を交付された者の人数

※R1年度の課程修了証交付予定者は、令和2年11月に手続きを行うため確定人数ではない。

7. 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数

社会福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H26年度	57	45	78.9%	45,187	12,181	27.0%
H27年度	52	38	73.1%	44,764	11,735	26.2%
H28年度	51	32	62.7%	45,849	11,828	25.8%
H29年度	57	38	66.7%	43,937	13,288	30.2%
H30年度	50	39	78.0%	41,639	12,038	28.9%
R1年度	57	45	78.9%	39,629	11,612	29.3%

精神保健福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H26年度	26	23	88.5%	7,183	4,402	61.3%
H27年度	20	19	95.0%	7,173	4,417	61.6%
H28年度	13	13	100.0%	7,174	4,446	62.0%
H29年度	17	15	88.2%	6,992	4,399	62.9%
H30年度	12	11	91.7%	6,779	4,251	62.7%
R1年度	15	14	93.3%	6,633	4,119	62.1%

8. 看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数

看護師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H26年度	79	78	98.7%	55,015	52,547	95.5%
H27年度	73	73	100.0%	56,414	53,547	94.9%
H28年度	84	80	95.2%	56,414	53,177	94.3%
H29年度	90	90	100.0%	57,929	55,764	96.3%
H30年度	86	84	97.7%	58,308	55,216	94.7%
R1年度	95	95	100.0%	59,320	56,175	94.7%

保健師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H26年度	80	80	100.0%	15,440	15,381	99.6%
H27年度	13	13	100.0%	7,648	8,295	108.5%
H28年度	13	13	100.0%	7,590	7,172	94.5%
H29年度	15	15	100.0%	7,675	6,572	85.6%
H30年度	13	13	100.0%	7,456	6,567	88.1%
R1年度	12	12	100.0%	7,318	7,050	96.3%

助産師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H26年度	8	8	100.0%	1,976	1,975	99.9%
H27年度						
H28年度	4	3	75.0%	2,044	1,904	93.2%
H29年度	6	6	100.0%	2,087	2,074	99.4%
H30年度	4	4	100.0%	2,079	2,076	99.9%
R1年度	6	6	100.0%	2,098	2,088	99.5%

※ H27年度は受験者なし（助産師課程を大学院へ移行したため）

9. 社会調査士資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
社会調査士	19	17	29	15	21	29

10. 上級情報処理士資格取得者

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
上級情報処理士	32	21	31	29	38	43

11. 認定心理士資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
認定心理師士	1	3	0	1	1	0

12. 臨床心理士資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
臨床心理士	8	9	7	8	11	7

13. がん看護専門看護師資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
がん看護専門看護師	1	0	0	0	0	0

14. 精神看護専門看護師資格取得者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
精神看護専門看護師	1	1	1	2	1	0

※ 平成25年度より卒業生輩出のため（卒業後資格取得可能）

V. 教育の質の向上及び改善の取組

1. FD 活動（学部・研究科）

	テーマ	日時	参加人数
第1回FDセミナー	第1回eラーニング講習会	令和元年9月18日（水）	30人
第2回FDセミナー	福岡県立大学新入生大学生基礎力調査結果報告会	令和元年9月25日（水）	35人
第3回FDセミナー	第1回大学改革セミナー	令和元年11月6日（水）	67人
第4回FDセミナー	情報処理センター講習会	令和元年11月20日（水）	36人
第5回FDセミナー	学生相談室主催学内研修会	令和元年12月25日（水）	34人
第6回FDセミナー	看護学部FD	令和2年1月8日（水）	48人
第7回FDセミナー	第2回大学改革セミナー	令和2年2月5日（水）	43人

2. 教員個人業績評価結果

(1) 趣旨

各教員が自己の一年の活動を再確認し、教育・研究・社会貢献・管理運営活動への貢献を高めること、並びに本学の教育・研究活動等の活性化を通じた本学の使命の高揚を図ること。

(2) 評価の対象分野・ウエイト等

対象分野は①教育、②研究、③社会貢献、④管理運営対象分野ごとのウエイトは、①教育（60%以上）、②研究（10%～30%）、③社会貢献（5%～10%）、④管理運営（5%～25%）とし、各教員は、4分野を合計して100%とするウエイト申告をするものとする。

(3) 教員個人業績評価

5段階の「評価基準」

A	B	C	D	E
100～91	90～76	75～31	50～31	30以下

評価結果

評価区分	H25年度分	H26年度分	H27年度分	H28年度分	H29年度分	H30年度分
A	63	4	4	2	4	3
B	22	74	72	86	89	92
C	2	4	8	6	9	2
D	0	1	1	0	1	1
E	1	1	0	0	0	0

※各年度の教員個人業績評価は翌年度に行うため、R1年度分は掲載していない。

3. 授業評価アンケート

学部

これは、令和元（2019）年度に福岡県立大学で開講された授業について学生による授業アンケートの結果である。人間社会学部と看護学部において開講された授業評価を明らかにするとともに、教員の授業改善に役立てることを目的とした。前期科目は2019年7月、後期科目は2020年1月に実施し、また集中講義など一部の科目については、講義が終了次第実施した。のべ18,453名分を回収した結果である。

	質問項目	評価 (平均)
1	この授業は、シラバス・授業科目概要や、授業でのオリエンテーションと一致する内容だった	3.4
2	シラバス・授業科目概要や、最初の授業で成績評価方法は明示されていた	3.4
3	教員の話し方は聞き取りやすかった	3.4
4	教員の指示や、授業での説明のしかたは分かりやすかった	3.4
5	授業のすすめかたは、授業の内容を理解するのに適切な速さだった	3.4
6	板書、スライド、教科書、資料など、授業で示されたものは学習に役立った	3.4
7	教員の指導やアドバイスのタイミングはよかった（実技、実習・演習項目）	3.3
8	教員の指導やアドバイスの内容は役立った（実技、実習・演習項目）	3.3
9	授業中に行う課題やグループ学習は授業の理解に役立った	3.4
10	この授業は、質問や意見を述べやすかった	3.3
11	教員は学生の質問や意見に対応していた	3.4
12	この授業は、予定された時間内（開始時刻と終了時刻）で行われていた	3.5
13	この授業は、学生の理解度や習熟度を確認しながら行われていた	3.3
14	教員は授業時間外の学習に役立つ資料や課題、練習方法を示していた	3.3
15	この授業を受けて前よりも知識やスキルが増えた	3.4
16	この授業は、総合的に満足できるものであった	3.4
17	私は授業を受けるにあたって、シラバス・授業科目概要を活用した	3.1
18	私はこの授業の学習目標をわかったうえで授業を受けた	3.2
19	私はこの授業に熱心に取り組んだ	3.4
20	私はこの授業中に、授業に関係のないことはしなかった	3.3
21	私はこの授業中、他人の居眠り、私語、メールなどが気になった	3.2
22	私は授業時間外に、この授業に関して1週間に平均して次の時間の学習を行った ①0～30分 ②30～60分 ③60～90分 ④90～120分 ⑤120分以上	3.2
23	私はこの授業の学習の到達目標を達成できた	3.2
24	私はこの実習・演習で、講義で学んだ知識と実践の関連がよくわかった（実習・演習項目）	3.3

評価は1, 2, 3, 4からなる4段

大学院

これは、2019 年度に福岡県立大学大学院で開講された授業について大学院生による授業評価の結果である。下記の項目別の実数は、高い、普通、低いの3段階で、普通以上と回答した人数である。全回答者数は31人であった。なお、パーセンテージ算定上無回答者は母数から除いている。

質問項目	質問内容	1 年度	
		実数	%
大学院のカリキュラム	履修して良かったと思う科目 (多い 普通 少ない 無回答)	29	94
シラバス (履修の手引き)	①シラバスは授業選択や学習の参考になったか (なった ややなった ならなかった 無回答)	28	93
	②成績評価基準が明確に示されていたか (いる どちらともいえない 示されていない)	29	96
授業 (講義・演習)	①授業方法の満足度 (高い 普通 低い)	28	96
	②授業内での配布資料に関する満足度 (高い 普通 低い)	28	96
	③授業課題に対する満足度 (高い 普通 低い)	18	95
	④授業内での対話・議論に関する満足度 (高い 普通 低い)	18	95
	⑤授業内容の満足度 (高い 普通 低い 無回答)	19	100
実習 (選択者のみ回答)	①実習時期・期間の満足度 (高い 普通 低い)	17	74
	②実習前の指導への満足度 (高い 普通 低い)	18	72
	③実習指導・支援体制の満足度 (高い 普通 低い)	17	71
	④実習後の指導への満足度 (高い 普通 低い)	16	64
	⑥実習評価方法の満足度 (高い 普通 低い)	16	64
修士論文作成・研究	①指導体制の満足度 (高い 普通 低い)	28	93
	②指導方法・内容の満足度 (高い 普通 低い)	28	93
	③研究計画発表会での助言への満足度 (高い 普通 低い)	28	93
大学院の雰囲気	①入学前後でのイメージの違い	19	61
	②院生間のつながり (同学年・上下の学年)	29	94
総合評価	満足度 (高い 普通 低い)	27	87

4. 卒業時学修到達度調査

1. 全学共通科目（教養科目・基礎科目）での学びについて

質問内容	回答選択肢	人間社会学部			看護学部
		公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
問1. 本学に入学してよかったと思いますか。	そう思う	15 (32.6%)	27 (58.7%)	21 (45.7%)	46 (54.1%)
	ややそう思う	27 (58.7%)	18 (39.1%)	25 (54.3%)	34 (40.0%)
	どちらともいえない	3 (6.5%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	3 (3.5%)
	あまりそう思わない	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-1. 全学共通科目（教養科目・基礎科目）を学んだことにより、今後の社会人生活に役立つ知識やスキルを身につけることができた。	そう思う	13 (28.3%)	21 (45.7%)	8 (17.4%)	48 (56.5%)
	ややそう思う	27 (58.7%)	22 (47.8%)	34 (73.9%)	28 (32.9%)
	どちらともいえない	5 (10.9%)	4 (8.7%)	3 (6.5%)	5 (5.9%)
	あまりそう思わない	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	3 (3.5%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-2. 全学共通科目を学んだことにより、専門分野で学習する内容の基礎を身につけることができた。	そう思う	12 (26.1%)	23 (50.0%)	11 (23.9%)	49 (57.6%)
	ややそう思う	31 (67.4%)	19 (41.3%)	33 (71.7%)	26 (30.6%)
	どちらともいえない	3 (6.5%)	4 (8.7%)	1 (2.2%)	5 (5.9%)
	あまりそう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	4 (4.7%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-3. 教養科目（人文科学・社会科学・自然科学・総合科目）を学んだことにより、幅広い教養を身につけることができた。	そう思う	17 (37.0%)	20 (43.5%)	13 (28.3%)	44 (51.8%)
	ややそう思う	27 (58.7%)	23 (50.0%)	28 (60.9%)	29 (34.1%)
	どちらともいえない	2 (4.3%)	2 (4.3%)	5 (10.9%)	5 (5.9%)
	あまりそう思わない	0 (0.0%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	5 (5.9%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-4. 外国語科目を学んだことにより、基礎的な語学力を身につけることができた。	そう思う	5 (10.9%)	8 (17.4%)	10 (21.7%)	25 (29.4%)
	ややそう思う	26 (56.5%)	23 (50.0%)	25 (54.3%)	25 (29.4%)
	どちらともいえない	8 (17.4%)	10 (21.7%)	10 (21.7%)	13 (15.3%)
	あまりそう思わない	7 (15.2%)	3 (6.5%)	1 (2.2%)	15 (17.6%)
	そう思わない	0 (0.0%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	7 (8.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-5. 情報系基礎科目を学んだことにより、基礎的な情報リテラシーを身につけることができた。	そう思う	15 (32.6%)	8 (17.4%)	8 (17.4%)	39 (45.9%)
	ややそう思う	24 (52.2%)	28 (60.9%)	30 (65.2%)	35 (41.2%)
	どちらともいえない	7 (15.2%)	8 (17.4%)	8 (17.4%)	7 (8.2%)
	あまりそう思わない	0 (0.0%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	3 (3.5%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-6(1). 健康科学に関する基礎科目を学んだことにより、健康に関する基礎知識を身につけることができた。	そう思う	8 (17.4%)	12 (26.1%)	14 (30.4%)	40 (47.1%)
	ややそう思う	30 (65.2%)	28 (60.9%)	26 (56.5%)	27 (31.8%)
	どちらともいえない	6 (13.0%)	5 (10.9%)	3 (6.5%)	11 (12.9%)
	あまりそう思わない	2 (4.3%)	1 (2.2%)	3 (6.5%)	6 (7.1%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.5%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)

質問内容	回答選択肢	人間社会学部			看護学部
		公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
問2-6(2). 健康科学に関する基礎科目を学んだことにより、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけることができた。	そう思う	5 (10.9%)	10 (21.7%)	12 (26.1%)	42 (49.4%)
	ややそう思う	22 (47.8%)	25 (54.3%)	25 (54.3%)	25 (29.4%)
	どちらともいえない	11 (23.9%)	10 (21.7%)	7 (15.2%)	10 (11.8%)
	あまりそう思わない	7 (15.2%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	6 (7.1%)
	そう思わない	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	2 (2.4%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-7. 教養演習を学んだことにより、その後に履修した講義や演習、実習で役立つ知識やスキルを身につけることができた。	そう思う	13 (28.3%)	14 (30.4%)	10 (21.7%)	43 (50.6%)
	ややそう思う	29 (63.0%)	27 (58.7%)	28 (60.9%)	29 (34.1%)
	どちらともいえない	3 (6.5%)	5 (10.9%)	7 (15.2%)	6 (7.1%)
	あまりそう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	5 (5.9%)
	そう思わない	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.4%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)
問2-8. 全学横断型教育プログラム（援助力養成プログラム、国際交流プログラム、保健福祉情報教育プログラム、キャリア形成支援プログラム）の科目を学んだことにより、社会の変動に適切に対応できる基礎的な知識とスキルを身につけることができた。	そう思う	8 (17.4%)	11 (23.9%)	8 (17.4%)	32 (37.6%)
	ややそう思う	21 (45.7%)	26 (56.5%)	29 (63.0%)	30 (35.3%)
	どちらともいえない	12 (26.1%)	8 (17.4%)	7 (15.2%)	11 (12.9%)
	あまりそう思わない	5 (10.9%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	6 (7.1%)
	そう思わない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	5 (5.9%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)
	計	46 (100.0%)	46 (100.0%)	46 (100.0%)	85 (100.0%)

2. 学科の専門教育での学びにおいて

人間社会学部公共社会学科

質問内容	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	計
問3-1. 社会学を中心とする社会科学の専門知識が身についた。	16 (35%)	26 (57%)	4 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-2. 異なる文化や価値観を、客観的に理解できるようになった。	17 (37%)	27 (59%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-3. 地域課題や社会問題を、その歴史的背景や現状の多様性をふまえて理解できるようになった。	13 (28%)	31 (67%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-4. 人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識が身についた。	12 (26%)	27 (59%)	5 (11%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (2%)	46 (100%)
問3-5. 物事について、根拠をふまえて意見する力がついた。	15 (33%)	26 (57%)	5 (11%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-6. 物事について、公共性の観点をふまえて考えることができるようになった。	15 (33%)	23 (50%)	8 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-7. 自分の考え・気持ちを、他者に伝わるよう適切に説明できるようになった。	7 (15%)	24 (52%)	12 (26%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-8. 地域課題や社会問題の背景を論理的に説明し、それへの対応策を説明できるようになった。	7 (15%)	26 (57%)	10 (22%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-9. 目標に向けて自分で考え、主体的に活動できるようになった。	8 (17%)	22 (48%)	15 (33%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-10. 様々な地域課題や社会問題、または異なる文化・価値観に対して関心をもつようになった。	13 (28%)	29 (63%)	3 (7%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-11. 地域課題、または社会問題に対して、自ら何か働きかけたいと思うようになった。	7 (15%)	26 (57%)	10 (22%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-12. 資料やデータを収集する技法が身についた。	12 (26%)	27 (59%)	6 (13%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-13. 調査研究を行う際に、適切な方法により分析することができるようになった。	15 (33%)	25 (54%)	6 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)

人間社会学部社会福祉学科

質問内容	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	無回答	計
問3-1. 社会福祉の原点となる人間の自由と尊厳、人権、社会正義に関する知識を身につけることができた。	17 (37%)	28 (61%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-2. 社会学や心理学などの人間と社会に関する隣接諸科学の知識を身につけることができた。	19 (41%)	23 (50%)	3 (7%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-3. 社会福祉学科専門科目の講義をとおして、社会保障・社会福祉の制度・政策およびソーシャルワークに関する専門知識を理解することができた。	24 (52%)	20 (43%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-4. 社会福祉学科専門科目を受講したことにより、社会福祉およびそれに関連する諸問題を文献や資料などの根拠に基づいて考察することができるようになった。	18 (39%)	25 (54%)	2 (4%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-5. セミ（「社会福祉学演習」「卒業論文」）をとおして、社会福祉およびそれに関連する問題に対して自分なりの問を立て、考えを整理し、発表することに意欲的に取り組むことができた。	22 (48%)	23 (50%)	0 (0%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-6. 「卒業論文」をとおして自らが主体的に設定した社会福祉に関わる課題について探求し、その成果を論理的に表現することができた。	22 (48%)	21 (46%)	1 (2%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-7. 各実習（相談援助実習、精神保健福祉援助実習、学校ソーシャルワーク実習）に対して、社会福祉およびそれに関連する諸問題に関心を持ちながら、意欲的な態度で取り組むことができた。	24 (52%)	19 (41%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)	1 (2%)	46 (100%)
問3-8. 卒業後もソーシャルワークの専門性を継続的に高めていこうと思っている。	29 (63%)	16 (35%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-9. 実習（相談援助実習・精神保健福祉援助実習・学校ソーシャルワーク実習）をとおして、基本的なソーシャルワーク・スキルを習得することができた。	28 (61%)	17 (37%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-10. セミ（「社会福祉学演習」「卒業論文」）をとおして社会福祉に関する諸問題について、先行研究や各種の資料を適切に収集し分析することができるようになった。	19 (41%)	25 (54%)	1 (2%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)

人間社会学部人間形成学科

質問内容	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	無回答	計
問3-1. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関する専門的知識が身についたと思いますか。	36 (78%)	10 (22%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-2. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学における援助のあり方を理解できるようになったと思いますか。	34 (74%)	12 (26%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-3. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関する現代的課題について考察することができるようになったと思いますか。	28 (61%)	15 (33%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-4. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する諸問題に対して適切な対応を検討できるようになったと思いますか。	29 (63%)	14 (30%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-5. 入学時に比べて、文献や調査、実験などを通して導いた自分の考えを適切に表現することができるようになったと思いますか。	18 (39%)	25 (54%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	46 (100%)
問3-6. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する課題を抽出し、探求することができるようになったと思いますか。	23 (50%)	21 (46%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-7. 入学時に比べて、教育学（保育・幼児教育を含む）または心理学に関するスキルを社会に活かしたいと思いますか。	31 (67%)	14 (30%)	1 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-8. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）的または心理的援助の場面で倫理的に行動することができるようになったと思いますか。	27 (59%)	17 (37%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-9. 入学時に比べて、教育（保育・幼児教育を含む）または心理に関する諸問題を検討するための方法を身につけることができたと思いますか。	22 (48%)	21 (46%)	3 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)
問3-10. 入学時に比べて、様々な立場にある人々に対する心理的または教育（保育・幼児教育を含む）的な援助のスキルを修得できたと思いますか。	23 (50%)	21 (46%)	2 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	46 (100%)

看護学部看護学科

質問内容	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	無回答	計
問1. 本学に入學してよかったと思いますか。	46 (54.1%)	34 (40.0%)	3 (3.5%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-1. 全学共通科目(教養科目・基礎科目)を学んだことにより、今後の社会人生活に役立つ知識やスキルを身につけることができた。	48 (56.5%)	28 (32.9%)	5 (5.9%)	3 (3.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-2. 全学共通科目で学んだことにより、専門分野で学習する内容の基礎を身につけることができた。	49 (57.6%)	26 (30.6%)	5 (5.9%)	4 (4.7%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-3. 教養科目(人文科学・社会科学・自然科学・総合科目)を学んだことにより、幅広い教養を身につけることができた。	44 (51.8%)	29 (34.1%)	5 (5.9%)	5 (5.9%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問2-4. 外国語科目を学んだことにより、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることができた。	25 (29.4%)	25 (29.4%)	13 (15.3%)	15 (17.6%)	7 (8.2%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-5. 情報系基礎科目を学んだことにより、基礎的な情報リテラシーを身につけることができた。	39 (45.9%)	35 (41.2%)	7 (8.2%)	3 (3.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-6(1). 健康科学に関する基礎科目を学んだことにより、健康に関する基礎知識を身につけることができた。	40 (47.1%)	27 (31.8%)	11 (12.9%)	6 (7.1%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-6(2). 健康科学に関する基礎科目を学んだことにより、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけることができた。	42 (49.4%)	25 (29.4%)	10 (11.8%)	6 (7.1%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-7. 教養演習を学んだことにより、その後に履修した講義や演習、実習で役立つ知識やスキルを身につけることができた。	43 (50.6%)	29 (34.1%)	6 (7.1%)	5 (5.9%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	85 (100.0%)
問2-8. 全学横断型教育プログラム(援助力養成プログラム、国際交流プログラム、保健福祉情報教育プログラム、キャリア形成支援プログラム)の科目を学んだことにより、社会の変動に適切に対応できる基礎的な知識とスキルを身につけることができた。	32 (37.6%)	30 (35.3%)	11 (12.9%)	6 (7.1%)	5 (5.9%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-1. 看護学部での学びで、人間を全人的に理解するための知識が身についた。	69 (81.2%)	12 (14.1%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-2. 看護学部での学びで、対象を支援するために必要な専門知識が身についた。	68 (80.0%)	11 (12.9%)	5 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-3. 看護学部での学びで、科学的根拠に基づいて対応できる問題解決能力が身についた。	60 (70.6%)	18 (21.2%)	5 (5.9%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-4. 看護学部での学びで、対象にあわせて、根拠に基づいた適切な看護を選択する力が身についた。	60 (70.6%)	18 (21.2%)	6 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-5. 看護学部での学びで、柔軟な思考を持ち、他者との違いを理解した上で、自分の意見を伝えることができるようになった。	62 (72.9%)	17 (20.0%)	4 (4.7%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-6. 看護学部での学びで、他者に対して関心を持ち、人間関係をつくる態度が身についた。	64 (75.3%)	16 (18.8%)	4 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-7. 看護学部での学びで、対象の問題を解決するために多職種と連携する意欲と態度が身についた。	69 (81.2%)	10 (11.8%)	5 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-8. 看護学部での学びで、看護の役割を自覚し、健康に関する諸問題を探究することができるようになった。	63 (74.1%)	17 (20.0%)	3 (3.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-9. 看護学部での学びで、対象にあわせて、安全で適切な看護が提供できるようになった。	59 (69.4%)	19 (22.4%)	5 (5.9%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)
問3-10. 看護学部での学びで、看護の役割を自覚し、看護者としての倫理観や責任感が身についた。	66 (77.6%)	14 (16.5%)	4 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	85 (100.0%)

VI. 入試

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

「福岡県立大学は、あなたを求めています。」

何のために大学に入りますか。

学ぶために大学生になってください。

そして大学生活を楽しんでください。

そんな前向きな人を求めています。

困っているひとをみかけて声をかけられますか。

ひとのために働ける人、それを喜びと感じられる人を求めています。

最近何かに感動したことはありますか。

その感動を伝えることができますか。

伝えることの大切さが分かる人を求めています。

今住んでいるまちのことをどのくらい知っていますか。

まちと暮らしに関心をもてる人を求めています。

「生きている」と実感したことはありますか。

「生きていること」に関心をもとうという人を求めています。

(1) 学部別入学者受入方針

人間社会学部

(1) 求める学生像

1. 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
2. 与えられた情報をテーマに即して結びつけることができる人
3. 物事をさまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
4. 自らの考えをわかりやすく表現することができる人
5. 自らの目標に向かって、主体的・自律的にステップアップしようとする積極性をもっている人
6. これからの時代における、人間と社会に関わる重要な課題を発見・探求・解決することに関心がある人
7. 自らの考えを適切な日本語表現を使い、道筋を立てて伝えることができる人
8. 英語による基礎的なコミュニケーションをすることができる人

(2) 入学者選抜の基本方針

人間社会学部の入学者選抜には、①一般選抜（前期日程、後期日程）、②特別選抜（推薦入試、社会人特別選抜、国外就学経験者特別選抜、留学生特別選抜）、③転・編入学試験があります。多様な人材を受け入れるため、複数の選抜方式を採用しています。

【公共社会学科】

① 一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験によって、基礎的な学力を評価します。

個別学力試験（小論文）によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

②特別選抜

推薦入試：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

面接（集団討論）によって、自らの考えをまとめ、他者と協同しつつ適切に表現する能力等を評価します。

調査書によって、基礎的な学力を評価します。

教科外活動によって、主体性及び課題への関心等を評価します。

社会人特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

国外就学経験者特別選抜、留学生特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類に基づき、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

③転・編入学試験

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

【社会福祉学科】

①一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験によって、基礎的な学力を評価します。

個別学力試験（小論文）によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

②特別選抜

推薦入試：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

面接（集団討論）によって、自らの考えをまとめ、他者と協同しつつ適切に表現する能力等を評価します。

調査書によって、基礎的な学力を評価します。

教科外活動によって、主体性及び課題への関心等を評価します。

社会人特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

国外就学経験者特別選抜、留学生特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類に基づき、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

③転・編入学試験

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

【人間形成学科】

①一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験によって、基礎的な学力を評価します。

個別学力試験（小論文）によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

②特別選抜

推薦入試：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

面接（集団討論）によって、自らの考えをまとめ、他者と協同しつつ適切に表現する能力等を評価します。

調査書によって、基礎的な学力を評価します。

教科外活動によって、主体性及び課題への関心等を評価します。

社会人特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

国外就学経験者特別選抜、留学生特別選抜：

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類に基づき、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

③転・編入学試験

小論文によって、与えられた情報を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

英語によって、基礎的な学力及び英語による基礎的なコミュニケーション能力等を評価します。

口頭試問によって、出願時の提出書類を参考に、志望動機・専門分野への関心及び理解力・表現力等を評価します。

看護学部

(1) 求める学生像

1. 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
2. 人の健康や生活について、さまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
3. 物事に対して積極的、かつ、自律的に取り組みたいという姿勢が見られる人
4. 人の健康と生活を取り巻く諸問題に関心を持っている人
5. 自らの考えを適切な日本語表現を使い、筋道を立てて伝えることができる人
6. 人の話を聞いて、まとめたり、展開したりすることができる人

(2) 入学者選抜の基本方針

看護学部の入学者選抜には、①一般選抜（前期日程、後期日程）、②特別選抜（推薦入試、社会人特別選抜）があります。多様な人材を受け入れるため、複数の選抜方式を採用しています。

①一般選抜（前期日程、後期日程）

大学入試センター試験によって、基礎的な学力を評価します。

個別学力試験（小論文）によって、人の健康や生活に関する問題を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

②特別選抜

推薦入試：

小論文によって、人の健康や生活に関する問題を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

面接（集団討論）によって、人の健康や生活に関する問題への関心、自らの考えをまとめ、他者と協同しつつ適切に表現する能力等を評価します。

調査書によって、基礎的な学力を評価します。

教科外活動によって、積極性・自律性・人の健康や生活に関する問題への関心等を評価します。

社会人特別選抜：

小論文によって、人の健康や生活に関する問題を理解・分析し、表現する能力等を評価します。

面接（集団討論）によって、人の健康や生活に関する問題への関心、自らの考えをまとめ、他者と協同しつつ適切に表現する能力等を評価します。

(2) 研究科別入学者受入方針

人間社会学研究科

(1) 求める学生像

現在、少子・高齢化、地方分権化、自己実現要求の高まりに伴って、地域政策、福祉政策、子ども教育、対人援助に関わる高度な専門的知識・技術を持った職業人が必要とされてきています。本研究科では、とくに、これらの専門知識を統合させ、地域社会において高度福祉社会の実現に向けて貢献できる人材を養成しようとしています。

そこで、学部教育を基礎として、より一層の専門性を持った人材を養成するとともに、職業人のリカレント教育の要請に応えることを目指し、3つの専攻を設置しています。このため、本研究科では、次のような大学院生を求めています。

1. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
2. 専門分野において大学卒業程度の知識を有している人
3. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
4. 専門分野の知識をもとに新たな展開を表現できる人
5. 専門分野に関心と問題意識を持っている人
6. 高度福祉社会の実現のために、積極的に専門性を身につけ、役立てたいと考えている人
7. 専門分野に関して自らの考えを論理的に伝えるためのスキルを有している人
8. フィールドワークや学外施設実習に必要なコミュニケーションスキルを有している人

(2) 入学者選抜の基本方針

【社会福祉専攻】

- ・社会福祉専攻としての基礎的能力と適性を備えた学生を選抜するために入学者選抜を実施する。
- ・外国語（英語）で、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価し、専門科目で、社会福祉分野の知識、論理性、表現力、関心、意欲を評価し、研究計画書で、社会福祉分野の知識に基づく研究の見通し、関心、意欲、論理性、論文読解力を評価し、口頭試問で、表現力、関心、意欲、論理性、コミュニケーションスキル、社会福祉分野の知識、研究の見通しを評価する。大学卒業後の経験を一定以上有する受験者は、外国語（英語）の

代わりに小論文での受験も可能とし、その場合も外国語（英語）と同様、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価する。

【心理臨床専攻】

- ・心理臨床専攻としての基礎的能力と適性を備えた学生を選抜するために入学者選抜を実施する。
- ・外国語（英語）で、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価し、専門科目で、心理臨床分野の知識、論理性、表現力、関心、意欲を評価し、研究計画書で、心理臨床分野の知識に基づく研究の見通し、関心、意欲、論理性、論文読解力を評価し、口頭試問で、表現力、関心、意欲、論理性、コミュニケーションスキル、心理臨床分野の知識、研究の見通しを評価する。大学卒業後の経験を一定以上有する受験者は、外国語（英語）の代わりに小論文での受験も可能とし、その場合も外国語（英語）と同様、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価する。

【子ども教育専攻】

- ・子ども教育専攻としての基礎的能力と適性を備えた学生を選抜するために入学者選抜を実施する。
- ・外国語（英語）で、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価し、専門科目で、子ども教育分野の知識、論理性、表現力、関心、意欲を評価し、研究計画書で、子ども教育分野の知識に基づく研究の見通し、関心、意欲、論理性、論文読解力を評価し、口頭試問で、表現力、関心、意欲、論理性、コミュニケーションスキル、子ども教育分野の知識、研究の見通しを評価する。大学卒業後の経験を一定以上有する受験者は、外国語（英語）の代わりに小論文での受験も可能とし、その場合も外国語（英語）と同様、論文読解力、人間社会に関連する知識を評価する。

看護学研究科

本研究科では以下に記すような向学心のある方を求めています。

(1) 求める学生像

本研究科では以下に記すような向学心のある方を求めています。

1. 看護学の基礎的知識を有している人
2. 専門分野の基礎的知識を有している人
3. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
4. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
5. 研究計画もしくは志願理由について論理的に他者に伝えることができる人
6. 専門分野に関心と問題意識をもっている人
7. 専門性をより高め保健医療福祉社会に貢献したいという意思を有している人
8. 看護実践に必要なコミュニケーションスキルを有している人

(2) 入学者選抜の基本方針

- ・基礎的能力と知識を備え、専門分野に対する関心と問題意識をもって保健医療福祉に貢献できる多様な人材を選抜するために、入学者選抜を実施する。
- ・看護学の基礎的・専門的知識及び論文の読解力は、専門科目共通試験、専門科目分野別試験および外国語試験で評価する。
- ・専門分野への関心と問題意識、保健医療福祉社会への貢献、研究の計画性については、研究計画書または志願理由書と口頭試問または面接で評価し、看護実践に必要なコミュニケーションスキルは、口頭試問または面接で評価する。

2. 入学者選抜方法

(1) 学部別入学試験種別と試験科目

人間社会学部

○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	公共社会学科	10人（うち福岡県内 6名、全国4名）
	社会福祉学科	15人（うち福岡県内10名、全国5名）
	人間形成学科	15人（うち福岡県内10名、全国5名）
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分）
		英 語 200点（12:30～14:00 90分）
		面 接 50点（14:30～）
		調 査 書 50点（全体の評定平均値×10）
		教科外活動 5点（社会的活動、スポーツ活動、文化活動等）
出願期間		令和元年11月01日（金）～令和元年11月10日（日）17時必着
試験日		令和元年11月23日（土）
合格発表		令和元年12月10日（火）

○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	公共社会学科	30人	10人
	社会福祉学科	25人	10人
	人間形成学科	25人	10人
試験科目	センター試験	国語 200点 公民及び地理歴史から1科目 100点 数学I・数学A 100点 外国語（英語・リスニングを含む）200点（筆記200点を150点に換算し、リスニング50点を加点）	
	個別学力試験	小論文 200点（10:00～12:00 120分）	
出願期間		令和2年01月27日（月）～令和2年02月05日（水）17時必着	
試験日		令和2年02月25日（火）	令和2年03月12日（木）
合格発表		令和2年03月06日（金）	令和2年03月23日（月）

○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分）
		英 語 100点（12:30～14:00 90分）
		口頭試験 100点（14:30～）
出願期間		令和元年11月01日（金）～令和元年11月10日（日）17時必着
試験日		令和元年11月23日（土）
合格発表		令和元年12月10日（火）

○国外就学経験者（帰国生）特別選抜概要

区 分		国外就学経験者（帰国生）
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分）
		口頭試験 100点（12:30～）
出願期間		令和元年11月01日（金）～令和元年11月10日（日）17時必着
試験日		令和元年11月23日（土）
合格発表		令和元年12月10日（火）

○留学生特別選抜概要

区 分		留学生
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点(10:00~11:30 90分) 口頭試問 100点(12:30~)
	出願期間	令和元年11月01日(金)~令和元年11月10日(日)17時必着
	試験日	令和元年11月23日(土)
	合格発表	令和元年12月10日(火)

○転・編入試験概要

区 分		転・編入学	編入年次
募集人員	公共社会学科	若干名	第3年次
	社会福祉学科		
	人間形成学科		
試験科目	個別学力試験	小論文 200点(10:00~11:30 90分) 英 語 200点(12:30~14:00 90分) 口頭試問 100点(14:30~)	
	出願期間	令和元年11月01日(金)~令和元年11月10日(日)17時必着	
	試験日	令和元年11月23日(土)	
	合格発表	令和元年12月10日(火)	

看護学部

○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	看護学部看護学科	30人(うち県内20人、全国10人)
試験科目	個別学力試験	小論文 200点(10:00~12:00 120分) 面 接 50点(13:00~) 調査書 50点(全体の評定平均値×10) 教科外活動 5点(社会的活動、スポーツ活動、文化活動等) 英語の資格・検定試験 5点(英語力国際指標CEFRの定めるB1レベル以上)
		出願期間
	試験日	令和元年11月23日(土)
	合格発表	令和元年12月10日(火)

○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	看護学部看護学科	50人	10人
試験科目	センター試験	国語 前期:100点 後期:200点 数学Ⅰ・数学A 前期:100点 後期:50点 数学Ⅱ・数学B 前期:100点 後期:50点 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目、または物理、化学、生物から1科目 前・後期:100点 外国語(英語・リスニングを含む。)前・後期:200点(筆記200点、リスニング50点、 合計250点を200点に換算。)	
	個別学力試験	小論文 200点 (10:00~12:00 120分)	小論文 200点 (10:00~12:00 120分)
	出願期間	令和2年01月27日(月)~令和2年02月05日(水)17時必着	
	試験日	令和2年02月25日(火)	令和2年03月12日(木)
	合格発表	令和2年03月06日(金)	令和2年03月23日(月)

○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	看護学部看護学科	若干名
試験科目	個別学力試験	小論文 200点(10:00~12:00 120分)
		面接 50点(13:00~)
出願期間		令和元年11月01日(金)~令和元年11月10日(日)17時必着
試験日		令和元年11月23日(土)
合格発表		令和元年12月10日(火)

(2) 研究科別入試選抜試験科目

人間社会学研究科

○募集要項

区 分		秋季日程	春季日程
募集人員	社会福祉専攻	6名	3名
	子ども教育専攻	3名	1名
	心理臨床専攻	6名	1名
試験科目	個別学力試験	外国語(注1) : 英 語 専 門 科 目 : 専攻分野に関するもの 口 頭 試 問 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく	
出願期間		令和元年09月24日(火)~ 令和元年10月01日(火)17 時必着	令和2年01月10日(金)~ 令和2年01月20日(月)17 時必着
試験日		令和元年10月19日(土)	令和2年2月1日(土)
合格発表		令和元年10月25日(金)	令和2年2月7日(金)

看護学研究科

○募集要項

区 分		秋季日程	春季日程
募集人員	看護学専攻	12名	5名
試験科目	個別学力試験	外 国 語 : 英 語 専 門 科 目 : 専門領域に関するもの 口 頭 試 問 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく	
出願期間		令和元年09月24日(火)~ 令和元年10月01日(火)17 時必着	令和2年01月10日(金)~ 令和2年01月20日(月)17 時必着
試験日		令和元年10月19日(土)	令和2年2月1日(土)
合格発表		令和元年10月25日(金)	令和2年2月7日(金)

3. 入試実績

(1) 2020（令和2）年度 学部入学試験状況

区分			定員 (A)	志願者 (B)	受験者 (C)	合格者 (D)	入学者 (E)	志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)		
人間社会学部	推薦	県内	公共社会学科	6	16	16	6	6	2.7	2.7	1	
			社会福祉学科	10	23	23	10	10	2.3	2.3	1	
			人間形成学科	10	24	24	10	10	2.4	2.4	1	
		小計			26	63	63	26	26	2.4	2.4	1
		全国	公共社会学科	4	8	8	4	4	2	2	1	
			社会福祉学科	5	14	14	5	5	2.8	2.8	1	
			人間形成学科	5	20	20	5	5	4	4	1	
	小計			14	42	42	14	14	3	3	1	
	合計			40	105	105	40	40	2.6	2.6	1	
	一般入試	前期	公共社会学科	30	94	90	48	39	3.1	1.9	1.3	
			社会福祉学科	25	80	78	38	27	3.2	2.1	1.1	
			人間形成学科	25	103	98	37	29	4.1	2.6	1.2	
		小計			80	277	266	123	95	3.5	2.2	1.2
		後期	公共社会学科	10	113	31	10	3	11.3	3.1	0.3	
			社会福祉学科	10	103	43	19	13	10.3	2.3	1.3	
			人間形成学科	10	128	35	14	10	12.8	2.5	1	
	小計			30	344	109	43	26	11.5	2.5	0.9	
	合計			110	621	375	166	121	5.6	2.3	1.1	
	社会人	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	—	—	—		
		社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	—	—	—		
人間形成学科		若干名	1	0	0	0	—	—	—			
合計				1	0	0	0	—	—	—		
留学生 特別選抜	公共社会学科	若干名	3	0	0	0	—	—	—			
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	—	—	—			
	人間形成学科	若干名	1	0	0	0	—	—	—			
合計				4	0	0	0	—	—	—		
転編入試験	公共社会学科	若干名	2	0	0	0	—	—	—			
	社会福祉学科	若干名	1	0	0	0	—	—	—			
	人間形成学科	若干名	4	0	0	0	—	—	—			
合計				7	0	0	0	—	—	—		
海外修学経験者 (帰国生)	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	—	—	—			
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	—	—	—			
	人間形成学科	若干名	1	0	0	0	—	—	—			
合計				1	0	0	0	—	—	—		
公共社会学科 計			50	236	145	68	52	4.7	2.1	1		
社会福祉学科 計			50	221	158	72	55	4.4	2.2	1.1		
人間形成学科 計			50	282	177	66	54	5.6	2.7	1.1		
人間社会学部 合計			150	739	480	206	161	4.9	2.3	1.1		
看護学部	推薦	県内	20	78	78	20	20	3.9	3.9	1		
		県外	10	61	61	10	10	6.1	6.1	1		
	合計			30	139	139	30	30	4.6	4.6	1	
	一般	前期	50	162	154	67	53	3.2	2.3	1.1		
		後期	10	90	38	12	7	9	3.2	0.7		
	合計			60	252	192	79	60	4.2	2.4	1	
社会人			若干名	2	2	0	0	—	—	—		
看護学部 合計			90	393	333	109	90	4.4	3.1	1		
両学部 合計			240	1,132	813	315	251	4.7	2.6	1		

(2) 2020（令和2）年度 学部出身地別入学者数

学部	人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部
北海道			石川県	1		岡山県	4	
青森県			福井県			広島県	15	2
岩手県	1		山梨県	1		山口県	2	1
宮城県			長野県			徳島県	2	
秋田県			岐阜県	2		香川県	1	
山形県			静岡県			愛媛県	1	
福島県			愛知県			高知県	1	1
茨城県			三重県			福岡県	71	56
栃木県			滋賀県	1		佐賀県	4	2
群馬県			京都府			長崎県	7	11
埼玉県			大阪府			熊本県	4	2
千葉県	1		兵庫県	3	1	大分県	8	4
東京都			奈良県	1		宮崎県	12	3
神奈川県			和歌山県	1		鹿児島県	8	3
新潟県			鳥取県	3	1	沖縄県	2	1
富山県	1		島根県	3	2			

(3) 2020（令和2）年度 大学院入学試験状況

区分	定員 (A)	志願者 (B)		受験者 (C)			合格者 (D)			入学者 (E)			志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
社会科学部 社会科学	社会福祉専攻	6	4	2	2	4	2	2	4	2	2	3	1	2	0.7	1	0.5
	心理臨床専攻	6	13	5	8	13	5	8	7	2	5	6	2	4	2.2	1.9	1
	子ども教育専攻	3	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0.7	1	0.7
合計	15	19	7	12	19	7	12	13	4	9	11	3	8	1.3	1.5	0.7	
看護学研究科 看護学専攻	12	21	1	20	20	1	19	13	1	12	13	1	12	1.8	1.5	1.1	
両研究科 合計	27	40	8	32	39	8	31	26	5	21	24	4	20	1.5	1.5	0.9	

4. 入試広報

入試説明会・高校訪問・オープンキャンパス等 実績

区分	開催回数	参加人数	場所
高校訪問	37	870	稲築志耕館高校・山門高校など
入試説明会	11	408	エルガーラホール・福岡ファッションビルなど
オープンキャンパス	2	2,057	本学
出前講義	22	930	嘉穂高校・北筑高校など
高校訪問（来学）	2	77	本学
出前講義（来学）	2	77	本学
意見交換会	0	0	
合計	76	4,419	

Ⅶ. 学生支援

1. 学生に対する経済面の援助

(1) 奨学金受給実績

	在学生数 (A)	学内制度			学外制度					合計 (B)	受給学生の 割合 (%) (B) / (A)	
		和田奨学 基金	特別奨学 金	日本学生 支援機構 (給付)	日本学生 支援機構 (第1種)	日本学生 支援機構 (第2種)	福岡県 教育文化 奨学財団	その他 各自治体 奨学金	その他			
学部生	1,070	2	0	19	370	252			10	10	663	62.0%
大学院生	59				17	2					19	32.2%
合計	1,129	2	0	19	387	254	0		10	10	682	60.4%

(2) 授業料減免実績

区分		申請者数 (A)	基準該当者数	免除者数 (B)	割合 (%) (B) / (A)
前期	全額免除	9	9	9	100.0%
	半額免除	55	40	40	72.7%
後期	全額免除	10	9	9	90.0%
	半額免除	60	39	39	65.0%

(3) 授業料分割納付実績

区分	学部生	大学院生	合計
前期	19	0	19
後期	22	0	22

(4) 学生寮の整備状況及び利用実績

区分	定員	利用者数	形態	使用料	雑費	共益費 (入寮時)	入寮期間
すずかけ寮	60	52人	2人部屋	4,300円	7,700円	30,000円	原則2年
アザレア寮	99	93人	個室	11,000円	6,500円	30,000円	原則1年
男子寮	12	12人	個室	5,300円～ 7,000円	8,000円	30,000円	原則1年

令和元年5月1日現在

2. 学生に対する生活支援（生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等）

(1) 保健室利用実績

処置内容	件数	処置内容	件数
与薬	24	血圧測定	19
外科的応急処置	72	検尿	6
整形外科的応急処置	21	医療機関紹介	111
ベッド休養	115	病院移送	11
身体計測	128	学生相談紹介	18
アルコールバッチテスト	2	その他	495
合計	1,022	件	

(2) 学生相談室利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	13	33	46	56	21	20	48	43	43	31	24	9	387

(3) GPAに基づいた学習支援対象者数

学部	前期	後期	合計
公共社会学科	16	16	32
社会福祉学科	14	6	20
人間形成学科	12	14	26
看護学科	41	36	77
合計	83	72	155

(4) 課外・サークル活動概要

ボランティア系：11

サークル名	活 動 概 要	部員数
湯山荘ボランティアサークル	児童養護施設「湯山荘」において、小学5・6年生対象の学習ボランティアや3～8歳くらいまでの幼児さんたちと一緒に遊ぶ活動を行っています。	56
聴覚障害ボランティアサークル つくしんぼ	障害を持つ子供たちを大学に招いてゲームを楽しむ余暇支援活動を行っています。その他にも、地域の施設で開催される行事に参加しサポートするなど、様々な活動を行っています。	32
OTTつと（おとつとつと）	OTTつと（おとつとつと）は、おもちゃ としょかん たがわの略称です。子どもと遊ぶボランティアサークルです。発達の気になる子どもや乳幼児を対象に、研究所内のおもちゃ図書館を遊び場として提供しています。また、保護者との集いの場であり、おもちゃの貸し出しも行っていきます。	33
手話サークル ハンドポスト	手話啓発活動サークルです。聴覚障害のある方とのコミュニケーションを図ったり、イベントで『手話コーラス』を披露したりしています。	36
ボランティアサークル だん☆だん	高齢者施設でボランティアを行っています。少人数で活動も不定期ですが、個人が楽しみながら利用者様と交流しています。	17
たけのこサークル	託児ボランティアを行っています。一緒に遊ぶ子どもたちはいつも楽しそうで、やりがいを感じています。飯塚市社会福祉協議会と関わりながら活動しています。	22
てんぶらあいす	心の病を持つ方々と楽しく交流するボランティアサークルです。活動拠点は「地域活動支援センター 相談支援事業ゆう」と「一本松すずかけ病院」です。他には、社会福祉協議会や社会貢献ボランティアセンター等からのボランティアにも参加させて頂いています。	19
献血推進サークル けんけつつら	月に一度、所属している北九州ブロックの大学が集まり、赤十字社で定例会を行っています。そこで今後の方針を決め、夏・冬に行う街頭献血、学内献血、5月の博多どんたくに参加します。夏前には、県内所属大学全員で合宿を行い、若年層に向けて献血啓発活動を行うべくうえでの目標や知識を深めます。	63
福岡県立大学BBS	非行傾向にある子どもたちと関わりを持ち、一緒に活動しているボランティアサークルです。主な活動として、NPO法人「田川ふれ愛塾」への訪問ボランティアを行っています。	67
Rainbow Garden	LGBTQに関する社会問題について話し合ったり考えたりします。	24
sunsun(サンサン)	病児とその家族への支援として、学習支援やイベントの計画・運営などを行っています。	9

体育会系：17

サークル名	活 動 概 要	部員数
男子バスケットボール部	体育館における練習では、基本的な練習メニューから、試合に向けた応用練習まで、キャプテンを中心に皆で一丸となって楽しく活動しています。また、地域の試合にも積極的に参加し、多くの方々と交流させて頂いています。新チームになったので、今まで以上に団結して頑張っていきます。	10
女子バスケットボール部	火・木・土曜の週3回の練習に加え、公式戦や練習試合などもあり、真面目に楽しく練習しています。	34
硬式テニス部	週4回、13時からヤル気のある部員たちが笑顔でコートを駆け回っています。 ”仲の良いサークルトップ5”には確実にランクインすると思います！	44
ソフトテニス部	毎週、月・火・木・土と活動しています。初心者でも気軽にテニスができて、ワイワイやっているのでとても楽しい部活です。試合にも積極的に参加しています。	8
男子サッカー部	水曜・土曜の週2度の練習、練習試合、インカレやリーグ戦への出場に向けて頑張っています。笑いの絶えない、先輩・後輩の仲が良いサークルです。	44
女子サッカー部	毎週火曜日、週1回のペースで県立大学のグラウンドを利用して練習しています。初心者から経験者までいますが、初心者に合わせて練習を行い、楽しくサッカーの技術を身に付けて貰うことをモットーとしています。女子サッカー部は本当に個性豊かでみんな仲良く、楽しいサークルです。	54
男子バレーボール部	週3回（月・水・金）、充実した練習を行い、インカレやリーグ戦にも参加しています。	17
女子バレーボール部	毎週月・水・金曜日に体育館で活動しています。練習時間は4時間を男子バレー部と半分ずつ使ってやっています。初心者から経験者と一緒に楽しくそして真剣に活動しています。	44
硬式野球部	キャッチボール、バッティング、ノック、ティー、ベースラン…リーグ戦に向け、一生懸命練習に取り組んでいます！	27
軟式野球部	男女問わず野球が好きの人が集まっているので、みんな仲良く、笑顔の絶えないサークルです。	36

サークル名	活 動 概 要	部員数
バドミントン部	素敵な先輩・後輩に恵まれた素晴らしいサークルです。練習は基礎打ち、フック、試合で互いのプレーを高め合っています。北九州インカレでは、団体戦・個人戦とも入賞しました。経験者も未経験者も関係なく、全員が楽しめるような雰囲気づくりに努めていきます。	48
水泳部 筋魚	夏は体育館屋上の学内プールで、シーズンオフは学外のプールで泳ぎ、体育館でも軽い運動をしています。	7
フットサルサークル 英彦山FC	週に2回、初心者・経験者関係なく、楽しく大人数でフットサルをしています。	54
卓球サークル	卓球を通して、体力の向上、男女・学年・学科の隔てなく楽しく活動する。あいさつ、マナー、言葉遣いなど社会に出ても通用する人格・習慣を身に付ける。学業・生活の悩みをみんなで解決し合う。	9
陸上部	みんなで楽しく走ります!!	14
護身空手部	いざという時のために、実践的な護身に役立つ武道空手の技を修練しています。	14
剣道部	初心者から経験者まで幅広く、楽しみながらをモットーに活動をしています。	6

文化系：17

サークル名	活 動 概 要	部員数
茶道部	お茶のお稽古(表千家)と着付けのお稽古を中心に毎週活動をしています。秋の大学祭では、外部のお客さまを呼んでお茶会を開きます。その他にも初釜や七夕茶会など、内輪で楽しむイベントも行っていますよ。茶道の免許を取ることもできます。お茶を始めてみませんか?初心者の方も大歓迎です。	16
文芸部	毎年大学祭で配布する『部誌』を完成させるために日々活動しています。週に1度、部員を集めて、持ち寄った創作物語を読み合っています。経験者も未経験者も気軽に入部できるサークルです。	16
二次研	アニメや漫画等を通して自由に話し合うサークルです。	18
aimit	週に1度、みんな集まって各個人でイラストを描いています。お互いにアドバイスし合い、画力の向上に努めています。和気あいあいとした雰囲気です。秋祭では、自分たちのイラストを展示し、部誌の製作、配布を行っています。	23
ジャズ研究サークル	大学祭のステージ、新歓ライブ、クリスマスコンサートを通して、日頃の練習の成果を聴いて貰っています。Jazzは難しいジャンルですが奥が深く、たくさんの魅力があり、初心者から始めた人も楽しく活動しています。	30
軽音楽サークル 「万屋」	月に1回程度ライブしてます!イベントなどの音響手伝いもしてます!みなさん、ライブに遊びに来て下さい!	44
福岡県立大学吹奏楽団	毎週月・水・金曜日に音楽室にて練習しています。病院や小学校への慰問演奏や自主開催の演奏会、吹奏楽連盟主催の演奏会へ参加しています。団員の数も増え、活動の機会も広がってきたので、大学の広報も一環としても活動できたらと思います。	25
HIP HOP ダンスサークル	サークル内で各自チームを組み、ダンスイベントへの参加、大学祭のステージ参加をしています。毎週月・水・木に体育館2階のダンスフロアでイベントやショーに向け、練習しています。いつも元気に楽しく練習しているので、笑いの絶えないサークルです。	53
魔女のさんぼみち	庭(4号館と5号館の間のハーブ園)でハーブを育て、収穫し、月に1回茶話会を開催しています。無理をせず、時間をかけて共に庭を育てていきましょう。	5
写真部	学校周辺で写真を撮ったり休日に遠出をして撮影会を行ったりします。大学祭では写真展示をしています。	8
演劇部	文化祭などの公演に備え、日々発声練習や台本読みをしています。役者志望も裏方志望も分け隔てなく仲が良いです。	15
SING	みんなで楽しく歌います。(合唱・アカペラ)	24
アロママッサージ研究会	アロママッサージなどのケアを通して、場所を選ばない看護について楽しみながら考えていきます。	13
Beat box Lob.	ヒューマンビートボックスの個人の練習やセッションの練習をします。	10
和太鼓サークル カツドン	週に1度皆で集まって打ち方を教え合ったり、基礎打ちを練習したり、グループに分かれて曲を作ったりして活動します。和太鼓を通して、コミュニケーションと表現力を養います。	28
釣りサークル	池や川で釣りをします。	5
nikki	雑貨等を作成し、秋祭祭やフリーマーケットに出品します。	5

(5) キャリアサポートセンター利用人数実績

	人間社会学部	看護学部	合計
1年生	3	0	3
2年生	8	0	8
3年生	214	57	271
4年生	304	291	595
既卒	0	0	0
合計	529	348	877

(6) 就業力向上支援室活動概要

表1 インターンシップの実績

	プレ・インターンシップ	中長期・実践型 インターンシップ
学生数	31名	0名
受入企業	20件	0件

表2 研修会、報告会等の実績

研修会等	回数
プレ・インターンシップガイダンス	1
プレ・インターンシップ説明会	1
事前研修①（体験目的等の明確化）	1
学生自己紹介書添削・面談 ※面談：1人1回 添削：1人2～3回ほど	69
事後研修②（ビジネスマナー）	1
事前研修③（ポスターセッション説明）※本研修1回、欠席者対象のフォロー研修1回実施	2
事前研修④（ブロック研修/目的意識の明確化）	1
事前研修⑤（ブロック研修/目的意識の明確化）	1
事後研修（ブロック研修/体験の振り返り）	1
インターンシップ報告会リハーサル	1
インターンシップ報告会	1
インターンシップ意見交換会	1
受入先事業所ヒアリング訪問 ※1件電話ヒアリング、田川市は各受入部署へ訪問	23
面談 ※1人1回	31

表3 報告書等成果物について

成果物	発行数
マイキャリアポケット	840
福岡県立大学 キャリア・ハンドブック 2019年度版	60

(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数

	参加者数	派遣企業・団体数	派遣先
H25年度	17	16	田川市役所、西日本鉄道株式会社など
H26年度	20	17	田川市役所、九州海外協力協会など
H27年度	32	27	福岡県庁、田川市役所など
H28年度	21	19	福岡県庁、田川市役所など
H29年度	55	33	田川市役所、飯塚市役所など
H30年度	20	18	田川市役所、飯塚市役所など
R1年度	54	38	田川市役所、飯塚市役所など

(8) 支援を必要とする学生数

	人間社会学部	看護学部	人間社会学研究科	看護学研究科
障がいのある学生	8	0	0	0
留学生	0	0	0	0
社会人学生	0	0	8	10
合計	8	0	8	10

(9) 留学生ビジット状況

ホームステイ先	留学生の出身大学	人数	ホームステイ期間
田川市民宅	南京師範大学・吉林大学珠海学院・ 大邱韓医大校・三育大校	10名	1日

※実施なし

(10) 留学生支援事業実施状況

実施日	行き先	事業内容
令和1年5月25日	ひよこ穂波工場、石炭歴史博物館	筑豊地域の歴史と文化を学習する。
令和1年6月14日	飯塚市内ホテル	他大学の留学生と交流し、ネットワークを広げる。
令和1年7月20日	北九州いのちのたび博物館他	九州とアジアの歴史的関わりについて学ぶ。
令和1年11月16日	嘉徳劇場、小石原焼窯元	日本の劇場文化を学ぶとともに、伝統的陶芸体験をする。
令和2年2月1日	福岡県青少年科学館、大宰府天満宮	福岡地域の歴史と文化を学ぶ。

(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加人数
先輩との交流会	1	33
模試	2	73
受験対策講座	24	926

(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加延人数
補講	看護師4、保健師8	446
模試	看護師6、保健師5	628

※平成24年度入学者より保健師国家試験の受験資格が選抜となった。

(13) 公務員講座実施状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
授業回数	70回/110回	70回/111回	70回/111回	70回/110回	70回/110回	70回/110回
登録者人数	38名/32名	70名/32名	70名/32名	34名/30名	41名/10名	27名/20名

平成25年度より2年生向けの対策<基礎>講座/3年生向けの対策講座の2コースになっています。

(14) 就職対策講座実施状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
回数	3回	5回	6回	11回	12回	5回
参加者数	25名	49名	56名	102名	371名	105名

VIII. 施設・設備

1. 講義室等の設置状況

区分	講義室	演習室	実験実習室	情報処理 学習施設	語学学習 施設	研究室	会議室	事務室	学長室
1号館	7	1	5			33		2	
2号館	1					1			
3号館	7	7	3	2	1	13	1	1	
4号館	2		5	1		17	1	2	
5号館	9	10	4			27	1	1	
その他	1					5	4	6	1
計	27	18	17	3	1	96	7	12	1

2. 施設・設備のバリアフリー化状況

	スロープ	階上階用 エレベーター	多目的トイレ	点字ブロック
1号館	設置	設置	4ヶ所	
2号館	設置			
3号館	設置	設置	2ヶ所	
4号館	設置	設置	4ヶ所	
5号館	設置	設置	4ヶ所	
管理棟・講堂・大講義室	設置	設置	5ヶ所	設置
図書館	設置	設置	1ヶ所	設置
体育館・プール	設置		1ヶ所	
福利厚生棟	設置		1ヶ所	
附属研究所	設置	設置	1ヶ所	
心理学実験棟				

3. 自主的な学習活動が可能な施設

施設一覧	
・ 1号館 1階 自習室	・ 図書館 (本館・分館 (4号館 1階))
・ 1号館 1階 国家試験対策室 (3室)	・ 3号館 2階 3 2 1 1 自習室
・ 5号館 2階 自習室 (5室)	

4. 自由閲覧室利用状況 (利用者数)

時間帯	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00
年間延べ人数	1,575	907	1,597	991	1,365	735	1,061	540	363	154	563	304

5. ICT 環境 (情報処理センター)

(1) 情報処理学習施設

区分	パソコン台数	利用曜日	時間
情報処理教室 1	74	月～金	8:30～20:00
情報処理教室 2	56	月～金	8:30～20:00
情報処理教室 3	16	月～金	8:30～18:00
図書館	40	月～金	8:30～18:00

(2) 無線 LAN アクセスポイント

建物設置箇所	建物設置箇所	
1号館	1階	2箇所 (キャンパススクール、学生談話室)
	2階	2箇所 (公共社会学科学生研究室、1222 講義室)
	3階	3箇所 (心理臨床大学院生研究室、社会福祉大学院生研究室 (2 部屋))
2号館	4階	1箇所 (1410 栄養実習室)
	1階	1箇所 (2101 講義室)
3号館	1階	7箇所 (3102 演習室、3103 演習室、3104 演習室、3105 演習室、3107 非常勤講師室、3109 講義室、キャリアサポートセンター)
	1階	10箇所 (3201 演習室、3205 演習室、3208 演習室、3202 講義室、3203 講義室、3204 講義室、3207 講義室、3212 講義室、3206 社会調査実習室、3211 自習室)
	2階	2箇所 (3317 LL 教室、3319 講義室)
	3階	1箇所 (4302 (学生実験室))
4号館	4階	3箇所 (会議室、廊下 2 箇所)
	2階	4箇所 (廊下)
5号館	3階	4箇所 (5301 実習室IV、5302 実習室III、5303 実習室II、5304 実習室I)
	4階	5箇所 (小会議室、廊下 4 箇所)
講堂管理棟	1階	1箇所 (廊下)
	2階	1箇所 (廊下)
心理学実験棟	1階	1箇所 (心理教育相談室)
附属図書館	1階	1箇所 (自由閲覧室)
	2階	1箇所 (閲覧室)
福利厚生棟	1階	1箇所 (食堂)

6. 図書館

(1) 施設・職員、開館時間

区分		本館		看護学部分館	
		開館	閉館	開館	閉館
通常期間 (下記を除く期間)	平日	8:45	20:00	8:45	22:00
	土曜日	8:45	17:00	8:45	21:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
1月4～9日 3月1～31日 8月11日～9月30日 12月24～29日	平日	8:45	17:00	8:45	17:00
	土曜日	休館	休館	9:00	17:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
休館日		<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始（12月29日～翌年1月3日） ・大学及び大学院入学試験日 ・秋興祭 ・館内整理日（毎月末日。末日が休日の場合は前日） ・館長が定める臨時閉館日。 			
職員数		3(他：図書館事務1)人		2人	

(2) 貸出条件

○帯出冊数および日数				
利用者	種別	数	期間	
1 1～3年生、聴講生、科目等履修生（学部）、一般学外者	図書	5冊以内	1週間以内	
	雑誌	3冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
2 4年生、留学生、認定看護師、卒業生（学部）、研究生（学部）	図書	5冊以内	2週間以内	
	雑誌	3冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
3 大学院生、大学院修了生、研究生（大学院）、科目等履修生（大学院）、教職員（非常勤の者を含む）	図書	10冊以内	30日間以内	
	雑誌	5冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
次の図書は帯出できません。				
① 図書（辞書、辞典、図鑑、年鑑、統計、地図、法令集及びこれらに準ずるもの）				
② 貴重図書				
③ 雑誌の最新号、新聞				
④ 機械可読資料（マイクロフィルム、CD-ROM等）				
⑤ 映像資料（DVD、ビデオテープ、ビデオディスク等）				
⑥ その他館長が館外利用を不相当と認めたもの				
○帯出更新				
貸出中の図書は予約者のないときに限り、貸出期間を更新することができます。				

(3) 蔵書数

(単位：冊)

区分	図書	(うち外国書)	学術雑誌	(うち外国書)	電子ジャーナル	
					(うち外国書)	(うち外国書)
本館	137,951	20,686	82,406	13,721	8	8
分館	30,248	1,875	33,232	8,411	16	6
合計	168,199	22,561	115,638	22,132	24	14

(4) 入館者状況

(単位：人)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
本館	20,867	18,535	18,045	12,730	17,996	11,672	11,631
分館	24,030	24,843	21,427	24,329	27,912	25,412	22,709
リポジトリ							11,163 ※
合計	44,897	43,378	39,472	37,059	45,908	37,084	45,503

※2月からデータの取得が可能となったもの

(5) 貸出状況 (学内・学外者)

(単位：人)

区分	H26年度			H27年度			H28年度		
	学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者	
本館	39,134	13,383	25,751	15,811	13,189	2,622	8,000	7,011	989
分館	18,557	14,217	4,340	15,903	14,369	1,534	13,430	11,273	2,157
小計	57,691	27,600	30,091	31,714	27,558	4,156	21,430	18,284	3,146
リポジトリ									
合計	57,691	27,600	30,091	31,714	27,558	4,156	21,430	18,284	3,146

区分	H29年度			H30年度			R1年度		
	学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者	
本館	12,108	11,297	811	10,653	9,851	802	9,418	8,498	920
分館	12,913	10,779	2,134	13,490	11,330	2,160	9,046	7,072	1,974
小計	25,021	22,076	2,945	24,143	21,181	2,962	18,464	15,570	2,894
リポジトリ							11,163	11,163	※
合計	25,021	22,076	2,945	24,143	21,181	2,962	29,627	29,627	

7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況

サークル部屋・学生会館

施設一覧		
・グラウンド	・プール	・茶室
・体育館	・音楽室	・部室17部屋
・テニスコート	・スタジオ2部屋	

※上記以外に、講義室・演習室を使うサークルもある。

IX. 就職

1. 卒業後の状況

(1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率

学部 学科別	卒業生数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数			その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
				大学院	その他 専修学校				
公共社会学科	52	51	51	0	0	0	1	98.1%	100.0%
社会福祉学科	61	58	58	1	1	0	2	95.1%	100.0%
人間形成学科	57	50	50	7	7	0	0	87.7%	100.0%
看護学科	95	88	88	7	6	1	0	92.6%	100.0%
合計	265	247	247	15	14	1	3	93.2%	100.0%

(2) 学科別所在地別就職先一覧

学部	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科		公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
北海道	2				和歌山県			1	1
青森県					滋賀県				
岩手県					奈良県				
秋田県					京都府				1
宮城県					大阪府	2	2	2	
山形県					兵庫県		2	1	
福島県					岡山県				1
茨城県					広島県	3	5	1	
栃木県					鳥取県			1	
群馬県					島根県			1	
埼玉県		1		1	山口県				3
千葉県		2	1	2	香川県				1
東京都	6	6	4	4	徳島県				
神奈川県	1	1			愛媛県			1	2
新潟県					高知県				
福井県		1			福岡県	29	27	24	65
石川県					佐賀県			1	2
富山県					長崎県	1	2	2	1
静岡県					大分県	1	1		
山梨県	1				熊本県	4	2	2	3
長野県					宮崎県	1	1	4	
愛知県					鹿児島県		4	3	1
岐阜県					沖縄県		1	1	
三重県					その他				

(3) 学科別産業別就職先一覧

公共社会学科	種別	就職者数	割合
	製造業	1	2.0%
	情報通信業	12	23.5%
	卸売業・小売業	8	15.7%
	金融業・保険業	8	15.7%
	不動産業・物品賃貸業	6	11.8%
	宿泊業・飲食サービス業	1	2.0%
	生活関連サービス業・娯楽業	1	2.0%
	教育・学習支援業	3	5.9%
	複合サービス業	2	3.9%
	サービス業	4	7.8%
	公務	2	3.9%
	その他	3	5.9%

社会福祉学科	種別	就職者数	割合
	卸売業・小売業	3	5.2%
	金融業・保険業	2	3.4%
	教育・学習支援業	2	3.4%
	医療・福祉	37	63.8%
	公務	9	15.5%
	その他	5	8.6%

看護学科	種別	就職者数	割合
	病院・医療施設 (看護師・助産師)	70	79.5%
	教員 (養護教諭含む)	8	9.1%
官公庁 (看護師・保健師)	10	11.4%	

人間形成学科	種別	就職者数	割合
	幼稚園・保育園	15	30.0%
	幼稚園・保育園(官公庁)	12	24.0%
	小売業	7	14.0%
	公務	2	4.0%
	サービス業	6	12.0%
	情報通信業	2	4.0%
その他	6	12.0%	

(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率

研究科 専攻別	修了者数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数	その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
社会福祉専攻	5	2	2	0	3	40.0%	100.0%
心理臨床専攻	7	7	7	0	0	100.0%	100.0%
子ども教育専攻	1	1	1	0	0	100.0%	100.0%
看護学専攻	10	8	8	0	2	80.0%	100.0%
合計	23	18	18	0	5	78.3%	100.0%

(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧

社会福祉専攻	種別	就職者数	割合
	官公庁	2	100.0%

子ども教育専攻	種別	就職者数	割合
	社会福祉	1	100.0%

心理臨床専攻	種別	就職者数	割合
	医療・福祉	6	85.7%
	官公庁	1	14.3%

看護学専攻	種別	就職者数	割合
	医療	6	75.0%
教育・学習支援	2	25.0%	

X. 研究

1. 研究成果の発信

(1) 紀要等

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
人間社会学部	発行回数	年2回	年2回	年2回	年2回
	送部数 (発行部数)	1号 67 (200) 2号 66 (200)	1号 70 (200) 2号 70 (200)	1号 69 (200) 2号 68 (200)	1号 76 (200) 2号 76 (200)
看護学部	発行回数	年1回	年1回	年1回	年1回
	送部数 (発行部数)	1号 256 (400)	1号 252 (400)	1号 255 (400)	1号 251 (400)
心理臨床研究	発行回数	年1回	年1回	年1回	年1回
	送部数 (発行部数)	102 (200)	113 (200)	115 (165)	103 (150)

		H30年度	R1年度	公開URL
人間社会学部	発行回数	年2回	年2回	【機関リポジトリ】 https://fukuoka-pu.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=4&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=13&block_id=21
	送部数 (発行部数)	1号 71 (200) 2号 71 (200)	1号 69 (200) 2号 69 (200)	
看護学部	発行回数	年1回	年1回	【機関リポジトリ】 https://fukuoka-pu.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=9&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=13&block_id=21
	送部数 (発行部数)	1号 228 (350)	1号 225 (350)	
心理臨床研究	発行回数	年1回	年1回	【機関リポジトリ】 https://fukuoka-pu.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=17&pn=1&count=20&order=17&lang=japanese&page_id=13&block_id=21
	送部数 (発行部数)	134 (150)	114 (150)	

(2) 附属研究所業務実績報告書等

発行元	出版物	発送部数（発行部数） 公開 URL（電子ブック）
生涯福祉研究センター	生涯福祉研究センター 2018 年度事業報告書（2019 年 9 月 30 日発行）	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/img/a88ab69ebc16ad7024965898a0005b4c.pdf
不登校・ひきこもりサポートセンター	不登校・ひきこもりサポートセンター 2018 年度事業報告書（2019 年 8 月 31 日発行）	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/img/92eb8f69335d265faf3d39dd9f35485b.pdf
ヘルスプロモーション実践研究センター	ヘルスプロモーション実践研究センター 2018 年度事業報告書（2019 年 8 月 31 日発行）	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/img/e25008b78f68364ea8450c47acf8cc9d.pdf
生涯福祉研究センター	生涯福祉研究センター 2019 年度公開講座報告書	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/openLecture/img/1605831b1e7bb15894a5fb9c6f02bd80_1.pdf
不登校・ひきこもりサポートセンター	不登校・ひきこもりサポートセンター 2019 年度公開講座報告書	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/openLecture/img/e3e7e3cb9a60e3f055b83f67f63bdfb0.pdf
ヘルスプロモーション実践研究センター	ヘルスプロモーション実践研究センター 2019 年度公開講座報告書	http://www.fukuoka-pu.ac.jp/openLecture/img/9a05fc50dae2a15d39d1b271809be600.pdf
附属研究所	平成 30 年度研究奨励交付金 研究成果報告書	130部

(3) その他

	H26 年度		H27 年度		H28 年度	
	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)
社会調査実習報告書	年 1 回	15 (60)	年 1 回	10 (30)	年 1 回	30 (70)

	H29 年度		H30 年度		R1 年度	
	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)
社会調査実習報告書	年 1 回	60 (200)	年 1 回	34 (122)	年 1 回	40 (110)

2. 研究奨励交付金決定一覧

区分		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)								
プロジェクト研究	人間社会学部	1	986	2	1,959	1	982			4	2,911	5	2,994
	看護学部	5	4,248	2	1,787	5	4,064	5	4,106			1	317
	附属研究所												
	計	6	5,234	4	3,746	6	5,046	5	4,106	4	2,911	6	3,310
個別研究 ※1	人間社会学部												
	看護学部												
	附属研究所												
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全学横断型プログラム研究助成 ※4	人間社会学部			2	891	2	750	2	784	2	907	2	529
	看護学部			2	988	2	984	2	989				
	附属研究所												
	計	0	0	4	1,879	4	1,734	4	1,773	2	907	2	529
若手研究助成 ※3	人間社会学部	2	393	3	270	2	144	4	381	2	299		
	看護学部	10	1,411	9	1,186	5	797	10	1,253	3	375	6	799
	附属研究所												
	計	12	1,804	12	1,456	7	941	14	1,634	5	674	6	799
附属研究所重点領域研究 ※5	人間社会学部					2	940	1	500	1	634	1	378
	看護学部					1	500	1	390	2	1,640	2	1,582
	附属研究所							1	500	1	998		
	計	0	0	0	0	3	1,440	3	1,390	4	3,272	3	1,960
院生研究助成 ※3	人間社会学部	1	54	2	112			1	66	3	168	4	253
	看護学部	0	0	1	39	1	80			1	64	2	115
	附属研究所												
	計	1	54	3	151	1	80	1	66	4	232	6	368
教員表彰者支援 ※3	人間社会学部	1	100					1	100	1	100	1	100
	看護学部	1	100			1	100						
	附属研究所												
	計	2	200	0	0	1	100	1	100	1	100	1	100
科研申請支援 ※2	人間社会学部	2	200	2	200			2	200	1	100	3	300
	看護学部	3	300	0	0	3	300						
	附属研究所												
	計	5	500	2	200	3	300	2	200	1	100	3	300
研究論文出版補助 ※5	人間社会学部											1	78
	看護学部					1	54	2	59			1	100
	附属研究所												
	計	0	0	0	0	1	54	2	59	0	0	2	178
合計	人間社会学部	7	1,733	11	3,432	7	2,816	11	2,031	14	5,119	17	4,632
	看護学部	19	6,059	14	4,000	19	6,879	20	6,797	6	2,079	12	2,913
	附属研究所	0	0	0	0	0	0	1	500	1	998	0	0
	計	26	7,792	25	7,432	26	9,695	32	9,328	21	8,196	29	7,545

※金額については予算配分額

※1：平成26年度から廃止

※2：平成25年度より採択開始

※3：平成26年度より採択開始

※4：平成27年度より採択開始

※5：平成28年度より採択開始

3. 外部資金等の獲得実績（令和元年度受託研究等事業名）一覧

（単位：千円）

委託元		研究課題等	金額
新規	北九州市	「北九州市職員の心の健康づくりのための計画（第三期）」評価及び第四期計画に向けての調査と提言	500
継続	福岡県	不登校児童生徒復帰支援事業	7,240
継続	福岡県	福岡県訪問看護ステーション連携強化に係るアドバイザー業務	990
継続	久留米大学	思春期検診マニュアルの作成、検証	650
計		件	9,380

4. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部）

人間社会学部

		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	37	35	41	44	45	39	
	うち新規応募件数	30	26	32	34	31	24	
	新規獲得件数	6	3	6	5	7	9	
	採択率	20.0%	11.5%	18.8%	14.7%	22.6%	37.5%	
	獲得件数	16	12	15	17	18	20	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	27,468	11,310	18,330	22,230	26,130	23,270	
	分担金	2,015	1,352	3,067	3,257	2,793	3,419	
	その他	0	0	570	2,439	300	1,197	
	合計	29,483	12,662	21,967	27,926	29,223	27,886	
受託 研究等	受託研究	件数	1	0	0	0	0	1
		金額（千円）	500	0	0	0	0	500
	共同研究	件数	2	1	0	0	3	
		金額（千円）	699	200	0	0	0	
	上記以外	件数	2	1	0	0	0	
		金額（千円）	19,774	6,919	0	0	0	
合計（千円）		50,456	19,781	21,967	27,926	29,223	28,386	

		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	35	39	44	48	45	39
	教員数	42	46	48	50	49	50
	応募率（無資格者等除く）	89.7%	90.7%	95.7%	94.1%	93.8%	70.6%

看護学部

		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	54	51	56	57	54	46	
	うち新規応募件数	40	33	38	44	43	31	
	新規獲得件数	10	7	4	6	5	7	
	採択率	25.0%	21.2%	10.5%	13.6%	11.6%	22.6%	
	獲得件数	22	22	20	13	13	18	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	31,887	32,890	20,629	12,220	12,870	17,940	
	分担金	3,812	3,552	2,583	1,952	2,979	2,550	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	35,699	36,442	23,212	14,172	15,849	20,490	
受託 研究等	受託研究	件数	1	1	1	1	2	3
		金額（千円）	1,655	500	400	6,356	7,540	7,890
	共同研究	件数	0	0	1	0	0	0
		金額（千円）	0	0	0	0	0	0
	上記以外	件数	2	2	3	1	1	1
		金額（千円）	24,321	26,585	17,331	972	972	990
合計（千円）		61,675	63,527	40,943	21,500	24,361	29,370	

		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	52	54	53	55	55	46
	教員数	58	61	60	62	62	60
	応募率（無資格者等除く）	98.1%	100.0%	98.1%	98.2%	98.2%	88.6%

その他

		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 1 年度
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	0	0	0	1,430	780	0
	分担金	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	1,430	780	0

5. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部）

項目	学部	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
論文数 (査読、学術 書掲載分)	人間社会学部	14	36	17	70	40	24
	看護学部	35	50	30	41	30	32
	計	49	86	47	111	70	56
学会発表数 (招待講演、シ ンポジスト 招聘分)	人間社会学部	5	6	8	9	14	12
	看護学部	1	3	1	6	11	3
	計	6	9	9	15	25	15

6. 学術賞・論文等の受賞状況

受賞者名	学部	受賞名	受賞内容・論文テーマ	受賞年月日	主催団体（学会）
小山 憲一郎	人間社会学部	優秀演題	マインドフルネス食観トレーニング(MB-EAT)を用いた集団肥満治療	2019.11.16	第2回日本心身医学関連学会合同集会
小山 憲一郎	人間社会学部	優秀ポスター発表賞	新たな肥満治療戦略, マインドフルネス食観トレーニング Novel Approach to Obesity, Mindfulness-Based Eating Awareness Training (MB-EAT)	2019.8.24	第9回日本マインドフルネス学会

7. 国際学会招待研究等一覧

実績なし

8. 特許出願状況

学部		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
人間社会学部	申請	0	0	0	0	0	0
	取得	0	0	0	0	0	0
看護学部	申請	0	0	0	0	0	0
	取得	0	1	0	0	0	0
合計	申請	0	0	0	0	0	0
	取得	0	1	0	0	0	0

XI. 国際交流

1. 学部・学年別・国籍別留学生数

	人間社会学部		看護学部	
	人数	国籍	人数	国籍
1年生	17	中国・韓国	0	
2年生	0		0	
3年生	0		0	
4年生	0		0	

※該当者なし

2. 留学生の受入・派遣

(1) 交換留学（受入・派遣）

	南京師範大学	大邱韓医大学校	三育大学校	吉林大学珠海学院	威徳大学校
受入学生数	6	3	3	5	0
派遣学生数	0	1	5	0	1

(2) 語学研修実績

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	行き先
参加学生数	23	17	16	27	14	12	イギリス（パース・オックスフォード）

(3) 短期派遣

	南京師範大学	大邱韓医大学校	三育大学校	吉林大学珠海学院	威徳大学校
受入学生数	0	12	0	0	2
派遣学生数	0	0	0	0	0

(4) 留学における単位認定

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
南京師範大学	対象学生数	6	6	6	6	6	6
	認定単位数	45	50	56	76	81	48
大邱韓医大学校	対象学生数	5	4	5	5	4	3
	認定単位数	161	136	139	118	74	83
三育大学校	対象学生数	—	2	—	3	3	3
	認定単位数	—	79	—	61	102	80
吉林大学珠海学院	対象学生数	—	—	—	3	5	5
	認定単位数	—	—	—	87	111	193

3. 学術交流協定等締結校一覧

中国	南京師範大学
	北京中医薬大学
	吉林大学珠海学院
韓国	大邱韓医大学校
	三育大学校
	威徳大学校
タイ	コンケン大学

XII. 社会貢献

1. 公開講座等の実施状況

(1) 公開講座実施状況

	実施日程	テーマ	講師	参加者 (人)
公開講座 I	10月1日 (火)	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 福岡県のひきこもりの現状	岡島祐子氏 (福岡県ひきこもり地域支援センター/ 福岡県精神保健福祉センター相談指 導課長)	38
	11月6日 (水)	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 ひきこもりへの思い～家族として、支援者として 伝えたいこと～	ひきこもり家族会「たんぼぼの会」代 表 北九州市ひきこもり地域支援センター 「すてっぷ」スタッフ	47
	12月5日 (木)	「こどものひきこもり 大人のひきこもり」 不登校・ひきこもりサポートセンター～追跡調査 結果～	原田直樹 (不登校・ひきこもりサポートセンタ ー教員スタッフ/看護学部准教授)	46
公開講座 II	11月8日 (金)	0歳から100歳以上までの便育教育 気持ちのよ い排便×健康づくり×地域づくり	榊原千秋氏(看護師、助産師、保健 師、コンチネンスケア・イノベーション センターおまかせうんちっちゃん代表コ ンチネンスアドバイザー)	15
公開講座 III	12月3日 (火)	筑豊の盆行事『先祖供養と盆口説き』	長谷川 清之氏(福智町教育委員会生 涯学習課社会教育係文化財担当) 中藤 広美氏(福岡県立大学人間社会 学部助教)	46
				192

(2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況

区分	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
	前期	後期	前期	後期								
科目等履修生	2	3	7	2	1	2	2	1	0	0	0	0
科目等履修生(大学院)	2	1	5	1	3	2	2	2	2	2		
聴講生	4	2	3	3	4	2	3	5	4	3	4	1
聴講生(大学院)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		
研究生	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0

(3) 出前講義の実施状況

区分	開催回数	参加人数	場所
出前講義	22	930	嘉徳高校・北筑高校など
高校訪問(来学)	2	77	本学
出前講義(来学)	2	77	本学

出前講義アンケート

	参加人数	回収人数	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない
出前講義	930	873	607	244	19	3
高校訪問(来学)	77	73	26	37	10	0
出前講義(来学)	77	73	32	33	9	0

令和元年度 出前講義テーマ一覧

人間社会学部	看護学部
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幸せの経済学 ・ 進路について考える～大学と短大・専門学校の違いとは？～ ・ 社会福祉士(ソーシャルワーカー)の仕事 ・ 「ニュースの裏読み」方法を教えます ・ 目は心の窓、というのは本当か ・ 社会福祉学入門 <p>等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護の道も一歩から！～看護職へのキャリアデザインを考える～ ・ 生活習慣と病気 ・ 性教育 ・ 看護の「技」について ・ 認知症高齢者の体験世界と看護 ・ 生命の神秘 <p>等</p>

2. 地域貢献活動

(1) 生涯福祉研究センター活動概要

リカレント教育事業

対象	事業名	回数	人数 (延べ)
保育士、幼・小・中・ 特別支援学校教諭 等	特別支援教育スキルアッププログラム	5	165
	筑豊英語教員フォーラム	12	330
福祉	福岡県立大学リカレントセミナー	0	0

地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数 (延べ)
乳幼児、児童と保護者	おもちゃとしょかん・たがわ	22	176
親	お父さんとお母さんの学習室	24	72
福祉、介護、医療、 福祉用具販売 メーカー 等	福祉用具研究会	9	142
一般住民 (外国人)	日本語くらぶ・たがわ	24	144
市民及び学生	アドボチャイルド学習会	5	30
市民及び学生	実践：香春町子ども食堂協力	7	41

(2) ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要

リカレント教育事業

対象	事業名	回数	人数 (延べ)
助産師	助産師を対象としたリカレント教育 (母子育児支援)	2	68
保健師	保健師を対象としたリカレント教育	1	24

地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数 (延べ)
一般	エンド・オブ・ライフケア教育	3	155
一般	性の健康事業	10	145

(3) 不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要

リカレント教育事業

	対象	事業名	回数	人数
リカレント	小・中・高校教員、 一般	公開講座「子どものひきこもり 大人のひきこもり」	3	133
		教員対象研修事業	65	3,480

地域貢献事業

	対象	事業名	回数	人数
地域貢献	小学生～20歳程度	県大子どもサポートセンター派遣	294 (名)	3,846
	小・中・高校生	キャンパススクール	34 (名)	2,147
	小学生～20歳程度	相談件数	1,661	4,169
	親	家族交流会	10	56

(4) 社会貢献・ボランティア支援センター活動概要

(外部団体の登録状況と学生の活動状況)

領域	登録団体件数	依頼申請件数	学生参加件数	学生参加人数
高齢者福祉に関する 団体・施設	21	5	3	8
障害者福祉に関する 団体・施設 (障害児 を含む)	67	16	6	39
児童福祉に関する団 体・施設	41	14	10	682
社会福祉協議会	16	6	4	30
その他	78	37	13	68
合計	223	78	36	827

(5) 看護実践教育センター活動概要

リカレント教育事業

実施年度	対象	事業名	人数 (名)
平成26年度	看護職	第2回糖尿病看護実践力開発セミナー	400
平成27年度	看護職	第3回糖尿病看護実践力開発セミナー	248
平成28年度	看護職	第4回糖尿病看護実践力開発セミナー	249
平成29年度	看護職	第5回糖尿病看護実践力開発セミナー	244
平成30年度	看護職	第6回糖尿病看護実践力開発セミナー	250
令和元年度	看護職	第7回糖尿病看護実践力開発セミナー	224

(6) 心理教育相談室実績

事業名	面接件数
心理教育相談	1,316

(7) 教員免許更新事業

講習期間	講座の名称	時間数	参加教員数
8月20日	【選択】救急処置・危機管理と学校保健	6	38
8月21日	【必修】教育の最新事情	6	93
8月22日	【選択必修】ペアレントトレーニング	6	44
8月22日	【選択必修】子どもの問題行動と対応	6	25
8月22日	【選択必修】『子どもの心』をはぐくむための関わり方	6	44
8月23日	【選択】アクティブ・ラーニングを深く考える(基礎)	6	34
8月23日	【選択】幼児期教育改革の最新動向(基礎)	6	40
8月24日	【選択】アクティブ・ラーニングを深く考える(実践)	6	24
8月24日	【選択】幼児期教育改革の最新動向(実践)	6	33
計		54	375

教員免許状更新講習 事後アンケート

講習科目	評価項目	Ⅰ. 講習の内容・方法について				Ⅱ. 講習を受講したあなたの最新の知識・技能の習得の成果について				Ⅲ. 講習の運用面について				参加教員数
		よい	だいたいよい	あまり十分でない	十分でない	よい	だいたいよい	あまり十分でない	十分でない	よい	だいたいよい	あまり十分でない	十分でない	
【選択】救急処置・危機管理と学校保健		32	6	0	0	32	6	0	0	30	8	0	0	38
【必修】教育の最新事情		45	39	8	1	37	49	7	0	52	33	8	0	93
【選択必修】ペアレントトレーニング		37	7	0	0	35	9	0	0	32	11	1	0	44
【選択必修】子どもの問題行動と対応		20	5	0	0	20	5	0	0	22	3	0	0	25
【選択必修】『子どもの心』をはぐくむための関わり方		33	9	2	0	36	8	0	0	29	15	0	0	44
【選択】アクティブ・ラーニングを深く考える(基礎)		28	5	1	0	25	8	1	0	24	9	1	0	34
【選択】幼児期教育改革の最新動向(基礎)		27	13	0	0	32	8	0	0	30	10	0	0	40
【選択】アクティブ・ラーニングを深く考える(実践)		21	3	0	0	20	4	0	0	20	4	0	0	24
【選択】幼児期教育改革の最新動向(実践)		21	12	0	0	23	10	0	0	22	10	1	0	33

3. 学外講義・講演

講師等 (行政・教育)

(単位：件)

福岡県	田川市郡	福岡県内市町村	他縣市町村	計
36	12	113	29	190

講師等 (その他団体)

(単位：件)

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
8	67	17	92

4. 審議会・委員会等への参画状況

委員会 (その他の団体)

(単位：件)

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
53	56	13	122

Ⅷ. 財務

1. 資産と負債の状況

科目	H26年度 (A)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (B)	増減 (B - A)
資産 (①)	8,456,447	8,424,852	8,144,023	7,817,203	7,619,280	7,355,321	△ 1,101,126
固定資産	8,179,048	8,011,476	7,754,995	7,496,225	7,255,590	7,016,134	△ 1,162,914
流動資産	277,398	413,375	389,028	320,978	363,690	339,186	61,788
負債	1,634,101	1,716,536	1,665,611	1,520,651	1,554,182		△ 1,634,101
固定負債	1,444,632	1,462,434	1,398,433	1,306,957	1,264,609	1,234,232	△ 210,400
資産見返負債	1,422,718	1,396,785	1,349,678	1,253,237	1,239,968	1,224,591	△ 198,127
長期リース債務	21,913	65,649	48,755	53,719	24,640	9,640	△ 12,273
流動負債	189,469	254,101	267,177	213,693	289,572	237,224	47,755
リース債務	12,363	25,012	22,704	32,191	29,078	15,000	2,637
その他	177,106	229,089	244,473	181,502	260,494	222,224	45,118
資本 (②)	6,822,345	6,708,315	6,478,411	6,296,552	6,065,098	5,883,864	△ 938,481
自己資本比率 (②/①)	81%	80%	80%	81%	80%	80%	

※項目ごとに千円未満を切り捨てているため、合計が一致しない場合がある。

(出典 貸借対照表)

2. 土地と建物の状況

(単位：㎡)

区分	法人設立時 (A)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 (B)	増減 (B - A)
土地	96,854	96,359	96,359	96,359	96,359	96,359	96,359	△ 495
建物	35,750	37,074	37,074	37,074	37,074	37,074	37,074	1,324

3. 自己収入の状況

(単位：千円)

年度	学生納付金収入				雑収入	計
	授業料	入学金	検定料	小計		
H26年度	557,244	111,147	26,651	695,042	39,177	734,219
H27年度	548,357	120,698	26,401	695,456	38,063	733,519
H28年度	576,450	116,608	23,699	716,757	37,355	754,112
H29年度	586,315	118,445	22,141	726,901	36,790	763,691
H30年度	582,730	118,507	27,499	728,736	32,999	761,735
R1年度	588,299	107,494	20,191	715,984	33,932	749,916

(出典 損益計算書)

4. 外部研究資金の獲得状況

(単位：千円)

年度	科学研究費補助金		受託研究・共同研究資金		その他補助金		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H26年度	38	59,355	4	2,854	4	44,095	46	106,304
H27年度	34	44,200	2	700	3	33,504	39	78,404
H28年度	35	38,959	3	1,200	4	17,101	42	57,260
H29年度	30	34,450	2	7,328	4	2,439	36	44,217
H30年度	31	39,000	3	8,512	1	300	35	47,812
R1年度	38	41,210	4	9,379	4	1,197	46	51,786

5. 収支状況

(単位：千円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
経常費用	1,757,698	1,794,315	1,887,027	1,890,902	1,903,628	1,820,011
経常収益	1,820,261	1,874,513	1,851,678	1,878,566	1,883,571	1,833,394
経常利益	62,563	80,197	△ 35,348	△ 12,336	△ 20,057	13,383
臨時損失	1,334	880	3,392	53,320	0	0
臨時利益	1,334	880	3,392	79,093	0	0
目的積立金取崩額	0	0	36,340	0	0	0
当期総利益	62,562	80,197	992	13,436	1,045	13,383

(出典 損益計算書)

6. 教育研究経費の状況

(単位：千円)

区分	教育経費	研究経費				教育研究 支援経費	合計
		個人研究費	研究奨励交付金	その他	計		
H26年度	176,438	39,983	17,136	22,733	79,852	48,532	304,822
H27年度	172,478	35,985	15,423	28,097	79,505	48,072	300,055
H28年度	186,160	35,985	15,423	30,991	82,399	47,929	316,488
H29年度	189,794	35,985	15,423	29,409	80,817	48,333	318,944
H30年度	186,072	35,985	15,423	30,107	81,515	48,160	315,747
R1年度	179,549	35,985	15,423	28,718	80,126	48,346	308,021

(出典 収支計画予算)

〈付録〉

1. 令和元年度における主な取組

(1) 学部

- ・保健福祉情報プログラムとキャリア支援プログラムに関連して、「学修証明書（データサイエンス）（キャリアマネジメント）」を発行する仕組みを両学部に整えることができた。
- ・学生個々の英語学習プランに対応するため、今年度初めて TOEIC トライアル講座を開講した（8名受講）。
- ・本年度、総合人間社会コースにおける卒業生4名（公共3名、福祉1名）が初めて誕生した。
- ・ケアリング・アイランド大学コンソーシアム加盟大学が共同して、災害看護の反転授業（講義をオンラインで事前に聴講し、それをもとに、授業の場で議論する形式）を初めて行った（4大学、16名が参加）。
- ・H30年度改正科目「災害看護学」については、ケアリング・アイランド大学コンソーシアム加盟大学から教員が参画し、15回の合同講義（オンデマンド動画）を撮影・制作した。
- ・学修成果として、各学科就職率100%、および各種国家試験における高合格率を達成した。
- ・学部のシラバスをアクティブラーニングと事前事後課題に対応する様式に改訂し、電子シラバスとして提供することにした。
- ・高大等連携事業の協定校である博多青松高校の生徒が本学正規授業を前期後期に渡り履修し、単位を取得した。
- ・ケアリング・アイランド大学コンソーシアム活動に対する寄附を得て、他大学との会議に本学メンバーのアイコンとなる”バッジ”（胸章）を作成し、本学教員が着用できるようにした。

(2) 大学院

- ・博士課程の設置については、将来構想検討部会において連合大学院構築のための他大学の視察実施を行うなど実際的な検討をおこなった。

2. 沿革

昭和 20 年 4 月	福岡県立保健婦学校設置
昭和 27 年 7 月	福岡県立保育専門学院設置
昭和 27 年 9 月	福岡県立保健婦学校を福岡県立保健婦養成所に再編
昭和 29 年 4 月	福岡県立保母養成所と改称する。(県直営となる。)
昭和 37 年 4 月	福岡県立保健婦養成所を福岡県立公衆衛生看護学校と改称
昭和 42 年 4 月	県下に分散していた福岡教育大学(国立)が昭和 41 年に宗像市に統合されたことにより、同大学田川分校跡地に、上記保母養成所を発展的に解消し、福岡県社会保育短期大学(保育科、社会福祉科)を開学
昭和 46 年 4 月	福岡県立公衆衛生看護学校を福岡県立看護専門学校(看護婦科(進学課程)、保健婦・助産婦科)に再編
昭和 53 年 4 月	上記短期大学に附属幼稚園を開園
昭和 56 年 4 月	短期大学校舎の全面改築(昭和 59 年 3 月)
昭和 58 年 11 月	すずかけ寮完成(30 室)
昭和 63 年 1 月	「福岡県社会保育短期大学問題協議会」を設置。同年 12 月、同短大の四年制への移行について「社会福祉の新しい動向に対応しうる人材養成及び地域振興に資するため、新しい構想のもとに四年制大学を設置すること」との答申を発表(昭和 63 年 12 月)
平成 2 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「四年制大学移行準備室」を設置
平成 2 年 5 月	「四年制大学移行準備委員会」を設置し、新大学の基本構想・カリキュラム・教員組織等につき検討開始
平成 3 年 6 月	文部省に対して、福岡県立大学(人間社会学部)の設置認可を申請
平成 3 年 12 月	文部省により、福岡県立大学の設置許可を受ける
平成 4 年 4 月	福岡県立大学(人間社会学部)開学 福岡県社会保育短期大学附属幼稚園を福岡県立大学附属幼稚園に改称
平成 5 年 3 月	福岡県社会保育短期大学閉学
平成 6 年 4 月	福岡県立大学附属図書館、新築開館
平成 6 年 11 月	中国南京師範大学との学術・教育交流に関する協定の締結
平成 7 年 3 月	心理学実験棟完成
平成 8 年 2 月	中国南京師範大学と短期留学生(1 年)交流開始
平成 8 年 3 月	第 2 キャンパス(運動場)完成
平成 8 年 6 月	文部省に対し、福岡県立大学大学院(人間社会学研究科・修士課程)の設置認可を申請
平成 8 年 12 月	文部省より、福岡県立大学大学院の設置許可を受ける。
平成 9 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科(人間社会学研究科・修士課程)開設
平成 9 年 6 月	「福岡県看護教育高度化検討委員会」設置。同年 11 月、報告書を知事に提出
平成 9 年 12 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会」設置
平成 10 年 3 月	福岡県立大学附属幼稚園を廃園
平成 10 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センター(学内組織)を設置
平成 10 年 7 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会専門部会」設置
平成 11 年 2 月	「福岡県立大学看護学部(仮称)基本計画」策定
平成 11 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「看護学部開設準備室」設置
平成 12 年 3 月	「福岡県立大学看護学部施設整備基本計画」策定

平成 14 年 4 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の設置認可を申請
平成 14 年 9 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の看護師・保健師・助産師学校指定を申請。また、養護教諭 1 種免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を申請。
平成 14 年 12 月	文部科学省より、福岡県立大学看護学部の設置許可を受ける。
平成 14 年 12 月	アザレア寮完成(100 室)
平成 15 年 3 月	看護学部棟、講堂・管理棟、大講義室、福利厚生棟完成
平成 15 年 3 月	福岡県立看護専門学校閉校
平成 15 年 4 月	福岡県立大学看護学部開設
平成 18 年 4 月	公立大学法人福岡県立大学へ移行
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所を設置
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所内にヘルスプロモーション実践研究センターを設置
平成 18 年 6 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（看護学研究科・修士課程）の設置認可を申請
平成 18 年 9 月	韓国大邱韓医大学校との学術交流に関する協定の締結
平成 18 年 9 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科・修士課程）の再編届出
平成 18 年 11 月	韓国大邱韓医大学校との学生交流に関する協定の締結
平成 18 年 11 月	文部科学省が、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科）の再編届出を受理
平成 18 年 11 月	文部科学省より、福岡県立大学（看護学研究科）の設置許可を受ける。
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院看護学研究科（看護学研究科・修士課程）開設
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科の再編
平成 19 年 9 月	福岡県立大学附属研究所内に不登校・ひきこもりサポートセンターを設置
平成 19 年 10 月	生涯福祉研究センター内に心理教育相談室を設置
平成 20 年 11 月	福岡県立大学看護実践教育センターを設置
平成 21 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センターの心理教育相談室を教育機関の実習施設に位置づけるため福岡県立大学大学院の施設に変更
平成 21 年 4 月	人間社会学部「社会学科」を「公共社会学科」へ名称変更
平成 21 年 11 月	タイ国コンケン大学との国際的な学術協力に関する覚書の締結
平成 21 年 11 月	北京中医薬大学との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 21 年 12 月	福岡県立大学附属研究所内に社会貢献・ボランティア支援センターを設置
平成 22 年 5 月	韓国・三育大学校との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 22 年 10 月	田川市との包括的連携に関する協定締結
平成 23 年 3 月	福岡県立大学と田川市が申請した生涯福祉研究センター管理の山本作兵衛日記・雑記帳（66 点）絵画（4 点）が日本初のユネスコ世界記憶遺産に登録
平成 23 年 7 月	看護学部編入学募集停止を決定
平成 23 年 10 月	看護学部における助産師養成課程の廃止、同課程の大学院への移行及び保健師養成課程選択制移行を決定
平成 23 年 12 月	第 1 期公立大学法人職員採用を決定
平成 24 年 3 月	附属研究所棟完成
平成 24 年 3 月	福岡県立大学創立 20 周年記念式典開催
平成 25 年 5 月	田川市郡 1 市 6 町 1 村との包括連携に関する協定締結

平成 26 年 5 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）を申請
平成 26 年 8 月	文部科学省より福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）の承認を受ける
平成 27 年 4 月	福岡県立大学大学院看護学研究科助産師過程を開設
平成 27 年 7 月	大学院人間社会学研究科地域教育支援専攻の募集停止を決定
平成 27 年 11 月	韓国威徳大学との学術・教育交流に関する覚書を締結
平成 28 年 4 月	文部科学省に対し、大学院人間社会学研究科地域教育支援専攻の廃止を届出
平成 28 年 4 月	中国吉林大学珠海学院との学術・教育交流に関する覚書を締結
平成 28 年 6 月	附属研究所の改組（研究推進部の設置、社会貢献・ボランティア支援センターの独立組織化）
平成 28 年 9 月	文部科学省に対し、大学院人間社会学研究科子ども教育専攻の設置届出を届出
平成 28 年 11 月	文部科学省が、大学院人間社会学研究科子ども教育専攻の設置届出を受理
平成 30 年 3 月	国際交流寮（男子学生寮）完成（12室）
平成 30 年 4 月	人間社会学部人間形成学科および大学院人間社会学研究科心理臨床専攻に公認心理師養成課程を開設
平成 31 年 4 月	附属研究所の改組（不登校・ひきこもりサポートセンターの独立組織化）

3. 歴代学長及び名誉教授一覧

歴代学長

福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	安藤 延男	平成 4 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日
第 2 代	保田井 進	平成 10 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日
第 3 代	橋口 捷久	平成 14 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日

公立大学法人 福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	名和田 新	平成 18 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
第 2 代	柴田 洋三郎	平成 24 年 4 月 1 日～

名誉教授

授与番号	職名	氏名	退職年月日	称号授与日
第 1 号	教授	荒巻 正憲	平成 8 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 2 号	教授	清水 正照	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 3 号	教授	中川 哲也	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 4 号	教授	安部 博純	平成 9 年 3 月 31 日	平成 9 年 5 月 8 日
第 5 号	学長	安藤 延男	平成 10 年 3 月 31 日	平成 10 年 6 月 11 日
第 6 号	教授	武内 勝彦	平成 10 年 3 月 31 日	平成 10 年 6 月 11 日
第 7 号	教授	阿部 洋	平成 12 年 3 月 31 日	平成 12 年 6 月 14 日
第 8 号	教授	杉田 峰康	平成 13 年 3 月 31 日	平成 13 年 5 月 30 日
第 9 号	教授	奥村 幸夫	平成 19 年 3 月 31 日	平成 20 年 4 月 4 日
第 10 号	教授	宮崎 昭夫	平成 20 年 3 月 31 日	平成 21 年 4 月 17 日
第 11 号	学長	橋口 捷久	平成 19 年 3 月 31 日	平成 22 年 4 月 21 日
第 12 号	教授	清田 勝彦	平成 22 年 3 月 31 日	平成 22 年 4 月 21 日
第 13 号	教授	西岡 健治	平成 23 年 3 月 31 日	平成 23 年 10 月 25 日
第 14 号	教授	小松 啓子	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 15 号	教授	久永 明	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 16 号	教授	古橋 啓介	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 17 号	教授	茂木 豊	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 6 月 24 日
第 18 号	学長	名和田 新	平成 24 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 19 号	教授	森山 沾一	平成 24 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日

第20号	教授	鬼崎 信好	平成24年3月31日	平成28年3月31日
第21号	教授	文屋 俊子	平成28年3月31日	平成29年4月1日
第22号	教授	秦 和彦	平成28年3月31日	平成29年4月1日
第23号	教授	甲斐 彰	平成23年3月31日	平成28年11月1日
第24号	教授	藤山 正二郎	平成24年3月31日	平成28年11月1日
第25号	教授	平野 泰朗	平成22年3月31日	平成28年11月1日
第26号	教授	田中 哲也	平成30年3月31日	平成30年4月1日
第27号	教授	福田 恭介	平成31年3月31日	平成31年4月1日
第28号	教授	細井 勇	平成31年3月31日	平成31年4月1日

4. 学年暦

令和元年度 学部学年暦

前 期		後 期	
2019 (平成31) 年		10月 1日(火)	後期始まり
4月 1日(日)	前期始まり	10月 1日(火)	後期授業開始
4月 3日(水)	入 学 式	10月 7日(月)	後期履修登録修正締切日
4月 3日(水)・4日(木)	学生定期健康診断	10月12日(土)	補講日
5日(金)		10月15日(火)	基礎看護学実習Ⅱ (後半グループ)
4月 4日(木)・5日(金)	オリエンテーション	～10月25日(金)	(看護学部2年生)
4月 8日(月)～9日(火)	新入生合宿フォーラム	10月26日(土)	補講日
4月 8日(月)	前期履修登録締切日 (新入生を除く)	11月 2日(土)	補講日
4月10日(水)	前期授業開始	11月 8日(金)	全学休講
4月11日(木)	前期履修登録締切日 (新入生)	11月 9日(土)～10日(日)	大学祭 (秋興祭)
4月16日(火)	前期履修登録修正締切日	11月16日(土)	補講日
4月20日(土)	補講日	11月23日(土)	推薦入試
5月10日(金)	開学記念日	12月 2日(月)～6日(金)	後期履修登録取消期間
5月11日(土)	補講日	12月 7日(土)	補講日
5月25日(土)	補講日	12月20日(木)	社会福祉学科卒業論文提出日
6月 8日(土)	補講日	12月20日(木)	看護学部卒業研究提出日
6月10日(月)～14日(金)	前期履修登録取消期間	12月21日(土)	補講日
6月22日(土)	補講日	12月25日(火)	冬季休業
7月 1日(月)	基礎看護学実習Ⅰ	～1月 5日(日)	
～7月 5日(金)	(看護学部1年生)	2020年	
7月13日(土)	補講日	1月 6日(月)	授業再開
7月27日(土)	補講日	1月17日(金)	全学休講
8月 1日(月)	前期通常授業終了	1月18日(土)～19日(日)	センター試験
8月 2日(火)	特別補講日	1月20日(月)	公共社会学科卒業論文提出日
8月 3日(土)	オープンキャンパス	1月20日(月)	人間形成学科卒業論文提出日
8月 5日(月)	前期試験期間	1月25日(土)	補講日
～8月 9日(金)		1月30日(木)	特別補講日
8月13日(火)	夏季休業	2月 3日(月)	後期通常授業終了
～9月30日(月)		2月 4日(火)	人間社会学部卒業論文発表会
8月19日(月)～23日(金)	集中講義第1週	2月 5日(水)～12日(水)	後期試験期間
8月21日(水)	成績揭示(合否のみ)	2月17日(月)	卒業予定者成績揭示日(合否のみ)
8月21日(水)～23日(金)	再試験願提出期間	2月17日(月)～21日(金)	後期集中講義
8月26日(月)～30日(金)	集中講義第2週	2月20日(木)	卒業予定者成績表交付
9月 2日(月)	基礎看護学実習Ⅱ (前半グループ)	2月20日(木)～25日(火)	卒業予定者成績質問期間
～9月13日(金)	(看護学部2年生)	2月25日(火)	一般入試前期日程
9月 9日(月)	看護学部各論実習Ⅰエンタシオン	2月26日(水)	在学生成績揭示日(合否のみ)
9月12日(木)	前期成績表交付	2月26日(水)	再試験願提出期間(在学生)
9月12日(木)～17日(火)	成績質問期間	～2月28日(金)	
9月27日(金)	後期履修登録締切日	3月12日(木)	一般入試後期日程
9月30日(月)	前期終了	3月17日(火)	卒 業 式
		3月19日(木)	在学生後期成績表交付
		3月19日(木)～24日(火)	在学生成績質問期間
		3月31日(火)	後期終了

令和元年度 大学院学年暦

前期

2019 (平成31) 年

4月3日(水) 入学式・オリエンテーション・健康診断(人間社会学研究科2年生を除く)
 4月6日(金) 健康診断(人間社会学研究科2年生)

 4月10日(水) 前期授業開始
 4月16日(火) 前期履修登録締切

 4月19日(金) 「研究指導教員届」提出期限(看護学研究科)
 4月19日(金) 「研究指導教員届」提出期限(人間社会学研究科)
 5月15日(水) 前期研究計画発表会(看護学研究科)
 5月24日(金) 「修士論文題目届」提出期限(看護学研究科)
 5月30日(木) 「研究計画書」提出期限(看護学研究科)
 6月10日(月) 前期履修登録取消期間
 ~14日(金)
 6月20日(木) 秋季修了予定者修士論文提出期限(看護学研究科)
 6月25日(火) 秋季修了予定者修士論文提出期限(人間社会学研究科)
 7月3日(水) 修士論文中間発表会

 (人間社会学研究科 心理臨床専攻・子ども教育専攻)
 7月12日(金) 秋季修了予定者修士論文再提出期限(看護学研究科)
 7月29日(月) 前期通常授業終了日
 8月3日(土) オープンキャンパス

 8月7日(水) 夏季休業
 ~9月30日(月)
 8月19日(月) 集中講義第二週
 ~23日(金)
 8月26日(月) 集中講義第三週
 ~30日(金)
 9月4日(水) 秋季修了判定会議(人間社会学研究科)

 9月7日(土) 秋のオープンキャンパス
 9月11日(水) 秋季修了判定会議(看護学研究科)
 9月12日(木) 前期成績表交付
 9月12日(木) 成績質問期間
 ~13日(金)
 9月18日(水) 後期研究計画発表会(看護学研究科)

 9月下旬 秋季修了大学院修士学位記授与式

 9月27日(金) 後期履修登録締切

後期

10月1日(火) 後期授業開始
 10月7日(月) 後期履修登録修正締切
 10月上旬 研究構想・研究計画発表会、修士論文中間発表会(人間社会学研究科 社会福祉専攻)

 10月15日(火) 「研究計画書」提出期限(看護学研究科)
 10月15日(火) 「修士論文題目届」および「研究計画書」提出期限
 (人間社会学研究科 心理臨床専攻・子ども教育専攻)
 10月19日(土) 大学院秋季入学試験

 11月6日(水) 「修士論文題目届」および「研究計画書」提出期限
 (人間社会学研究科 社会福祉専攻)

 11月9日(土) 大学祭
 ~10日(日)
 11月23日(土) (大学; 推薦・転編入・社会人・国外就学経験者入学試験)
 12月2日(月) 後期履修登録取消期間
 ~6日(金)
 12月25日(水) 冬季休業
 ~1月5日(金)
 12月27日(金) 修士論文提出期限(看護学研究科助産実践形成コースのみ)

 2020 (令和2) 年
 1月6日(月) 授業再開

 1月6日(月) 修士論文口頭試問(看護学研究科助産実践形成コースのみ)
 ~10日(金)
 1月18日(土) (大学入試センター試験)
 ~19日(日)
 1月14日(火) 修士論文提出期限(人間社会学研究科)

 1月16日(木) 修士論文提出期限(助産実践形成コースを除く看護学研究科)
 1月16日(木) 修士論文再提出期限(看護学研究科助産実践形成コースのみ)
 1月下旬~2月初旬 修士論文口頭試問(助産実践形成コースを除く看護学研究科)
 1月29日(水) 修士論文口述試験(人間社会学研究科)
 1月31日(金) 後期通常授業終了日
 2月1日(土) 大学院春季入学試験
 2月7日(金) 修士論文再提出期限(人間社会学研究科)

 2月7日(金) 修士論文再提出期限(助産実践形成コースを除く看護学研究科)
 2月17日(月) 後期集中講義
 ~21日(金)
 2月19日(水) 修了判定会議(人間社会学研究科)
 2月19日(水) 修了判定会議(看護学研究科)
 2月20日(木) 修了予定者成績表交付
 2月20日(木) 修了予定者成績質問期間
 ~25日(火)
 2月25日(火) (一般入学試験 前期日程)
 3月3日(火) 修士論文発表会(看護学研究科)
 3月5日(木) 修士論文発表会(人間社会学研究科)
 3月12日(木) (一般入学試験 後期日程)
 3月17日(金) 大学院第22回修士学位記授与式(大学第25回卒業式)

 3月19日(木) 在学生成績表交付
 3月19日(火) 成績質問期間
 ~24日(火)

5. 授業時間割 (学部)

令和元年度時間割【前期】

曜日	学科	1限 8:50~10:20				2限 10:30~12:00				3限 12:50~14:20				4限 14:30~16:00				5限 16:10~17:40			
		科目	担当	単位数	備考	科目	担当	単位数	備考	科目	担当	単位数	備考	科目	担当	単位数	備考	科目	担当	単位数	備考
1	公	35501	(全)法学	森脇 3212		81201	対人心理学	上野 大講義室	91301	保健処理 健康スポーツ論	山口 5101 大講義室	91401	(全)社会学A	三田 3212	91501	(全)政治学	岡本 1222				
		31101	教育学概論A	伊勢 3207						91302			91402	(全)社会学A	三田 3212	91502	(全)環境科学	久永 3212			
		35501	(全)法学	森脇 3212		41202	情報処理演習 I B	原田・西戸 以上 4202	41303	情報処理演習 II A	原田	41403	(全)社会学A	三田 3212							
		41102	情報処理演習 I A	原田・西戸 以上 4202		41203	生態機能看護学 I B	原田・西戸 以上 4202	41304	地理学概論	美谷 3202	11404	日本史概論 (全科学史)	有谷 菊地 5102							
		41103	生態機能看護学 I A	原田・西戸 以上 4202		11204	多文化社会論	岡本 1222	21305	相談援助の理論と方法B	本郷 3319	21406	相談援助演習A	別述	21503	保健医療論	岡田 3109				
		11104	社会心理学	堤圭 3319		21205	児童福祉論	奥村 3212	31306	○英語Ⅱ-(1)	ゲイル LL	91405	(全)科学史	菊地 5102							
		31105	障害児保育	二見 5104		31206	心身科学 保育内容総論	愛馬 伊勢 3204 3207	41307	看護過程	吉田・西戸 以上 4201	41408	○フィジカルアセスメント(2コマ連続) (全)科学史	菊地 5102							
		41106	教育内容論	磯口 5102		41208	○女性看護学概論	吉田・西戸 以上 4201	41308	地域社会学特講	三田 3204	91407	(全)人間関係の科学	上野 大講義室							
		21107	医療ソーシャルワーク論	畑 3202		11209	地域保健論	樋口 5102	21309	相談援助の理論と方法D	河野 3109										
		41108	○成人看護学演習 I (2コマ連続)			11210	地域社会分析論C	美谷 3204	31310	乳児保育	伊勢 3207	41408	保健社会学演習(2コマ連続)								
41109	○小児看護学演習 I (2コマ連続)			21211	福祉行政と福祉計画	村山 3319	82304	○生進教育論	41311	○家族看護学	4202										
2	公				21212	学校ソーシャルワーク演習	寺田 1217	21312	学校ソーシャルワーク実習指導	奥村 1217	21408	社会福祉の歴史と思想	細井 3204								
					41213	公衆衛生看護技術論 I (4コマ連続)				31410	教育相談(幼児教育)	吉岡 3207									
					12201	データ分析の基礎	坂無 情報1	12301	○英語Ⅱ-(1)A	ゲイル LL	92401	(全)哲学的人間学	植田・藤田 5101	92501	独語Ⅰ-(1)A	古賀 5102					
					22202	○英語Ⅱ-(1)A	ゲイル LL	12302	○英語Ⅱ-(1)B	マリニ LL	92402	仏語Ⅰ-(1)	田中・真 5103	92502	中国語Ⅰ-(1)A	陸 3109					
					22203	○英語Ⅱ-(1)B	マリニ LL	12303	別述	別述	92403	独語Ⅰ-(1)B	古賀 5102	92503	中国語Ⅰ-(1)A	陸 LL					
					32204	○英語Ⅱ-(1)	河本 5101	12304	別述	別述	92404	中国語Ⅱ-(1)B	金 3109	92504	発達心理学Ⅰ-B	池・林 3319					
					42205	○リーディングⅠA	小池 4202	12305	現代社会論A	中村 3109	92405	コア英語Ⅰ-(1)B	金 LL	92505	独語Ⅰ-(1)A	古賀 5102					
								12306	現代社会論B	太田 3109	92406	(全)論理学	神谷 3212	92506	中国語Ⅱ-(1)A	古賀 5102					
								12307	現代社会論C	太田 3109	92407	仏語Ⅱ-(1)	山本 3203	92507	中国語Ⅱ-(1)A	陸 LL					
								12308	現代社会論D	中村 3109	92408	Webデザイン演習	柴田 情報1	92508	国際社会学A	佐野 3202					
3	公	32107	○教育史	藤澤 3109	32208	学習心理学及び言語の習得 保育内容・言葉Ⅰ	吉岡 3204 5103	82309	○生進教育論	42305	○(全)論理学	神谷 3212	42508	○精神看護学概論	吉田・猪野 石田・清水 4202	4201	別述	別述			
		42108	○在宅看護学概論	4201	42210	○小児看護学概論	田中・吉岡 4201	42306	○リーディングⅡA	小池 4202	92409	在宅看護学演習 I (2コマ連続)	42410	○在宅看護学演習 I (2コマ連続)	吉田・猪野 石田・清水 4202	4202	別述	別述			
		92109	(全)ジェンダー論	坂無 大講義室	12211	NPO論	佐野 3202	22308	地域福祉論Ⅱ	村山 3319	12407	地域社会分析法A	阪井 3204	12509	地域社会学B	吉武 3204					
		42110	○老年看護学演習 I (2コマ連続)		22121	NPO論	佐野 3202	22309	地域福祉論Ⅲ	村山 3319	22408	相談援助演習B	別述	22510	精神保健福祉援助実習指導	今村 3204					
		42111	○女性看護学演習 I (2コマ連続)		22122	精神保健福祉援助実習指導	佐野 3202	22310	地域福祉論Ⅳ	村山 3319	22409	相談援助演習C	別述	22511	精神保健福祉援助実習指導	今村 3204					
					32213	保育内容・表現Ⅰ	原野・伊勢 以上 5101	42309	家庭支援論	杉野 3207	32409	キャリア教育論	井上 3207	32511	保育実習指導Ⅰ	伊勢 3207					
					42210	○在宅看護学演習 I (2コマ連続)	橋・江上・廣瀬 吉田・石村・河内・佐藤 以上 5302	42310	○成人看護学演習Ⅱ	5303	42410	○在宅看護学演習Ⅱ (2コマ連続)	42411	○在宅看護学演習Ⅱ (2コマ連続)	吉田・猪野 石田・清水 4202	4202	別述	別述			
								12311	中学校教育実習事前事後指導	藤澤 公共学実習	12412	高校教育実習事前事後指導	藤澤 公共学実習								
					32214	家族心理学	吉岡 3207	42312	養護実習事前事後指導	4201	02413	日本語表現Ⅱ	西岡 3103								
		4	公	02212	日本語上級A	伊藤 3104	02215	日本語会話A	伊藤 3104	02313	日本語中級A	伊藤 3103	02413	日本語表現Ⅱ	西岡 3103						
83101	教育学概論D			藤澤 大講義室	93201	(全)経済学	許 3212	83301	不登校・ひきこもり援助論	松浦 大講義室											
83102	教育学概論D			藤澤 大講義室	93202	(全)生物学	手川 大講義室	83302	不登校・ひきこもり援助論	松浦 大講義室											
83103	教育学概論D			藤澤 大講義室	93203	Introduction to studying in English	ゲイル 3203	83303	不登校・ひきこもり援助論	松浦 大講義室											
83104	教育学概論D			藤澤 大講義室	93204	(全)経済学	許 3212	93302	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
83105	社会学基礎力演習			坂井 3109	13203	社会統計学Ⅰ	坂無 情報1	93303	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
83106	社会学基礎力演習			坂井 3109	13204	社会統計学Ⅱ	坂無 情報1	93304	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
83107	社会学基礎力演習			坂井 3109	13205	社会統計学Ⅲ	坂無 情報1	93305	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
83108	社会学基礎力演習			坂井 3109	13206	社会統計学Ⅳ	坂無 情報1	93306	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
83109	心理学実習Ⅰ			小山田 別述	33204	社会的養護	杉野 3207	93307	独語Ⅱ-(1)	古賀 5102											
5	公	93105	コア英語Ⅲ-(1)	金 LL	13206	英語Ⅳ-(1)	河本 LL	33303	福祉住環境論	木村 3202	43401	○病態看護学Ⅱ	堀田 5101	43501	○東洋医学概論	田原 5303					
		93106	中国語Ⅲ-(1)	陸 3202	24110	権利擁護と成年後見制度	廣田 3319	33304	福祉住環境論	木村 3202	43402	○病態看護学Ⅲ	堀田 5101	43502	○東洋医学概論	田原 5303					
		43107	健康教育学	5102	43207	○精神看護学演習Ⅰ	4201	33305	福祉住環境論	木村 3202	43403	○病態看護学Ⅳ	堀田 5101	43503	○東洋医学概論	田原 5303					
		43108	○看護学演習Ⅱ(2コマ連続)		43208	○精神看護学演習Ⅱ	4201	33306	福祉住環境論	木村 3202	43404	○病態看護学Ⅴ	堀田 5101	43504	○東洋医学概論	田原 5303					
		43109	○看護学演習Ⅲ(2コマ連続)		43209	○精神看護学演習Ⅲ	4201	33307	福祉住環境論	木村 3202	43405	○病態看護学Ⅵ	堀田 5101	43505	○東洋医学概論	田原 5303					
		43110	○看護学演習Ⅳ(2コマ連続)		43210	○精神看護学演習Ⅳ	4201	33308	福祉住環境論	木村 3202	43406	○病態看護学Ⅶ	堀田 5101	43506	○東洋医学概論	田原 5303					
		43111	○看護学演習Ⅴ(2コマ連続)		43211	○精神看護学演習Ⅴ	4201	33309	福祉住環境論	木村 3202	43407	○病態看護学Ⅷ	堀田 5101	43507	○東洋医学概論	田原 5303					
		43112	○看護学演習Ⅵ(2コマ連続)		43212	○精神看護学演習Ⅵ	4201	33310	福祉住環境論	木村 3202	43408	○病態看護学Ⅷ	堀田 5101	43508	○東洋医学概論	田原 5303					
		43113	○看護学演習Ⅶ(2コマ連続)		43213	○精神看護学演習Ⅶ	4201	33311	福祉住環境論	木村 3202	43409	○病態看護学Ⅸ	堀田 5101	43509	○東洋医学概論	田原 5303					
		43114	○看護学演習Ⅷ(2コマ連続)		43214	○精神看護学演習Ⅷ	4201	33312	福祉住環境論	木村 3202	43410	○病態看護学Ⅹ	堀田 5101	43510	○東洋医学概論	田原 5303					
6	公	24101	○相談援助の基礎と専門論Ⅰ	松岡 3212	84201	発達心理学Ⅰ-A	池 大講義室	84301	社会福祉学概論Ⅰ	細井 3212	14401	中国の社会と文化	陸 3109	94501	(全)心理学概論	上野 大講義室					
		34102	音楽Ⅰ	荒野他 音楽室				84302	社会福祉学概論Ⅱ	細井 3212	14402	(全)ライフキャリア論	井上 3212								
		44103	○基礎看護学概論	5303				84303	社会福祉学概論Ⅲ	細井 3212	14403	(全)ライフキャリア論	井上 3212								
		14104	○英語Ⅲ-(1)	ゲイル LL				84304	社会福祉学概論Ⅳ	細井 3212	14404	社会調査実習Ⅰ	(2コマ連続)	堤・佐野・坂井	別述						
		94105	中国語Ⅳ-(1)B	陸 5105	24202	相談援助の理論と方法A	河野 3319	24305	相談援助実習指導Ⅰ	池田・西野 以上 3319	24404	○英語Ⅳ-(1)	ゲイル LL								
		94106	コア英語Ⅳ-(1)B	金 5104	34203	音楽Ⅱ	荒野他 音楽室	34306	体育Ⅰ	池田 3204	34405	児童家庭福祉	西原 3203	34502	保育学	董 3203					
		44107	○看護学演習Ⅱ(2コマ連続)		34204	心理学統計法	原口 34204	34307	障害者・障害児心理学	池田 3204	34406	児童家庭福祉	西原 3203	34503	保育学	董 3203					
		44108	○老年看護学演習Ⅱ(2コマ連続)		34205	精神医学Ⅰ	小嶋 3204	44308	○リーディングⅡB	小池 4201	44309	○リーディングⅡB	小池 4201	44302	○病態看護学Ⅰ	江上千 4201					
		44109	アジア経済論	許 3109	別述	○公共社会学研究Ⅰ	別述	14310	法律学概論Ⅰ	森脇 3203	84406	○データ処理とデータ解析Ⅰ	石崎 情報1	84504	(全)性教育学	松浦・原田 3212					
		24110	○相談援助の基礎と専門論Ⅱ	松岡 3212	24205	精神医学Ⅱ	小嶋 3204	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ	24407	相談援助実習指導Ⅱ
34111	体育Ⅱ	池田 3202	34206	保育内容・健康Ⅰ	池田 3202	34311	児童文学	大久保 3202	84408	データ処理とデータ解析Ⅱ	石崎 情報1	84505	プログラミング演習	柴田 情報1							
34112	知覚心理学	原口 3207	34207	精神医学Ⅱ	小嶋 3204	34312	看護学教育	石田・清水 4202	34409	子どもの食と栄養	青木 3202	94504	(全)性教育学	松浦・原田 3212							
24113	精神保健福祉援助実習指導(2コマ連続)		34208	学校保健学	45211	44312	○看護学教育	石田・清水 4202	24411	精神保健福祉援助実習指導	石崎 3207										
34209	幼稚園教育実習事前事後指導	大久保 3207	34209	幼稚園教育実習事前事後指導	大久保 3207	34312	保育相談支援	杉野 3207	24412	精神保健福祉援助実習指導	石崎 3207										

令和元年度時間割【後期】

期日	1限		2限		3限		4限		5限	
	8:50~10:20		10:30~12:00		12:50~14:20		14:30~16:00		16:10~17:40	
1	91151 (全)憲法	森脇 大講義室	81251 社会心理学	上野 大講義室	91351 社会学B	三田 3319	91451 (全)日本近現代史	有谷 3109	91551 (全)化学	宇川 大講義室
2	11152 国際社会学B	花野 3203	11253 地方自治論	美谷 3207	91352 社会学B	三田 3319	91452 子供学習支援論	別述	91552 (全)化学	宇川 大講義室
3	21153 地域福祉論I	村山 3212	21254 公的扶助論	廣田 3109	91353 社会学B	三田 3319	91551 (全)化学	別述	91551 (全)化学	宇川 大講義室
4	31154 保健医療福祉行政論I(関係行政)	田中 小出 3319	31255 加齢基礎論	美島 3203	91358 社会教育特講D	田中 5103	91552 (全)化学	別述	91552 (全)化学	宇川 大講義室
5	41155 保健医療福祉行政論I	田中 小出 3319	41256 シンポジウム本セッション	永嶋他 5303-5304	41354 看護生化学	宇川 3212	91553 (全)化学	別述	91553 (全)化学	宇川 大講義室
6			11257 法律学概論II	森脇 3204	11355 東アジア関係史	岡本 1222	91453 教育心理学概論	福田 3207	91554 (全)化学	宇川 大講義室
7			11258 地方自治論	美谷 3207	11356 東アジア関係史	岡本 1222	91454 イスラム社会学	福田 3109	91555 (全)化学	宇川 大講義室
8			12158 学校ソーシャルワーク演習	寺田 1217	21361 学校ソーシャルワーク実習指導	廣村 1217	91455 相談援助実習A	福田 3207	91556 (全)化学	宇川 大講義室
9					31362 心理面接演習	吉岡 吉岡 3204	91456 教育心理学概論(教育・学校心理学)	福田 3207	91557 (全)化学	宇川 大講義室
10							91457 在宅看護学	吉田他 4201	91558 (全)化学	宇川 大講義室
11							91462 (全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91559 (全)化学	宇川 大講義室
12							91463 (全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91560 (全)化学	宇川 大講義室
13							91464 精神保健福祉論III	石田 3204	91561 (全)化学	宇川 大講義室
14							91465 精神保健福祉論III	石田 3204	91562 (全)化学	宇川 大講義室
15							91466 精神保健福祉論III	石田 3204	91563 (全)化学	宇川 大講義室
16							91467 精神保健福祉論III	石田 3204	91564 (全)化学	宇川 大講義室
17							91468 精神保健福祉論III	石田 3204	91565 (全)化学	宇川 大講義室
18							91469 精神保健福祉論III	石田 3204	91566 (全)化学	宇川 大講義室
19							91470 精神保健福祉論III	石田 3204	91567 (全)化学	宇川 大講義室
20							91471 精神保健福祉論III	石田 3204	91568 (全)化学	宇川 大講義室
21							91472 精神保健福祉論III	石田 3204	91569 (全)化学	宇川 大講義室
22							91473 精神保健福祉論III	石田 3204	91570 (全)化学	宇川 大講義室
23							91474 精神保健福祉論III	石田 3204	91571 (全)化学	宇川 大講義室
24							91475 精神保健福祉論III	石田 3204	91572 (全)化学	宇川 大講義室
25							91476 精神保健福祉論III	石田 3204	91573 (全)化学	宇川 大講義室
26							91477 精神保健福祉論III	石田 3204	91574 (全)化学	宇川 大講義室
27							91478 精神保健福祉論III	石田 3204	91575 (全)化学	宇川 大講義室
28							91479 精神保健福祉論III	石田 3204	91576 (全)化学	宇川 大講義室
29							91480 精神保健福祉論III	石田 3204	91577 (全)化学	宇川 大講義室
30							91481 精神保健福祉論III	石田 3204	91578 (全)化学	宇川 大講義室
31							91482 精神保健福祉論III	石田 3204	91579 (全)化学	宇川 大講義室
32							91483 精神保健福祉論III	石田 3204	91580 (全)化学	宇川 大講義室
33							91484 精神保健福祉論III	石田 3204	91581 (全)化学	宇川 大講義室
34							91485 精神保健福祉論III	石田 3204	91582 (全)化学	宇川 大講義室
35							91486 精神保健福祉論III	石田 3204	91583 (全)化学	宇川 大講義室
36							91487 精神保健福祉論III	石田 3204	91584 (全)化学	宇川 大講義室
37							91488 精神保健福祉論III	石田 3204	91585 (全)化学	宇川 大講義室
38							91489 精神保健福祉論III	石田 3204	91586 (全)化学	宇川 大講義室
39							91490 精神保健福祉論III	石田 3204	91587 (全)化学	宇川 大講義室
40							91491 精神保健福祉論III	石田 3204	91588 (全)化学	宇川 大講義室
41							91492 精神保健福祉論III	石田 3204	91589 (全)化学	宇川 大講義室
42							91493 精神保健福祉論III	石田 3204	91590 (全)化学	宇川 大講義室
43							91494 精神保健福祉論III	石田 3204	91591 (全)化学	宇川 大講義室
44							91495 精神保健福祉論III	石田 3204	91592 (全)化学	宇川 大講義室
45							91496 精神保健福祉論III	石田 3204	91593 (全)化学	宇川 大講義室
46							91497 精神保健福祉論III	石田 3204	91594 (全)化学	宇川 大講義室
47							91498 精神保健福祉論III	石田 3204	91595 (全)化学	宇川 大講義室
48							91499 精神保健福祉論III	石田 3204	91596 (全)化学	宇川 大講義室
49							91500 精神保健福祉論III	石田 3204	91597 (全)化学	宇川 大講義室
50							91501 精神保健福祉論III	石田 3204	91598 (全)化学	宇川 大講義室
51							91502 精神保健福祉論III	石田 3204	91599 (全)化学	宇川 大講義室
52							91503 精神保健福祉論III	石田 3204	91600 (全)化学	宇川 大講義室
53							91504 精神保健福祉論III	石田 3204	91601 (全)化学	宇川 大講義室
54							91505 精神保健福祉論III	石田 3204	91602 (全)化学	宇川 大講義室
55							91506 精神保健福祉論III	石田 3204	91603 (全)化学	宇川 大講義室
56							91507 精神保健福祉論III	石田 3204	91604 (全)化学	宇川 大講義室
57							91508 精神保健福祉論III	石田 3204	91605 (全)化学	宇川 大講義室
58							91509 精神保健福祉論III	石田 3204	91606 (全)化学	宇川 大講義室
59							91510 精神保健福祉論III	石田 3204	91607 (全)化学	宇川 大講義室
60							91511 精神保健福祉論III	石田 3204	91608 (全)化学	宇川 大講義室
61							91512 精神保健福祉論III	石田 3204	91609 (全)化学	宇川 大講義室
62							91513 精神保健福祉論III	石田 3204	91610 (全)化学	宇川 大講義室
63							91514 精神保健福祉論III	石田 3204	91611 (全)化学	宇川 大講義室
64							91515 精神保健福祉論III	石田 3204	91612 (全)化学	宇川 大講義室
65							91516 精神保健福祉論III	石田 3204	91613 (全)化学	宇川 大講義室
66							91517 精神保健福祉論III	石田 3204	91614 (全)化学	宇川 大講義室
67							91518 精神保健福祉論III	石田 3204	91615 (全)化学	宇川 大講義室
68							91519 精神保健福祉論III	石田 3204	91616 (全)化学	宇川 大講義室
69							91520 精神保健福祉論III	石田 3204	91617 (全)化学	宇川 大講義室
70							91521 精神保健福祉論III	石田 3204	91618 (全)化学	宇川 大講義室
71							91522 精神保健福祉論III	石田 3204	91619 (全)化学	宇川 大講義室
72							91523 精神保健福祉論III	石田 3204	91620 (全)化学	宇川 大講義室
73							91524 精神保健福祉論III	石田 3204	91621 (全)化学	宇川 大講義室
74							91525 精神保健福祉論III	石田 3204	91622 (全)化学	宇川 大講義室
75							91526 精神保健福祉論III	石田 3204	91623 (全)化学	宇川 大講義室
76							91527 精神保健福祉論III	石田 3204	91624 (全)化学	宇川 大講義室
77							91528 精神保健福祉論III	石田 3204	91625 (全)化学	宇川 大講義室
78							91529 精神保健福祉論III	石田 3204	91626 (全)化学	宇川 大講義室
79							91530 精神保健福祉論III	石田 3204	91627 (全)化学	宇川 大講義室
80							91531 精神保健福祉論III	石田 3204	91628 (全)化学	宇川 大講義室
81							91532 精神保健福祉論III	石田 3204	91629 (全)化学	宇川 大講義室
82							91533 精神保健福祉論III	石田 3204	91630 (全)化学	宇川 大講義室
83							91534 精神保健福祉論III	石田 3204	91631 (全)化学	宇川 大講義室
84							91535 精神保健福祉論III	石田 3204	91632 (全)化学	宇川 大講義室
85							91536 精神保健福祉論III	石田 3204	91633 (全)化学	宇川 大講義室
86							91537 精神保健福祉論III	石田 3204	91634 (全)化学	宇川 大講義室
87							91538 精神保健福祉論III	石田 3204	91635 (全)化学	宇川 大講義室
88							91539 精神保健福祉論III	石田 3204	91636 (全)化学	宇川 大講義室
89							91540 精神保健福祉論III	石田 3204	91637 (全)化学	宇川 大講義室
90							91541 精神保健福祉論III	石田 3204	91638 (全)化学	宇川 大講義室
91							91542 精神保健福祉論III	石田 3204	91639 (全)化学	宇川 大講義室
92							91543 精神保健福祉論III	石田 3204	91640 (全)化学	宇川 大講義室
93							91544 精神保健福祉論III	石田 3204	91641 (全)化学	宇川 大講義室
94							91545 精神保健福祉論III	石田 3204	91642 (全)化学	宇川 大講義室
95							91546 精神保健福祉論III	石田 3204	91643 (全)化学	宇川 大講義室
96							91547 精神保健福祉論III	石田 3204	91644 (全)化学	宇川 大講義室
97							91548 精神保健福祉論III	石田 3204	91645 (全)化学	宇川 大講義室
98							91549 精神保健福祉論III	石田 3204	91646 (全)化学	宇川 大講義室
99							91550 精神保健福祉論III	石田 3204	91647 (全)化学	宇川 大講義室
100							91551 精神保健福祉論III	石田 3204	91648 (全)化学	宇川 大講義室

【注】○は「必修科目」、(全)は「全学共通科目(職業科目)」を、※は「人間社会学部共通専門科目(平成27年度以前入学生対象)」を表す。
 ・「斜体文字」の科目は、平成29年度以前入学生の開講科目である。 ・上記時間割は変更になることがある。

福岡県立大学 アニュアルレポート

令和 3 年 3 月 31 日 印刷

令和 3 年 3 月 31 日 発行

編 集 福岡県立大学 I R 推進室

発 行 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田 4395 番地

TEL (0947)42-2118 FAX (0947)42-6171

URL <http://www.fukuoka-pu.ac.jp>

